

科目名	Pre-production seminar(1)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	勝守理 深井誠
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)		
教員の略歴	アレンジ:古澤巖、平沼有梨、Meg with Sweep、巨峯夫 レコーディング:Kra 作曲:騰訊や網易などの中国ゲーム等の活動を行う						
授業の学習 内容	プロの作曲家として必要なプリプロを作るために必要なスキルを習得する授業。プリプロダクションゼミ(コンペコース)を補完するような授業。プロの作曲家やエンジニアとして活躍できる人材になる。						
到達目標	機材の名前や機能を把握しプリプロRoomを使えるようになる。楽曲のデモ(ベーシックアレンジまで)ができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	授業内容と意義を理解する/コンペコースに行くか特訓コースに行くか決める	デモ音源をボイスレコーダーで作ってくる
2	5月9日	講義・演習	プリプロRoomに設置されている機材に関する基礎的な理解とマナーに関する理解を得られる/メロディーを聴き取りDAWに打ち込むことができる	授業内に終わらなかったデータの作成
3	5月16日	講義・演習	基礎的なシンセサイザーのしくみを理解できるようになる/メロディーに対し簡単なリズムを打ち込むことができる(クオンタイズ、ベロシティ)	Miniテスト/授業内に終わらなかったデータの作成
4	5月23日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク/コンペコースに行くか特訓コースに行くか決める	Miniテスト/授業内に終わらなかったデータの作成
5	5月30日	講義・演習	DAWについての基礎知識を理解することができる/ループの組み合わせで音楽を作ることができるようになる	授業内に終わらなかったデータの作成
6	6月6日	講義・演習	DAW周りの機材や配線を理解することができる/バックトラックに対してメロディーをつけることができるようになる	授業内に終わらなかったデータの作成
7	6月13日	講義・演習	デジタルの機材や配線、設定などを理解することができる/状況に合わせてメロディーやトラックを変更することができる	Miniテスト/授業内に終わらなかったデータの作成
8	6月20日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク/コンペコースに行くか特訓コースに行くか決める	Miniテスト
9	6月27日	講義・演習	基礎的なエフェクターの仕組みと使いかたを理解できる(コンプ、EQ)/ドラムの打ち込みができるようになる	授業内に終わらなかったデータの作成
10	7月4日	講義・演習	基礎的なエフェクターの仕組みと使いかたを理解できる(リバーブ、ディレイ)/ベースの打ち込みができるようになる	授業内に終わらなかったデータの作成
11	7月11日	講義・演習	ピアノの打ち込み/完成したデモ楽曲を視聴して足りないところを理解する	Miniテスト/授業内に終わらなかったデータの作成
12	7月18日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク/チーム決め	ワークシート
13	8月22日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク	ワークシート
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Pre-production seminar(2)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員 勝守理 深井誠
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	
教員の略歴	アレンジ:古澤巖、平沼有梨、Meg with Sweep、巨峯夫 レコーディング:Kra 作曲:騰訊や網易などの中国ゲーム等の活動を行う					
授業の学習 内容	プロの作曲家として必要なプリプロを作るために必要なスキルを習得する授業。プリプロダクションゼミ(コンペコース)を補完するような授業。プロの作曲家やエンジニアとして活躍できる人材になる。					
到達目標	発注書や映像など制約がある中で楽曲を作ることができる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	アナログシンセの仕組みを理解できる(VCO,VCF,VCA)/シンセリード、Bass、PADなどの音色を作ることができる。/アナログシンセのみで楽曲を作成	授業内に出来上がったものを視聴しそれぞれに対し目標を定め次週までの宿題を出す
2	10月10日	講義・演習	アナログシンセの仕組みを理解できる(ADSR,LFO,Matrix,etc)/Drum,ADSRやLFOを使った音色を作ることができる/アナログシンセのみで楽曲を作成	授業内に出来上がったものを視聴しそれぞれに対し目標を定め次週までの宿題を出す
3	10月17日	講義・演習	DAWでシンセのオートメーションを書くことができる/出来上がった楽曲を聴いて足りないところを理解できる。	授業内に出来上がったものを視聴しそれぞれに対し目標を定め次週までの宿題を出す
4	10月24日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク/コンペコースに行くか特訓コースに行くか決める	サウンドロゴを作ってくる(素材3パターン)
5	10月31日	講義・演習	出来上がったサウンドロゴを聴いて足りないところを理解できるようになる/映像に音楽をつけることができる(CG、ドラマ)	映像につける音楽を作ってくる
6	11月7日	講義・演習	出来上がった楽曲を聴いて足りないところを理解できる/発注書から楽曲をつくらせることができる	発注書にあった音楽を作ってくる
7	11月14日	講義・演習	出来上がった楽曲を聴いて足りないところを理解できる/ゲーム音楽を作ることができる	ゲーム映像にあった音楽を作ってくる
8	11月21日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク/コンペコースに行くか特訓コースに行くか決める	授業内に出来上がったものを視聴しそれぞれに対し目標を定め次週までの宿題を出す
9	11月28日	講義・演習	Mixをするための前準備、セッティング、心構えを理解できる	自分なりのミックスを作ってくる
10	12月5日	講義・演習	ミックスを視聴足りないところを理解できるようになる/音調整のためのエフェクトの基本的な使い方を理解できるようになる	2曲ミックスをしってくる
11	12月12日	講義・演習	マスタリングとは何か理解することができる/ミックスでどのようなオートメーションをすべきか理解できる	1曲ミックスしってくる
12	12月19日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク/チーム決め	ワークシート
13	1月9日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク	ワークシート
14	1月16日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
15	1月30日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	BasicKeyboard (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	加藤エレナ
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	キーボーディストとして29年活動						
授業の学習 内容	歌唱、演奏、作編曲、プロデューサー、エンジニア、プログラミング等、デジタル音楽が一層発展する中で、よく使用されるキーボードの基礎を学び、発声練習、弾き歌い、作編曲等で必要な深い知識や、自由度の高い音楽性、表現方法を身につけていく。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・譜面の読み書きができるようになる。 ・コードの基礎を学び、様々なコード進行を両手で弾けるようになる。 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	フォーム、演奏前の基礎知識を学ぶ。	指番号、音名、音符について予習、復習。
2	5月10日	講義・演習	クロマチック、音階、音程、練習方法を学ぶ。	授業の復習、M3rd,m3rdについて予習。
3	5月17日	講義・演習	ダイアトニックコード、運指トレーニング方法を学ぶ。	音程の感覚を復習、練習。
4	5月24日	講義・演習	M,mコード、転回形、ディグリーについて学ぶ。	コードの仕組みを復習、練習。
5	5月31日	講義・演習	I-IV-V-I、I-V-IV-I、IV-I-V-I、V-I-IV-I	T、SD.Dの機能を復習、練習。
6	6月7日	講義・演習	7th、II m-V7-I、I-IV-II m-V7-Iの動きを学ぶ。	音の動き(II,V,I)の感覚を復習、練習。
7	6月14日	講義・演習	VI m、VIMが入ったコードワークを学ぶ。	IとVI mの感覚とコードの仕組みを復習、練習。
8	6月21日	講義・演習	III m、III Mが入ったコードワークを学ぶ。	IとIII mの感覚とコードの仕組みを復習、練習。
9	6月28日	講義・演習	4和音について学ぶ。	コードの仕組みを復習、練習。
10	7月5日	講義・演習	m7 b5、dim、aug、クリシェ進行を学ぶ。	コードの仕組み、フォームの復習と練習。
11	7月12日	講義・演習	sus4、add9、7sus4ドミナントの置き換えを学ぶ。	コードの仕組み、フォームの復習と練習。
12	7月19日	講義・演習	作曲、メロディー、リズムの仕組みについて学ぶ。	自由に作曲してみる。試験の準備。
13	8月23日	講義・演習	試験、アドバイス	試験、アドバイスの復習。イベント準備。
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	実践を通して得た感覚を今後活かせる準備と練習。
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通して客観的感覚、仕組みを学ぶ。	実践を通して得た感覚を今後活かせる準備と練習。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布プリント、イヤホン、筆記用具を持参する事。				

科目名	BasicKeyboard (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	加藤エレナ
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	キーボーディストとして29年活動						
授業の学習 内容	歌唱、演奏、作編曲、プロデューサー、エンジニア、プログラミング等、デジタル音楽が一層発展する中で、よく使用されるキーボードの基礎を学び、発声練習、弾き歌い、作編曲等で必要な深い知識や、自由度の高い音楽性、表現方法を身につけていく。						
到達目標	・コードの基礎を学び、コード譜面を見て両手で弾ける様になる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	マイナースケールとダイアトニックコード。	復習、転回形での練習。
2	10月11日	講義・演習	I m-IVm-V-I からの発展コードワークを学ぶ。	復習、転回形での練習。
3	10月18日	講義・演習	曲①構成を理解して抑揚をつける。応用。	復習、メロディーを歌い練習してみる。
4	10月25日	講義・演習	左手のベースラインの動かし方。シンコペーション。	復習、パラディドル練習。
5	11月1日	講義・演習	細かい表現方法を学ぶ。オブリガード。	復習、曲を聞いて練習。
6	11月8日	講義・演習	曲②オンコードの演奏方法を学ぶ。	復習、メロディーを歌い練習してみる。
7	11月15日	講義・演習	左手のベースラインと右手のポジション	復習、各Keyで対応できるように理解して練習。
8	11月22日	講義・演習	細かい表現方法を学ぶ。アクセント、音の長さ。	復習、曲を聞いて練習。
9	11月29日	講義・演習	曲③イントロ、エンディングの付け方。	復習、メロディーを歌い練習してみる。
10	12月6日	講義・演習	ペダルの効果的な使い方、細かいテクニック	復習、曲を聞いて練習。
11	12月13日	講義・演習	弾き歌いのコツや聞かせ方。	復習、録音をして聞き返すなどの客観的練習。
12	12月20日	講義・演習	作曲して伴奏。ハーモニー、リズム、表現方法。	総復習。
13	1月10日	講義・演習	試験、アドバイス	復習。イベントの準備。
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通してライブに必要な応用力を学ぶ。	実践を通して得た感覚を今後活かせる準備と練習。
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通してライブに必要な応用力を学ぶ。	実践を通して得た感覚を今後活かせる準備と練習。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布プリント、イヤホン、筆記用具を持参する事。				

科目名	作編曲法Intro(2)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	野崎貴潤
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	作編曲家として活動						
授業の学習 内容	作曲未経験者から作曲初学者を対象に、次年時の作編曲法Basicを履修する前提となる「メロディ作成の基本的作法」「メロディと和声の調和の基礎」を学び、抑揚のあるメロディとメロディを生かす効果的な和音を作れるようになる						
到達目標	「メロディを作る発想の仕方のコツを身に着ける」 「抑揚のある魅力的なメロディの作り方を会得する」 「メロディとそのメロディに合う簡単に効果的な和声を組み合わせる事が出来る」						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	自由にメロディを作ってみる・メロディ作成時の心構え・作曲と編曲の違いを知る	課題の仕上げと疑問点の整理
2	10月11日	講義・演習	全音と2分音符のみでのメロディ作成・音高の変化を持った、高揚感のあるメロディを作る	課題の仕上げと疑問点の整理
3	10月18日	講義・演習	四分音符迄のメロディ作成・休符も含めたリズム緩急を覚え、メリハリのあるメロディを作る	課題の仕上げと疑問点の整理
4	10月25日	講義・演習	八分音符迄のメロディ作成・順次進行と跳躍進行の使い分け・分散和音を用い、躍動感のあるメロディを作る	課題の仕上げと疑問点の整理
5	11月1日	講義・演習	16分音符迄を使った自由なメロディ作成・モチーフと反復を使ったメロディの効果的な構成の仕方を出来る様になる	課題の仕上げと疑問点の整理
6	11月8日	講義・演習	和音の種類・調の意味とTSDの役割・TSDT決め打ちの緩急のあるメロディ作成をする	課題の仕上げと疑問点の整理
7	11月15日	講義・演習	内音と外音・どうコードがメロと合うのか・内音のみでの調和的・力強いメロディ作成をする	課題の仕上げと疑問点の整理
8	11月22日	講義・演習	外音の使い方①・経過音と刺繍音を使いこなし、変化のあるメロディを作れる様になる	課題の仕上げと疑問点の整理
9	11月29日	講義・演習	外音の使い方②・先取音と係留音を使いこなし、意外性のあるメロディを作れる様になる	課題の仕上げと疑問点の整理
10	12月6日	講義・演習	外音の使い方③・倚音と逸音を使いこなし、インパクトのあるメロディを作れる様になる	課題の仕上げと疑問点の整理
11	12月13日	講義・演習	協和音と不協和音・メロディと和音の関係・既存のメロディにコードを複数パターンつけられる様にする	課題の仕上げと疑問点の整理
12	12月20日	講義・演習	装飾としての外音の使い方・単純なメロディを外音を使って豊かなメロディにアレンジする	課題の仕上げと疑問点の整理
13	1月10日	講義・演習	短音階①・和声的短音階と旋律的短音階が何故あるのか?・ドミナントモーションの意味・和声的短音階での進行感のある作曲をする	課題の仕上げと疑問点の整理
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	課題の仕上げと疑問点の整理
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	課題の仕上げと疑問点の整理
準備学習 時間外学習			課題の仕上げと疑問点の整理	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Analog Recording Basic(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	早乙女正雄
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	アルファレコード録音部～フリーランスエンジニアとして活動						
授業の学習 内容	アナログレコーディング機材を使用してマルチトラック録音の基礎を学びます。						
到達目標	レコーディングを経験して音楽製作の楽しさとやりがいを見つけます。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	マルチトラックレコーディングガイダンス	ステレオの概念
2	4月27日	講義・演習	バンドレコーディングガイダンス	作業手順の把握
3	5月11日	講義・演習	SSLコンソールの解説	信号の流れを把握
4	5月18日	講義・演習	マルチレコーダーの解説	ダビングの概念
5	5月25日	講義・演習	マイクアンプとバスの解説	適正ボリュームを把握
6	6月1日	講義・演習	パンとフェーダーの解説	ステレオバランスの把握
7	6月8日	講義・演習	イコライザーの解説	サウンドの変化を把握
8	6月15日	講義・演習	AUXとCUEの解説	分岐信号の流れを把握
9	6月22日	講義・演習	インサートとパッチ盤の解説	外部機器接続を把握
10	6月29日	講義・演習	マイクロホンの解説	セッティング方法を把握
11	7月6日	講義・演習	コンプレッサーの解説	サウンドの変化を把握
12	7月13日	講義・演習	リバーブの解説	サウンドの変化を把握
13	8月24日	講義・演習	ミックスダウンの解説	必要機材の把握
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して音楽ジャンルの特徴と各種機材の使い方を学ぶ	ジャンルごとの音楽的バランスの特徴を把握する
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通して音楽ジャンルの特徴と各種機材の使い方を学ぶ	ジャンルごとの音楽的バランスの特徴を把握する
準備学習 時間外学習			世界中の音楽を聴いてください。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Analog Recording Basic(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	早乙女正雄
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	アルファレコード録音部～フリーランスエンジニアとして活動						
授業の学習 内容	アナログレコーディング機材を使用してマルチトラック録音の基礎を学びます。						
到達目標	実践的にレコーディングを経験して音楽製作の楽しみと構造を理解する						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	マルチトラックレコーディングを実際に行う	前期の復習、本日の予習
2	10月12日	講義・演習	バンドレコーディングを実際に行う	先週の復習、本日の予習
3	10月19日	講義・演習	SSLコンソールを実際に行う	先週の復習、本日の予習
4	10月26日	講義・演習	マルチレコーダーを実際に行う	先週の復習、本日の予習
5	11月2日	講義・演習	マイクアンプとバスを実際に行う	先週の復習、本日の予習
6	11月16日	講義・演習	パンとフェーダーを実際に行う	先週の復習、本日の予習
7	11月23日	講義・演習	イコライザーを実際に行う	先週の復習、本日の予習
8	11月30日	講義・演習	AUXとCUEを実際に行う	先週の復習、本日の予習
9	12月7日	講義・演習	インサートとパッチ盤を実際に行う	先週の復習、本日の予習
10	12月14日	講義・演習	マイクロホンを実際に行う	先週の復習、本日の予習
11	12月21日	講義・演習	コンプレッサーを実際に行う	先週の復習、本日の予習
12	1月11日	講義・演習	リバーブを実際に行う	先週の復習、本日の予習
13	1月18日	講義・演習	ミックスダウンを実際に行う	後期の復習、期末試験の準備
14	2月1日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して電気知識を学ぶ	レポートの提出
15	2月8日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して電気知識を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	音響電気知識Basic(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	澤口哲
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	オーディオエンジニア・レコーディングエンジニア・スタジオ建設アドバイザー						
授業の学習 内容	音と電気信号との間の変換機器を繋ぐ(ケーブル、コネクタ)、音と電気を変換する機器(スピーカ、マイクロホン、ヘッドアンプ)を電気回路の動作で解説し、音響用ケーブルの製作や機器の動作調整などで、工具や機器の使用方法を学ぶ。						
到達目標	音と電気との関係についての基礎知識を身につけてもらい、音響機器の基本的な使用方法や維持管理が出来るようになることを目標とする						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	ガイダンス・基礎知識	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
2	4月28日	講義・演習	電源・電流・直流・交流・GNDの違いについて	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
3	5月12日	講義・演習	ケーブル・コネクタの種類やその役割について	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
4	5月19日	講義・演習	工具や測定器の使用手法について	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
5	5月26日	講義・演習	キャンオンケーブルの製作	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
6	6月2日	講義・演習	キャンオンケーブルの製作	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
7	6月9日	講義・演習	6週で学んだ内容についての確認(小テスト)	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
8	6月16日	講義・演習	抵抗・抵抗の種類や役割、応用等について	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
9	6月23日	講義・演習	コンデンサ・コンデンサの役割と種類等	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
10	6月30日	講義・演習	トランジスタ・オペアンプの役割と種類等	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
11	7月7日	講義・演習	トランスの種類と役割	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
12	7月14日	講義・演習	音や電気の各電子部品への実際の流れを確認	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
13	8月25日	講義・演習	5週で学んだ内容についての確認	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通して機材動作を学ぶ	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して機材動作を学ぶ	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
音響調整卓、マルチトラックレコーダー、工具、デジタルテスター、オシロスコープ、モニタースピーカー、i-PAD、JAPLSレコーディング技術概論				

科目名	音響電気知識Basic(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	澤口哲
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	オーディオエンジニア・レコーディングエンジニア・スタジオ建設アドバイザー						
授業の学習 内容	音と電気信号との間の変換機器を繋ぐ(ケーブル、コネクタ)、音と電気を変換する機器(スピーカ、マイクロホン、ヘッドアンプ)を電気回路の動作で解説し、音響用ケーブルの製作や機器の動作などで、工具や機器の使用方法を学ぶ。						
到達目標	音と電気との関係についての基礎知識を身につけてもらい、音響機器の基本的な使用方法や維持管理が出来るようになることを目標とする						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	前期で学んだ内容についての確認	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
2	10月13日	講義・演習	マイクロフォンの構造と種類について	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
3	10月20日	講義・演習	マイクロフォンの維持管理について(掃除、保管方法等)	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
4	10月27日	講義・演習	ヘッドアンプ、コンプレッサーの種類や動作について	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
5	11月3日	講義・演習	ヘッドアンプ、コンプレッサーの種類や動作について	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
6	11月17日	講義・演習	ヘッドアンプ、コンプレッサーの維持管理	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
7	11月24日	講義・演習	6週で学んだ内容の確認	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
8	12月1日	講義・演習	アナログレコーダーの仕組みや種類について	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
9	12月8日	講義・演習	アナログレコーダーの仕組みや種類について	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
10	12月15日	講義・演習	アナログレコーダーの仕組みや種類について	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
11	1月12日	講義・演習	スピーカーの構造や種類について	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
12	1月19日	講義・演習	スピーカーの構造や種類について	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
13	2月2日	講義・演習	スピーカーの構造や種類について	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
14	2月9日	講義・演習	6週で学んだ内容の確認	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
15	2月16日	講義・演習	後期で学んだ内容の確認	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
音響調整卓、マルチトラックレコーダー、工具、デジタルテスター、オシロスコープ、モニタースピーカー、i-PAD、JAPLSレコーディング技術概論				

科目名	Real World Recording Project(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中村惣
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)		
教員の略歴	レコーディングエンジニアとしてロック系バンドの作品を多く手がける						
授業の学習 内容	前期は、ボーカルレコーディングの実技に重点を置き、レコーディング基礎技術の習得						
到達目標	ボーカルレコーディングが実践できる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	スタジオの機材の説明 機材の名前と基礎的操作方法を覚える事ができる	機材名の復習
2	4月24日	講義・演習	ProToolsの説明 ProToolsの基礎操作方法を覚える事ができる	protocolsの操作方法的復習
3	5月8日	講義・演習	セッティングとボーカルレコーディング 実際にレコーディングしてみる	ボーカルレコーディングのセッティング等の復習
4	5月15日	講義・演習	ボーカルレコーディング レコーディングが実践できる	ボーカルレコーディングの復習
5	5月22日	講義・演習	ボーカルレコーディング 歌録り時のコンプの使い方を覚える事ができる	コンプの操作方法的復習
6	5月29日	講義・演習	ボーカルレコーディング 歌録り時のコンプの使い方を覚える事ができる	コンプの操作方法的復習
7	6月5日	講義・演習	ボーカルレコーディング 歌録り時のリバーブの使い方を覚える事ができる	リバーブの操作方法的復習
8	6月12日	講義・演習	ボーカルレコーディング 歌録り時のディレイの使い方を覚える事ができる	ディレイの操作方法的復習
9	6月19日	講義・演習	ボーカルレコーディング レコーディングが実践できる	ボーカルレコーディングの復習
10	6月26日	講義・演習	ボーカルレコーディング レコーディングが実践できる	ボーカルレコーディングの復習
11	7月3日	講義・演習	ボーカルレコーディング レコーディングが実践できる	ボーカルレコーディングの復習
12	7月10日	講義・演習	ボーカルレコーディング レコーディングが実践できる	ボーカルレコーディングの復習
13	8月21日	講義・演習	ボーカルレコーディングテスト 実技&筆記	ボーカルレコーディングの復習
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通してレコーディングを学ぶ	レポート提出
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通してレコーディングを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Real World Recordeing Project(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中村惣
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)		
教員の略歴	レコーディングエンジニアとしてロック系バンドの作品を多く手がける						
授業の学習 内容	後期は色々な楽器のレコーディングの実技をしレコーディング技術の習得						
到達目標	バンドレコーディングが実践できる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	ProToolsの操作方法 ショートカットを覚えることができる	protoolsのショートカットの復習
2	10月9日	講義・演習	AG 弾き語りRec AG,弾き語りのマイキングを覚えることができる	マイキングの復習
3	10月16日	講義・演習	EG Rec EG録りのマイキングを覚えることができる	マイキングの復習
4	10月23日	講義・演習	Bass Rec Bass録りのマイキングを覚えることができる	マイキングの復習
5	10月30日	講義・演習	Drum Rec Drum録りのマイキングを覚えることができる	マイキングの復習
6	11月6日	講義・演習	Drum Rec Drum録りを実践できる	Drum録りのセッティング表の作成(準備学習)
7	11月13日	講義・演習	Bass Rec Bass録りを実践できる	Bass録りのセッティング表の作成(準備学習)
8	11月20日	講義・演習	Gtr Rec Gtr録りを実践できる	Gtr録りのセッティング表の作成(準備学習)
9	11月27日	講義・演習	バンドレコーディング Drum,Bass録りを実践できる	セッティング表の作成(準備学習)
10	12月4日	講義・演習	バンドレコーディング Gtr,Key,Vo録りを実践できる	セッティング表の作成(準備学習)
11	12月11日	講義・演習	Mix時のEQ,コンプ、リバーブ等の使い方を覚える	1/24に聴かせられるように個人またはグループでMixをしておく
12	12月18日	講義・演習	MIX 確認 各個人またグループのMIXを聞き比べる	Mixの修正
13	1月15日	講義・演習	楽器録音テスト 実技&筆記	レポート
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通してライブレコーディングを学ぶ	レポート
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通してライブレコーディングを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Pro tools intro(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	伊藤康宏
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	SEDIC studios、IRc2studiosにてレコーディングエンジニア・スタジオマネージャーを経験						
授業の学習 内容	現在プロの音楽制作現場でデファクトスタンダードとして使用されている録音ソフトであるProTools。その入門というべき初期段階を習得する。初歩ではあるがバージョンアップされても変わらないであろう最もベーシックで、かつ最も大切な事を学ぶ。						
到達目標	コンピュータの立ち上げからベーシックなシステムのセットアップ、ソフトの立ち上げから録音・編集・ミックスまでの基本を一人でも行えるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	セットアップ、新規セッション作成	レポート
2	4月24日	講義・演習	セッション作成時のルール確認	レポート
3	5月8日	講義・演習	セッション作成時のルール復習、編集の基礎	レポート
4	5月15日	講義・演習	編集の基礎その2	レポート
5	5月22日	講義・演習	編集の基礎その3	レポート
6	5月29日	講義・演習	DAWの基本、他のDAWとの違い	レポート
7	6月5日	講義・演習	デジタルオーディオの基本、アナログとの違い	レポート
8	6月12日	講義・演習	PlugINの基礎その1、EQ・Comp	レポート
9	6月19日	講義・演習	PlugINの基礎その2、EQ・Comp続き	レポート
10	6月26日	講義・演習	PlugINの基礎その3、リバーブ・ディレイなど	レポート
11	7月3日	講義・演習	ミックスダウンその1	レポート
12	7月10日	講義・演習	ミックスダウンその2、マスタリング	レポート
13	8月21日	講義・演習	復習	レポート
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	レポート
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Marketing(1) Marketing I A(3)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	黒須亮成
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	世界No.1マーケッターのジェイ・エイブラハム氏の講座を学びながら、タレント、ミュージシャン、アーティスト、音楽作家、ヘアメイク、衣装デザイナーなどのマネージメントを手がける。その他、音楽制作ディレクター、イベント運営などを手がけています。						
授業の学習 内容	①目まぐるしく変化し続けている社会のスピードに付いていくには、ひとつひとつ、すべての分野を極めていく時間はありません。ひとりで1つの分野を極めるのではなく、その分野に特化した能力を持つ人に協力をあおぎ、そのチームをマネジメントし、チームで新しい価値を創造し、それをマーケティングによって必要なところに必要なだけ届けていく必要があります。 ②マーケティングはすべての科目に大きく関係します。その科目のスキルをビジネスに展開し、継続的にお客様のニーズを満たすことができます。 ③マネジメントやマーケティングを学ぶことで、エンタメ業界に限らず、どの業界でも通用する原理原則があることを勉強します。世の中で起こっているさまざまな戦略の基本が理解できるようになり、自分がイメージしたアイデアを具現化でき、自己表現ができるようになります。具体的には、講義形式(座学)とグループワーク(演習)を中心に構成します。グループワークでは、エンタメ業界や日常生活にあるマーケティングを見つけ、みんなで考えをシェアし、どういう仕組みになっているか細かく見ていきます。またマネジメントに必要なコミュニケーションの勉強・体験もしていきます。学ぶというのも大切にしてながら、卒業後に即戦力となるように在学中から「実際にやってみる」ということに慣れるため、実践の場もあります。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ■シミュレーション体験によって、今まで知らない職種や視点を理解し、業界の全体像がわかるようになる。 ■コミュニケーションの大切さを理解できる。 ■身近にあるマーケティングの仕組みが理解できるようになる。 ■エンターテインメント業界に限らず、一般企業のビジネスマナーも含めたビジネスの全体像が理解できるようになる。 ■タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場が理解できるようになる。 ■ゼロから1を作る仕組みを理解できるようになる。 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してA&Rを学ぶ	レポートの提出
2	4月24日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してA&Rを学ぶ	レポートの提出
3	5月8日	講義・演習	マーケティングの基本を理解し、なぜ重要なのかを知る	授業後のレポート課題
4	5月15日	講義・演習	プレゼンを学び、自分のプロフィール作成に着手し、自己表現できるようになる	授業後のレポート課題
5	5月22日	講義・演習	エンタメビジネスの全体像を理解できる	授業後のレポート課題
6	5月29日	講義・演習	ビジョンボード、やりたいことリスト100を作成し、目標を明確化できるようになる	授業後のレポート課題
7	6月5日	講義・演習	独自のウリ(USP)を学び、自分や商品のストロングポイントを理解できるようになる	授業後のレポート課題
8	6月12日	講義・演習	リスクリバーサルを学び、相手の立場にたった提案ができる	授業後のレポート課題
9	6月19日	講義・演習	ジョイントベンチャーを学び、業務提携という仕組みを理解する	授業後のレポート課題
10	6月26日	講義・演習	テレマーケティングを学び、どの業界でも通用するスキルを身につける	授業後のレポート課題
11	7月3日	講義・演習	SNSを使ったマーケティングを学び、仕組みを理解できるようになる	授業後のレポート課題
12	7月10日	講義・演習	テストマーケティングを学び、実践するための判断やシミュレーションができるようになる	授業後のレポート課題
13	8月21日	講義・演習	顧客の種類について学び、世の中のニーズを把握することができる	授業後のレポート課題
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Marketing (1) Marketing I B(4)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	黒須亮成
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	世界No.1マーケッターのジェイ・エイブラハム氏の講座を学びながら、タレント、ミュージシャン、アーティスト、音楽作家、ヘアメイク、衣装デザイナーなどのマネージメントを手がける。その他、音楽制作ディレクター、イベント運営などを手がけています。						
授業の学習 内容	①目まぐるしく変化し続けている社会のスピードに付いていくには、ひとつひとつ、すべての分野を極めていく時間はありません。ひとりで1つの分野を極めるのではなく、その分野に特化した能力を持つ人に協力をあおぎ、そのチームをマネジメントし、チームで新しい価値を創造し、それをマーケティングによって必要なところに必要なだけ届けていく必要があります。 ②マーケティングはすべての科目に大きく関係します。その科目のスキルをビジネスに展開し、継続的にお客様のニーズを満たすことができます。 ③マネジメントやマーケティングを学ぶことで、エンタメ業界に限らず、どの業界でも通用する原理原則があることを勉強します。世の中で起こっているさまざまな戦略の基本が理解できるようになり、自分がイメージしたアイデアを具現化でき、自己表現ができるようになります。具体的には、講義形式(座学)とグループワーク(演習)を中心に構成します。グループワークでは、エンタメ業界や日常生活にあるマーケティングを見つけ、みんなで考えをシェアし、どういう仕組みになっているか細かく見ていきます。またマネジメントに必要なコミュニケーションの勉強・体験もしていきます。学ぶというのも大切にしてながら、卒業後に即戦力となるように在学中から「実際にやってみる」ということに慣れるため、実践の場もあります。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ■シミュレーション体験によって、今まで知らない職種や視点を理解し、業界の全体像がわかるようになる。 ■コミュニケーションの大切さを理解できる。 ■身近にあるマーケティングの仕組みが理解できるようになる。 ■エンターテインメント業界に限らず、一般企業のビジネスマナーも含めたビジネスの全体像が理解できるようになる。 ■タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場が理解できるようになる。 ■ゼロから1を作る仕組みを理解できるようになる。 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してA&Rを学ぶ	レポートの提出
2	4月24日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してA&Rを学ぶ	レポートの提出
3	5月8日	講義・演習	マーケティングの基本を理解し、なぜ重要なのかを知る	授業後のレポート課題
4	5月15日	講義・演習	プレゼンを学び、自分のプロフィール作成に着手し、自己表現できるようになる	授業後のレポート課題
5	5月22日	講義・演習	エンタメビジネスの全体像を理解できる	授業後のレポート課題
6	5月29日	講義・演習	ビジョンボード、やりたいことリスト100を作成し、目標を明確化できるようになる	授業後のレポート課題
7	6月5日	講義・演習	独自のウリ(USP)を学び、自分や商品のストロングポイントを理解できるようになる	授業後のレポート課題
8	6月12日	講義・演習	リスクリバーサルを学び、相手の立場にたった提案ができる	授業後のレポート課題
9	6月19日	講義・演習	ジョイントベンチャーを学び、業務提携という仕組みを理解する	授業後のレポート課題
10	6月26日	講義・演習	テレマーケティングを学び、どの業界でも通用するスキルを身につける	授業後のレポート課題
11	7月3日	講義・演習	SNSを使ったマーケティングを学び、仕組みを理解できるようになる	授業後のレポート課題
12	7月10日	講義・演習	テストマーケティングを学び、実践するための判断やシミュレーションができるようになる	授業後のレポート課題
13	8月21日	講義・演習	顧客の種類について学び、世の中のニーズを把握することができる	授業後のレポート課題
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Marketing(2) Marketing I A(3)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	黒須亮成
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	世界No.1マーケッターのジェイ・エイブラハム氏の講座を学びながら、タレント、ミュージシャン、アーティスト、音楽作家、ヘアメイク、衣装デザイナーなどのマネージメントを手がける。その他、音楽制作ディレクター、イベント運営などを手がけています。						
授業の学習 内容	①目まぐるしく変化し続けている社会のスピードに付いていくには、ひとつひとつ、すべての分野を極めていく時間はありません。ひとりで1つの分野を極めるのではなく、その分野に特化した能力を持つ人に協力をあおぎ、そのチームをマネジメントし、チームで新しい価値を創造し、それをマーケティングによって必要なところに必要なだけ届けていく必要があります。 ②マーケティングはすべての科目に大きく関係します。その科目のスキルをビジネスに展開し、継続的にお客様のニーズを満たすことができます。 ③マネジメントやマーケティングを学ぶことで、エンタメ業界に限らず、どの業界でも通用する原理原則があることを勉強します。世の中で起こっているさまざまな戦略の基本が理解できるようになり、自分がイメージしたアイデアを具現化でき、自己表現ができるようになります。具体的には、講義形式(座学)とグループワーク(演習)を中心に構成します。グループワークでは、エンタメ業界や日常生活にあるマーケティングを見つけ、みんなで考えをシェアし、どういう仕組みになっているか細かく理解していきます。またマネジメントに必要なコミュニケーションの勉強・体験もしていきます。学ぶというのも大切にしてながら、卒業後に即戦力となるように在学中から「実際にやってみる」ということに慣れるため、実践の場もあります。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ■シミュレーション体験によって、今まで知らない職種や視点を理解し、業界の全体像がわかるようになる。 ■コミュニケーションの大切さを理解できる。 ■身近にあるマーケティングの仕組みが理解できるようになる。 ■エンターテインメント業界に限らず、一般企業のビジネスマナーも含めたビジネスの全体像が理解できるようになる。 ■タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場が理解できるようになる。 ■ゼロから1を作る仕組みを理解できるようになる。 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してA&RHを学ぶ	レポートの提出
2	10月9日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してA&Rを学ぶ	レポートの提出
3	10月16日	講義・演習	前期テストの復習と解説	授業後のレポート課題
4	10月23日	講義・演習	メディアについて学び、より大きいマーケティングを理解する	授業後のレポート課題
5	10月30日	講義・演習	youtubeを使ったマーケティングを学び、流行りを理解する	授業後のレポート課題
6	11月6日	講義・演習	コピーライティングを学び、顧客目線を理解する	授業後のレポート課題
7	11月13日	講義・演習	キャンペーンについて学び、顧客心理を理解する	授業後のレポート課題
8	11月20日	講義・演習	紹介マーケティングを学び、実践できるようになる	授業後のレポート課題
9	11月27日	講義・演習	ジョイントベンチャーを使った仕組み作りを紙上で行い、実践に向けてトレーニングする	授業後のレポート課題
10	12月4日	講義・演習	音楽イベントのマーケティングについて学び、仕組みを理解できるようになる	授業後のレポート課題
11	12月11日	講義・演習	音楽アーティストのマーケティングについて学び、仕組みを理解する	授業後のレポート課題
12	12月18日	講義・演習	俳優・タレントのマーケティングについて学び、仕組みを理解する	授業後のレポート課題
13	1月15日	講義・演習	アイドルのマーケティングについて学び、仕組みを理解する	授業後のレポート課題
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Marketing(2) Marketing I B(4)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	黒須亮成
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	世界No.1マーケッターのジェイ・エイブラハム氏の講座を学びながら、タレント、ミュージシャン、アーティスト、音楽作家、ヘアメイク、衣装デザイナーなどのマネージメントを手がける。その他、音楽制作ディレクター、イベント運営などを手がけています。						
授業の学習 内容	①目まぐるしく変化し続けている社会のスピードに付いていくには、ひとつひとつ、すべての分野を極めていく時間はありません。ひとりで1つの分野を極めるのではなく、その分野に特化した能力を持つ人に協力をあおぎ、そのチームをマネジメントし、チームで新しい価値を創造し、それをマーケティングによって必要なところに必要なだけ届けていく必要があります。 ②マーケティングはすべての科目に大きく関係します。その科目のスキルをビジネスに展開し、継続的にお客様のニーズを満たすことができます。 ③マネジメントやマーケティングを学ぶことで、エンタメ業界に限らず、どの業界でも通用する原理原則があることを勉強します。世の中で起こっているさまざまな戦略の基本が理解できるようになり、自分がイメージしたアイデアを具現化でき、自己表現ができるようになります。具体的には、講義形式(座学)とグループワーク(演習)を中心に構成します。グループワークでは、エンタメ業界や日常生活にあるマーケティングを見つけ、みんなで考えをシェアし、どういう仕組みになっているか細かく理解していきます。またマネジメントに必要なコミュニケーションの勉強・体験もしていきます。学ぶというのも大切にしてながら、卒業後に即戦力となるように在学中から「実際にやってみる」ということに慣れるため、実践の場もあります。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ■シミュレーション体験によって、今まで知らない職種や視点を理解し、業界の全体像がわかるようになる。 ■コミュニケーションの大切さを理解できる。 ■身近にあるマーケティングの仕組みが理解できるようになる。 ■エンターテインメント業界に限らず、一般企業のビジネスマナーも含めたビジネスの全体像が理解できるようになる。 ■タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場が理解できるようになる。 ■ゼロから1を作る仕組みを理解できるようになる。 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してA&RHを学ぶ	レポートの提出
2	10月9日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してA&Rを学ぶ	レポートの提出
3	10月16日	講義・演習	前期テストの復習と解説	授業後のレポート課題
4	10月23日	講義・演習	メディアについて学び、より大きいマーケティングを理解する	授業後のレポート課題
5	10月30日	講義・演習	youtubeを使ったマーケティングを学び、流行りを理解する	授業後のレポート課題
6	11月6日	講義・演習	コピーライティングを学び、顧客目線を理解する	授業後のレポート課題
7	11月13日	講義・演習	キャンペーンについて学び、顧客心理を理解する	授業後のレポート課題
8	11月20日	講義・演習	紹介マーケティングを学び、実践できるようになる	授業後のレポート課題
9	11月27日	講義・演習	ジョイントベンチャーを使った仕組み作りを紙上で行い、実践に向けてトレーニングする	授業後のレポート課題
10	12月4日	講義・演習	音楽イベントのマーケティングについて学び、仕組みを理解できるようになる	授業後のレポート課題
11	12月11日	講義・演習	音楽アーティストのマーケティングについて学び、仕組みを理解する	授業後のレポート課題
12	12月18日	講義・演習	俳優・タレントのマーケティングについて学び、仕組みを理解する	授業後のレポート課題
13	1月15日	講義・演習	アイドルのマーケティングについて学び、仕組みを理解する	授業後のレポート課題
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Design&Programming(1) Digital Design A(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	大場学
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	TSMではこれまでWEB制作やマーケティングの他、動画コンテンツの制作などを指導。セルフプロデュース、セルフプロモーションできる力を養う事業内容を展開。						
授業の学習 内容	複数のPCソフトを使い分けながら、紙媒体広告・デジタル広告両媒体のプロモーションツール制作に求められるデザインの基礎力を学ぶ。						
到達目標	adobe製ソフト(premiere/illustrator/photoshop)の基本操作を習得し、動画、フライヤー、SNSカスタマイズなどプロモーションに必要な知識とスキルを身につけること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	オリエンテーション。1年を通して何を習得できるかを把握できる。	ワークシート
2	4月24日	講義・演習	premiereの基礎。動画編集の基礎を学ぶ	自己PR、プロフィールをまとめておく。
3	5月8日	講義・演習	premiereの基礎。動画編集について実習	自分の動画、アー写を用意しておく。
4	5月15日	講義・演習	premiereのマルチカメラ編集を習得し、操作できる。	自分の動画、アー写を用意しておく。
5	5月22日	講義・演習	自己紹介動画の企画。学生自ら考える力を身につけることができる。	ワークシート
6	5月29日	講義・演習	企画を元に自己紹介動画を作成する① 企画	ワークシート
7	6月5日	講義・演習	企画を元に自己紹介動画を作成する② 制作	ワークシート
8	6月12日	講義・演習	illustratorの基礎。基本操作を理解し、習得できる。	ワークシート
9	6月19日	講義・演習	illustratorの基礎。パス/テキストのデザインを理解し、習得できる。	illustratorの基本操作を復習しておく
10	6月26日	講義・演習	illustratorの基礎。カラーマネジメントを理解し、習得できる。	illustratorの基本操作を復習しておく
11	7月3日	講義・演習	photoshopの基礎。基本操作を理解し、習得できる。	illustratorの基本操作を復習しておく
12	7月10日	講義・演習	photoshopによるレタッチ。人物のレタッチ手法を理解し、実践できる。	photoshopの基本操作を復習しておく
13	8月21日	講義・演習	photoshopによるレタッチ。選択とマスクを理解し、実践できる。	photoshopの基本操作を復習しておく
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			他のアーティストのフライヤーなどのデザインに注目し、常に感性を磨く姿勢をもつこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				
常設設備				

科目名	Design&Programming(1) Digital Design B(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	大場学
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	TSMではこれまでWEB制作やマーケティングの他、動画コンテンツの制作などを指導。セルフプロデュース、セルフプロモーションできる力を養う事業内容を展開。						
授業の学習 内容	社内資料作成や報告書など、現場ではオフィス系のソフトが必須となるため、前期では各種オフィスソフトのレベルチェックと、基本操作を学ぶ。特にexcelに関しては、授業で取り上げる3つのオフィスソフトの中で最重要視し、関数やデータ分析を中心に 行っていく。						
到達目標	word, excel, power pointを使用し各種資料の作成やプレゼンテーションを行えるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	オリエンテーション。1年を通して何を習得できるかを把握できる。	ワークシート
2	4月24日	講義・演習	wordスキルレベルチェック。現段階でのスキルをチェックし、後々振り返る。	ワークシート
3	5月8日	講義・演習	word基礎1。画面構成やツールを確認し、基本操作ができるようになる。	ワークシート
4	5月15日	講義・演習	word基礎2。ワードアート、画像挿入などビジュアルデータを中心に。	ワークシート
5	5月22日	講義・演習	word基礎3。レイアウトやヘッダーフッター挿入など資料作成に不可欠な機能を確認する。	ワークシート
6	5月29日	講義・演習	excelレベルチェック。現段階でのスキルをチェックし、後々振り返る。	ワークシート
7	6月5日	講義・演習	excel基礎1。画面構成やツールを確認し、基本操作ができるようになる。	ワークシート
8	6月12日	講義・演習	excel基礎2。グラフ機能を中心に。	ワークシート
9	6月19日	講義・演習	excel基礎3。sum関数など基本的な関数を中心に。	ワークシート
10	6月26日	講義・演習	power pointレベルチェック。現段階でのスキルをチェックし、後々振り返る。	ワークシート
11	7月3日	講義・演習	power point基礎1。画面構成やツールを確認し、基本操作ができるようになる。	ワークシート
12	7月10日	講義・演習	power point基礎2。スライドデザインやアニメーションなどビジュアルを中心に。	ワークシート
13	8月21日	講義・演習	power point基礎3。決められた課題をテーマにプレゼン資料の作成。	ワークシート
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			他のアーティストのフライヤーなどのデザインに注目し、常に感性を磨く姿勢をもつこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				
常設設備				

科目名	Design&Programming(2) Digital Design A(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	大場学
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	TSMではこれまでWEB制作やマーケティングの他、動画コンテンツの制作などを指導。セルフプロデュース、セルフプロモーションできる力を養う事業内容を展開。						
授業の学習 内容	アーティスト/クリエイター/プロデューサーとして活動していくには外部に情報を適切な形で発信していかなくてはならないため、illustrator、photoshopを駆使した名刺をデザインし自身のプロモーションに活用するスキルを身に着ける。また、SNSやWordPressといったネットによるプロモーションツールにも触れ、アナログ、デジタル両側面から発信する知識を身に着ける。						
到達目標	入稿の知識やWordPressによるサイト構築の基礎知識を身につけ、アナログ・デジタルのデザインアイデアを具体的に落とし込めるようになる。また、今後SNSや動画配信など、ネットと積極的に関わる中で気を付けなければいけないことなどを自覚しながら発信できるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	入稿データ作成の基礎。 入稿について理解し、実践として名刺制作を行うことができる。	ワークシート
2	10月9日	講義・演習	名刺作成・提出。	ワークシート
3	10月16日	講義・演習	ネットリテラシーについて学ぶ。判例や訴訟に至ったケースなど紹介。 ネットリテラシーについて考察を学生自ら行うことができ	ワークシート
4	10月23日	講義・演習	名刺の配布とデザインについての講評。 講評を元に、自分の作品を客観的に分析できる。	ワークシート
5	10月30日	講義・演習	主要SNSの概要と公式アカウントの取得。 情報発信に必要なツールを活用できるようになる。	ワークシート
6	11月6日	講義・演習	youtubeチャンネルの作成と、必要な設定を行うことができる。	ワークシート
7	11月13日	講義・演習	WordPressの基礎知識を理解し、説明できる。	ワークシート
8	11月20日	講義・演習	WordPressの導入方法を学ぶ。サーバーへのインストールを行うことができる。	WordPressについて復習しておく
9	11月27日	講義・演習	WordPressの投稿タイプ、固定ページ、アーカイブを理解し、説明できる。	WordPressについて復習しておく
10	12月4日	講義・演習	WordPressのメニュー、プラグインを理解し、説明できる。	WordPressについて復習しておく
11	12月11日	講義・演習	WordPressのテーマを理解し、説明できる。	WordPressについて復習しておく
12	12月18日	講義・演習	WordPressにSNSアカウントを連携し、方法を理解できる。	WordPressについて復習しておく
13	1月15日	講義・演習	1年間の総復習として、小テストの実施	ワークシート
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			他のアーティストのフライヤーなどのデザインに注目し、常に感性を磨く姿勢をもつこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Design&Programming(2) Digital Design B(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	大場学
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	TSMではこれまでWEB制作やマーケティングの他、動画コンテンツの制作などを指導。セルフプロデュース、セルフプロモーションできる力を養う事業内容を展開。						
授業の学習 内容	社内資料作成や報告書など、現場ではオフィス系のソフトが必須となるため、後期では前期で学んだことを応用し、より伝わりやすい資料作成、作業の効率化を学んでいく。特にexcelに関しては、授業で取り上げる3つのオフィスソフトの中で最重要視し、LOOKUP関数やピボットテーブルなどのデータ分析から、関数の組み合わせなど現場でも応用可能な機能を取り入れ学んでいく。						
到達目標	相手に『伝える』資料をより短い時間で作成でき、それを第三者に伝える能力を身につける。そのためにデータビジュアライゼーションなど基本操作以外のことも知識として身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	1年時の復習	ワークシート
2	10月9日	講義・演習	データビジュアライゼーション。より伝わるデザインの考え方。	ワークシート
3	10月16日	講義・演習	作業の効率化。ショートカットキーを活用して作業の効率化を学ぶ。	ワークシート
4	10月23日	講義・演習	オフィスソフト間の連携	ワークシート
5	10月30日	講義・演習	excelによるデータ分析基礎。フィルター、ピボット	ワークシート
6	11月6日	講義・演習	excelによるデータ分析実践。VLOOKUP関数などを使って集計、分析を行う。	先週の内容を復習しておく。
7	11月13日	講義・演習	excel関数の基礎復習・応用。	ワークシート
8	11月20日	講義・演習	excel関数の実践。IF、SUMIF、COUNTIFなど	excel関数について復習しておく。
9	11月27日	講義・演習	excel関数の組み合わせ。条件分岐などを使用した複数関数の組み合わせ。	excel関数について復習しておく。
10	12月4日	講義・演習	excelによる資料作成課題	ワークシート
11	12月11日	講義・演習	プレゼンテーション課題制作。1年間を通して学んだことを応用し、説得力のあるプレゼン資料を作成、発表する。	ワークシート
12	12月18日	講義・演習	プレゼンテーション発表前半	ワークシート
13	1月15日	講義・演習	プレゼンテーション発表後半&総括	ワークシート
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			他のアーティストのフライヤーなどのデザインに注目し、常に感性を磨く姿勢をもつこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Arranging(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	湯汲 哲也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2002年 大阪スクールオブミュージック専門学校を卒業後、2003年からレコード会社avexの専属作曲家として、浜崎あゆみ、ももクロ、96猫、などの様々なアーティストに楽曲提供をしている。またテレビ番組やCMの作曲、UUUM所属のYoutuber、としみつ(東海オンエア)、リクラ(アバンティーズ)、JENNI etc.への楽曲提供&プロデュースなど幅広く活動している。						
授業の学習 内容	DAWを使っでの打ち込み、レコーディング、ミキシング方法が主な内容で、音楽理論を交えながら編曲の手法を教えていく。自分の頭の中でイメージできているものを具体的な「音」にするためにソフトシンセやプラグインの操作方法を学び、目標とされるYoutubeやネットに音源をアップできるようになる。						
到達目標	自分が作ったメロディーやコード進行をDAW(Logic)を使ってアレンジする事を目的とする。YoutubeやネットにアップできるようVoや楽器のレコーディング、ミックス、マスタリングの3工程を自分一人のできる事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	ソフトシンセをインストゥルメントトラックにセットして音を出す事ができる。	ソフトシンセの音を出して自分が気に入った音色をLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
2	4月27日	講義・演習	編集ウィンドウ、ミックスウィンドウ、トランスポートウィンドウの概要を学ぶ	ソフトシンセの音を出して自分が気に入った音色をLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
3	5月11日	講義・演習	編集ウィンドウ、ミックスウィンドウ、トランスポートウィンドウの概要を学ぶ	ソフトシンセの音を出して自分が気に入った音色をLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
4	5月18日	講義・演習	MIDIノートの入力方法と編集方法を学ぶ	鼻歌で作ったオリジナルのメロディーをスマホに保存しておく
5	5月25日	講義・演習	バーチャルインストゥルメントを使ってMIDIの録音方法を学ぶ	鼻歌で作ったオリジナルのメロディーをスマホに保存しておく
6	6月1日	講義・演習	バーチャルインストゥルメントを使ってMIDIの録音方法を学ぶ	鼻歌で作ったオリジナルのメロディーをスマホに保存しておく
7	6月8日	講義・演習	MIDIクリップの取り扱い方を学ぶ	オリジナルのコード進行をLogicにプロジェクトファイルに保存しておく
8	6月15日	講義・演習	MIDIデータのステップ入力方法を学ぶ	オリジナルのコード進行をLogicにプロジェクトファイルに保存しておく
9	6月22日	講義・演習	MIDIデータのステップ入力方法を学ぶ	オリジナルのコード進行をLogicにプロジェクトファイルに保存しておく
10	6月29日	講義・演習	マルチティンバーのバーチャルインストゥルメントの取り扱いを学ぶ	オリジナルのリズムをLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
11	7月6日	講義・演習	マルチティンバーのバーチャルインストゥルメントの取り扱いを学ぶ	オリジナルのリズムをLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
12	7月13日	講義・演習	EQ,Comp等の各種プラグインの使い方と効果を学ぶ	オリジナルのリズムをLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
13	8月24日	講義・演習	EQ,Comp等の各種プラグインの使い方と効果を学ぶ	オリジナルのアレンジ曲をLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通しての楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通しての楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
準備学習 時間外学習			授業で習った音楽理論に沿って、たくさんメロディーとコード進行を作ってストックしておく。	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル				

科目名	Arranging(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	湯汲 哲也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2002年 大阪スクールオブミュージック専門学校を卒業後、2003年からレコード会社avexの専属作曲家として、浜崎あゆみ、ももクロ、96猫、などの様々なアーティストに楽曲提供をしている。またテレビ番組やCMの作曲、UUUM所属のYoutuber、としみつ(東海オンエア)、リクラ(アバンティーズ)、JENNI etc.への楽曲提供&プロデュースなど幅広く活動している。						
授業の学習 内容	DAWを使っでの打ち込み、レコーディング、ミキシング方法が主な内容で、音楽理論を交えながら編曲の手法を教えていく。自分の頭の中でイメージできているものを具体的な「音」にするためにソフトシンセやプラグインの操作方法を学び、目標とされるYoutubeやネットに音源をアップできるようになる。						
到達目標	自分が作ったメロディーやコード進行をDAW(Protools)を使ってアレンジする事を目的とする。YoutubeやネットにアップできるようVoや楽器のレコーディング、ミックス、マスタリングの3工程を自分一人のできる事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	ソフトサンプラー「Structure Free」を学ぶ	Structure Freeを使ってオリジナルのリズムを作ってプロジェクトファイルに保存しておく
2	10月12日	講義・演習	ドラム専用バーチャルインストゥルメント「Boom」を学ぶ	Boomを使ってオリジナルのリズムを作ってプロジェクトファイルに保存しておく
3	10月19日	講義・演習	マルチティンバー音源「Xpand!2」を学ぶ	Xpand!2の中にある気に入った音色をプロジェクトファイルに保存しておく
4	10月26日	講義・演習	セッションのテンポ、キー、拍子の設定方法を学ぶ	オリジナル曲のテンポ、キー、拍子を変えてみる
5	11月2日	講義・演習	クオンタイズでタイミングをずらす方法を学ぶ	色々なクオンタイズを試してグルーブを理解しておく
6	11月16日	講義・演習	ベロシティとコントローラーイベントの編集方法を学ぶ	レーンを開いて全ての編集方法に触れておく
7	11月23日	講義・演習	オーディオレコーディングを学ぶ	オリジナルのメロディーをマイクで録音してプロジェクトファイルに保存しておく
8	11月30日	講義・演習	オーディオ波形の編集を学ぶ	オリジナルのメロディーをマイクで録音してプロジェクトファイルに保存しておく
9	12月7日	講義・演習	インサートエフェクトとSENDエフェクトの使い分け方を学ぶ	録音したオーディオファイルにエフェクトをかける
10	12月14日	講義・演習	インサートエフェクトとSENDエフェクトの使い分け方を学ぶ	録音したオーディオファイルにエフェクトをかける
11	12月21日	講義・演習	サイドチェインの使い方を学ぶ	サイドチェインを使ったオリジナルリズムを作ってプロジェクトファイルに保存しておく
12	1月11日	講義・演習	「編集グループ」と「ミックスグループ」の設定方法を学ぶ	フェーダーバランスだけでラフミックスをしておく。
13	1月18日	講義・演習	オートメーションの書き込みモード「write」「touch」「latch」の3種類を学ぶ	オリジナル曲にオートメーション使ってアレンジに変化をつけてみる
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通しての楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通しての楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
準備学習 時間外学習			授業で習った音楽理論に沿って、たくさんメロディーとコード進行を作ってストックしておく。	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル				

科目名	Digital Compose(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	森谷諭
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	日本人初のAbleton認定トレーナーとして、音楽雑誌への寄稿や現役プロへの指導、専門学校講師を務める						
授業の学習 内容	海外でも通用するプロデューサーとしての力を身につけるため、海外で広く使用されているAbleton LiveおよびPushの操作方法を学び、作曲能力や楽曲のアレンジ力を養う。また、様々なレコーディング方法の習得を通して、柔軟なトラックメイク能力を養い、セルフプロデュース力を向上させる。						
到達目標	Ableton Live及びPushの基本的な操作ができる。 AudioとMIDIを駆使したトラックメイクができる。 インターネット上に自分の楽曲のアップロードができる。 楽曲アレンジの幅を広げる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月22日	講義・演習	オリエンテーション	授業内で配布したワークシートの確認
2	4月29日	講義・演習	Audio Sampleを使ったトラックメイク	授業内で配布したワークシートの確認
3	5月13日	講義・演習	Ableton Pushを使ったトラックメイク	授業内で配布したワークシートの確認
4	5月20日	講義・演習	Ableton Pushを使ったトラックメイク	授業内で配布したワークシートの確認
5	5月27日	講義・演習	Ableton Pushを使ったトラックメイク	授業内で配布したワークシートの確認
6	6月3日	講義・演習	Ableton Pushを使ったトラックメイク	授業内で配布したワークシートの確認
7	6月10日	講義・演習	リズムの取り方	授業内で配布したワークシートの確認
8	6月17日	講義・演習	様々なジャンルを知る	授業内で配布したワークシートの確認
9	6月24日	講義・演習	AudioとMIDIの違い	授業内で配布したワークシートの確認
10	7月1日	講義・演習	Audioのレコーディング方法	授業内で配布したワークシートの確認
11	7月8日	講義・演習	Audio Effect、MIDI Effectを知る	授業内で配布したワークシートの確認
12	7月15日	講義・演習	前期課程の復習	授業内で配布したワークシートの確認
13	8月26日	講義・演習	定期試験	授業内で配布したワークシートの確認
14	9月2日	講義・演習	イベント実践を通しての楽曲制作を学ぶ	授業内で配布したワークシートの確認
15	9月9日	講義・演習	イベント実践を通しての楽曲制作を学ぶ	授業内で配布したワークシートの確認
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Digital Compose(2)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	森谷諭
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	日本人初のAbleton認定トレーナーとして、音楽雑誌への寄稿や現役プロへの指導、専門学校講師を務める						
授業の学習 内容	海外でも通用するプロデューサーとしての力を身につけるため、海外で広く使用されているAbleton LiveおよびPushの操作方法を学び、作曲能力や楽曲のアレンジ力を養う。また、様々なレコーディング方法の習得を通して、柔軟なトラックメイク能力を養い、セルフプロデュース力を向上させる。						
到達目標	Ableton Live及びPushの基本的な操作ができる。 AudioとMIDIを駆使したトラックメイクができる。 インターネット上に自分の楽曲のアップロードができる。 楽曲アレンジの幅を広げる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	Ableton Pushの操作に関する復習	授業内で配布したワークシートの確認
2	10月14日	講義・演習	Samplingでのトラックメイク	授業内で配布したワークシートの確認
3	10月21日	講義・演習	Samplingでのトラックメイク	授業内で配布したワークシートの確認
4	10月28日	講義・演習	Samplingでのトラックメイク	授業内で配布したワークシートの確認
5	11月4日	講義・演習	Samplingでのトラックメイク	授業内で配布したワークシートの確認
6	11月18日	講義・演習	Samplingでのトラックメイク	授業内で配布したワークシートの確認
7	11月25日	講義・演習	各種Effectに関する復習	授業内で配布したワークシートの確認
8	12月2日	講義・演習	楽曲のミキシングについて	授業内で配布したワークシートの確認
9	12月9日	講義・演習	楽曲のミキシングについて	授業内で配布したワークシートの確認
10	12月16日	講義・演習	楽曲のミキシングについて	授業内で配布したワークシートの確認
11	1月13日	講義・演習	楽曲のミキシングについて	授業内で配布したワークシートの確認
12	1月20日	講義・演習	後期課程の復習	授業内で配布したワークシートの確認
13	2月3日	講義・演習	定期試験	授業内で配布したワークシートの確認
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通しての楽曲制作を学ぶ	授業内で配布したワークシートの確認
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通しての楽曲制作を学ぶ	授業内で配布したワークシートの確認
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	AT-Protocols(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	足立優
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	作曲家、ギタリスト。様々なアーティストやアニメ等への楽曲提供やレコーディングを行う。□						
授業の学習 内容	DAWを使用したオーディオ編集技術は現代ミュージシャンにとって欠かせない技術の一つである。よって、一人一台のPCを使用し、各授業ごとにテーマに沿った課題を作成し、基本的な操作方法や各種機能の使用方法など、確実に身に付けられるよう授業を展開する。						
到達目標	Protocolsの基本的な操作方法を理解し、オーディオの編集作業を行える能力を身につけることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月22日	講義・演習	スタートアップガイダンス 目的と概要説明・macの基礎	講義で作成したものを各自で作成
2	4月29日	講義・演習	DAWとは(各種概要解説)	講義で作成したものを各自で作成
3	5月13日	講義・演習	DAW立ち上げ・セッション作成・ 各種ウィンドウの説明	講義で作成したものを各自で作成
4	5月20日	講義・演習	オーディオインポート・クリップトラックの 作成・ショートカットキーの説明	講義で作成したものを各自で作成
5	5月27日	講義・演習	オーディオの編集 (波形分割・コピー&ペースト・マーカー他)	講義で作成したものを各自で作成
6	6月3日	講義・演習	楽曲の分割・サイズ変更・書き出し	作成したデータの整理・復習
7	6月10日	講義・演習	オーディオの編集 (フェード・トリミング・サイズ変更)	講義で作成したものを各自で作成
8	6月17日	講義・演習	オーディオの編集 (カットアップ)	講義で作成したものを各自で作成
9	6月24日	講義・演習	複数トラックインポート (各種レベル、PAN調整)	講義で作成したものを各自で作成
10	7月1日	講義・演習	オートメーション作成 (ボリューム・PAN・ミュート他)	講義で作成したものを各自で作成
11	7月8日	講義・演習	オートメーション作成 (touch、latch、writeでの作成)	講義で作成したものを各自で作成
12	7月15日	講義・演習	テンポ検出&クリック作成 (タブアウトランジェント他)	講義で作成したものを各自で作成
13	8月26日	講義・演習	テンポ検出&クリック作成 (初級楽曲)	講義で作成したものを各自で作成
14	9月2日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	9月9日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			Protocolsの操作を授業外でも行い、練習する(1日30分程度)ことを準備学習・時間外学習とする。	
【使用教科書・教材・参考書】				
常設機材				

科目名	AT-Protocols(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	足立優
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	作曲家、ギタリスト。様々なアーティストやアニメ等への楽曲提供やレコーディングを行う。□						
授業の学習 内容	前期で身につけたスキルを実践し、自身の音源政策を自身で行える知識を身につけられるよう授業を展開する。						
到達目標	各自、自宅システムの構築を想定する場合には必要な機材を知り、自らの演奏データの編集、書き出し等を行える知識を有することを目的とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	自宅システムの構築方法 (インターフェース・マイク・ケーブル等について)	各自必要なものを考える
2	10月14日	講義・演習	自宅システムの構築方法とレコーディングについて	各自必要なものを考える
3	10月21日	講義・演習	エフェクト解説 (イコライザー)	講義で作成したものを各自で作成
4	10月28日	講義・演習	エフェクト実践 (イコライザーについての応用)	講義で作成したものを各自で作成
5	11月4日	講義・演習	エフェクト解説 (コンプレッサー)	講義で作成したものを各自で作成
6	11月18日	講義・演習	エフェクト実践 (コンプレッサーについての応用)	講義で作成したものを各自で作成
7	11月25日	講義・演習	オーディオの録音	講義で作成したものを各自で作成
8	12月2日	講義・演習	オーディオ編集 (クロスフェード・モドレー作成)	講義で作成したものを各自で作成
9	12月9日	講義・演習	オーディオ編集 (クオンタイズ・ストリップサイレンス)	講義で作成したものを各自で作成
10	12月16日	講義・演習	オーディオ編集 (テンポ変更・トランスポーズ)	講義で作成したものを各自で作成
11	1月13日	講義・演習	実践的な機能の解説・実践 (プリロール・ポストロール他)	講義で作成したものを各自で作成
12	1月20日	講義・演習	実践的な機能の解説・実践 (各種環境設定等)	講義で作成したものを各自で作成
13	2月3日	講義・演習	前期の復習・課題作成	作成したデータの整理
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			Protocolsの操作を授業外でも行い、練習する(1日30分程度)ことを準備学習・時間外学習とする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Pre-production seminar(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	勝守理 深井誠
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)		
教員の略歴	アレンジ:古澤巖、平沼有梨、Meg with Sweep、巨峯夫 レコーディング:Kra 作曲:騰訊や網易などの中国ゲーム 等の活動を行う						
授業の学習 内容	プロの作曲家として必要なプリプロを作るために必要なスキルを習得する授業。プリプロダクションゼミ(コンペコース)を補完するような授業。プロの作曲家やエンジニアとして活躍できる人材になる。						
到達目標	機材の名前や機能を把握しプリプロRoomを使えるようになる。楽曲のデモ(ベーシックアレンジまで)できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	授業内容と意義を理解する/コンペコースに行くか特訓コースに行くか決める	デモ音源をボイスレコーダーで作ってくる
2	5月9日	講義・演習	プリプロRoomに設置されている機材についての基礎的な理解とマナーに関する理解を得られる/メロディーを聴き取りDAWに打ち込むことができる	授業内に終わらなかったデータの作成
3	5月16日	講義・演習	基礎的なシンセサイザーのしくみを理解できるようになる/メロディーに対し簡単なリズムを打ち込むことができる(クオンタイズ、ベロシティ)	Miniテスト/授業内に終わらなかったデータの作成
4	5月23日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク/コンペコースに行くか特訓コースに行くか決める	Miniテスト/授業内に終わらなかったデータの作成
5	5月30日	講義・演習	DAWについての基礎知識を理解することができる/ループの組み合わせで音楽を作ることができるようになる	授業内に終わらなかったデータの作成
6	6月6日	講義・演習	DAW周りの機材や配線を理解することができる/バックトラックに対してメロディーをつけることができるようになる	授業内に終わらなかったデータの作成
7	6月13日	講義・演習	デジタルの機材や配線、設定などを理解することができる/状況に合わせてメロディーやトラックを変更することができる	Miniテスト/授業内に終わらなかったデータの作成
8	6月20日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク/コンペコースに行くか特訓コースに行くか決める	Miniテスト
9	6月27日	講義・演習	基礎的なエフェクターの仕組みと使いかたを理解できる(コンプ、EQ)/ドラムの打ち込みができるようになる	授業内に終わらなかったデータの作成
10	7月4日	講義・演習	基礎的なエフェクターの仕組みと使いかたを理解できる(リバーブ、ディレイ)/ベースの打ち込みができるようになる	授業内に終わらなかったデータの作成
11	7月11日	講義・演習	ピアノの打ち込み/完成したデモ楽曲を視聴して足りないところを理解する	Miniテスト/授業内に終わらなかったデータの作成
12	7月18日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク/チーム決め	ワークシート・資料の確認
13	8月22日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク	ワークシート・資料の確認
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Pre-production seminar(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 勝守理 深井誠
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	
教員の略歴	アレンジ:古澤巖、平沼有梨、Meg with Sweep、巨峯夫 レコーディング:Kra 作曲:騰訊や網易などの中国ゲーム 等の活動を行う					
授業の学習 内容	プロの作曲家として必要なプリプロを作るために必要なスキルを習得する授業。プリプロダクションゼミ(コンペコース)を補完するような授業。プロの作曲家やエンジニアとして活躍できる人材になる。					
到達目標	発注書や映像など制約がある中で楽曲を作ることができる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	アナログシンセの仕組みを理解できる(VCO,VCF,VCA)/シンセリード、Bass、PADなどの音色を作ることができる。/アナログシンセのみで楽曲を作成	授業内に出来上がったものを視聴しそれぞれに対し目標を定め次週までの宿題を出す
2	10月10日	講義・演習	アナログシンセの仕組みを理解できる(ADSR,LFO,Matrix,etc)/Drum,ADSRやLFOを使った音色を作ることができる/アナログシンセのみで楽曲を作成	授業内に出来上がったものを視聴しそれぞれに対し目標を定め次週までの宿題を出す
3	10月17日	講義・演習	DAWでシンセのオートメーションを書くことができる/出来上がった楽曲を聴いて足りないところを理解できる。	授業内に終わらなかったデータの作成
4	10月24日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク/コンペコースに行くか特訓コースに行くか決める	サウンドロゴを作ってくる(素材3パターン)
5	10月31日	講義・演習	出来上がったサウンドロゴを聴いて足りないところを理解できるようになる/映像に音楽をつけることができる(CG,ドラマ)	映像につける音楽を作ってくる
6	11月7日	講義・演習	出来上がった楽曲を聴いて足りないところを理解できる/発注書から楽曲をつくらせることができる	発注書にあった音楽を作ってくる
7	11月14日	講義・演習	出来上がった楽曲を聴いて足りないところを理解できる/ゲーム音楽を作ることができる	ゲーム映像にあった音楽を作ってくる
8	11月21日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク/コンペコースに行くか特訓コースに行くか決める	データの作成
9	11月28日	講義・演習	Mixをするための前準備、セッティング、心構えを理解できる	自分なりのミックスを作ってくる
10	12月5日	講義・演習	ミックスを視聴足りないところを理解できるようになる/音調整のためのエフェクトの基本的な使い方を理解できるようになる	2曲ミックスをしってくる
11	12月12日	講義・演習	マスタリングとは何か理解することができる/ミックスでどのようなオートメーションをすべきか理解できる	1曲ミックスしってくる
12	12月19日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク/チーム決め	ワークシート・資料の確認
13	1月9日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク	ワークシート・資料の確認
14	1月16日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
15	1月30日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Analog Recording Advance(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	伊藤康宏
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	IRo2 スタジオエンジニアを経て現在フリーランスエンジニアとして活動						
授業の学習 内容	講義、実習を基に音楽制作におけるマネジメント、プロダクションなどを学ぶ						
到達目標	楽曲作品を制作するにあたり、作業の正確さ、判断力、スケジュール管理能力等を総合的に習得する						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	スタジオシステム総論	レポート
2	10月11日	講義・演習	ミキシングコンソール総論	レポート
3	10月18日	講義・演習	エフェクティング総論	レポート
4	10月25日	講義・演習	レコーディングシミュレーション	レポート
5	11月1日	講義・演習	演習1-1(リズム録音)	レポート
6	11月8日	講義・演習	演習1-2(ダビング)	レポート
7	11月15日	講義・演習	演習1-3(Voダビング)	レポート
8	11月22日	講義・演習	演習1-4(Edit/Mix)	レポート
9	11月29日	講義・演習	試聴会〜グループ分け	レポート
10	12月6日	講義・演習	マイキング復習	レポート
11	12月13日	講義・演習	エフェクティング復習	レポート
12	12月20日	講義・演習	ミキシング復習	レポート
13	1月10日	講義・演習	実習2-1(リズム録音)	レポート
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通してレコーディング手法を学ぶ	レポートの提出
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通してレコーディング手法を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		前回学習時の内容・及び自習時の疑問点をまとめておく		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Analog Recording Advance(4)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	伊藤康宏
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	IRc2 スタジオエンジニアを経て現在フリーランスエンジニアとして活動						
授業の学習 内容	講義、実習を基に音楽制作におけるマネジメント、プロダクションなどを学ぶ						
到達目標	楽曲作品を制作するにあたり、作業の正確さ、判断力、スケジュール管理能力等を総合的に習得する						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	演習2-2(ダビング)	レポート
2	5月10日	講義・演習	演習2-3(Voダビング)	レポート
3	5月17日	講義・演習	演習2-4(Edit/Mix)	レポート
4	5月24日	講義・演習	試聴会～グループ分け	レポート
5	5月31日	講義・演習	Vo Edit	レポート
6	6月7日	講義・演習	ミキシング定位、奥行き演出術	レポート
7	6月14日	講義・演習	演習1(アンビエント)	レポート
8	6月21日	講義・演習	演習2(リズム録音)	レポート
9	6月28日	講義・演習	演習3(Gtダビング)	レポート
10	7月5日	講義・演習	演習4(その他ダビング)	レポート
11	7月12日	講義・演習	演習5(Edit)	レポート
12	7月19日	講義・演習	演習6(Mix)	レポート
13	8月23日	講義・演習	試聴会～次年度の目標設定	レポート
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通してレコーディング手法を学ぶ	レポートの提出
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通してレコーディング手法を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			前回学習時の内容・及び自習時の疑問点をまとめておく	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Real World Recording Project(3)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	田中実
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)		
教員の略歴	レコーディングエンジニア。スタジオシャングリラ、スタジオICCを経てフリーランスに。SHANGRI-LA.inc 所属						
授業の学習 内容	プロのレコーディングエンジニアになる為に必要なミキシングコンソール、PROTOOLSなどの基本的な使い方を覚える。頭に入れるだけではなく、体が覚えるまで反復練習を繰り返し行い技術を習得する。						
到達目標	プロのレコーディングエンジニアとして就職を目指し、まずはアシスタント業務を円滑に行えるようになるまでの操作技術とコミュニケーション能力を養う。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	復習	前授業の復習をしておく
2	10月9日	講義・演習	管楽器などの録音①	前授業の復習をしておく
3	10月16日	講義・演習	前週のEDITとMIX	前授業の復習をしておく
4	10月23日	講義・演習	管楽器などの録音②	前授業の復習をしておく
5	10月30日	講義・演習	前週のEDITとMIX	前授業の復習をしておく
6	11月6日	講義・演習	管楽器などの録音③	前授業の復習をしておく
7	11月13日	講義・演習	前週のEDITとMIX	前授業の復習をしておく
8	11月20日	講義・演習	サラウンドミックス	前授業の復習をしておく
9	11月27日	講義・演習	MA MIX	前授業の復習をしておく
10	12月4日	講義・演習	バンド録音	前授業の復習をしておく
11	12月11日	講義・演習	ダビング	前授業の復習をしておく
12	12月18日	講義・演習	ミックス	前授業の復習をしておく
13	1月15日	講義・演習	実技試験対策①	前授業の復習をしておく
14	1月29日	講義・演習	実技テスト	前授業の復習をしておく
15	2月5日	講義・演習	一年間の復習	前授業の復習をしておく
準備学習 時間外学習			授業の前は前回の復習をしておく。パソコンを持っている人は家でもProtoolsを使ってみる。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Real World Recording Project(6)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	田中実
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)		
教員の略歴	レコーディングエンジニア。スタジオシャングリラ、スタジオICCを経てフリーランスに。SHANGRI-LA.inc 所属						
授業の学習 内容	プロのレコーディングエンジニアになる為に必要なミキシングコンソール、PROTOOLSなどの基本的な使い方を覚える。頭に入れるだけではなく、体が覚えるまで反復練習を繰り返し行い技術を習得する。						
到達目標	プロのレコーディングエンジニアとして就職を目指し、まずはアシスタント業務を円滑に行えるようになるまでの操作技術とコミュニケーション能力を養う。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	GC スタジオの機材の使い方 Duality①	前期授業の復習をしておく
2	4月24日	講義・演習	GC スタジオの機材の使い方 Duality②	前授業の復習をしておく
3	5月8日	講義・演習	GC スタジオの機材の使い方 Duality③	前授業の復習をしておく
4	5月15日	講義・演習	GCスタジオでのバンド録音のセッティング①	前授業の復習をしておく
5	5月22日	講義・演習	GCスタジオでのバンド録音のセッティング②	前授業の復習をしておく
6	5月29日	講義・演習	楽器ダビングでProtools オペレーションの練習①	前授業の復習をしておく
7	6月5日	講義・演習	楽器ダビングでProtools オペレーションの練習②	前授業の復習をしておく
8	6月12日	講義・演習	楽器によるマイク変化の実験	前授業の復習をしておく
9	6月19日	講義・演習	バンドレコーディング	前授業の復習をしておく
10	6月26日	講義・演習	バンドレコーディング	前授業の復習をしておく
11	7月3日	講義・演習	EDITとMIX作業①	前授業の復習をしておく
12	7月10日	講義・演習	EDITとMIX作業②	前授業の復習をしておく
13	8月21日	講義・演習	前期復習	前授業の復習をしておく
14	8月28日	講義・演習	実技試験対策	前授業の復習をしておく
15	9月4日	講義・演習	実技テスト	前授業の復習をしておく
準備学習 時間外学習			授業の前は前回の復習をしておく。パソコンを持っている人は家でもProtoolsを使ってみる。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	音響電気知識 Advance(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	澤口哲
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	オーディオエンジニア・レコーディングエンジニア・スタジオ建設アドバイザー						
授業の学習 内容	音と電気信号との間の変換機器を繋ぐ(ケーブル、コネクタ)、音と電気を変換する機器(スピーカ、マイクロホン、ヘッドアンプ)を電気回路の図面と実機を用いた動作で解説し、音響用ケーブルや機器の維持管理、レコーディングスタジオ設備の定期的な維持管理などを実践形式で学ぶ。レコーディングスタジオ使用時における使用前・中・後などで必要とされるトラブル回避方法を学ぶ。						
到達目標	一年時に身につけた音と電気との関係についての基礎知識を、実践に近い形で音響機器の維持管理が出来るようになることを目的とする。またレコーディング時に発生したトラブルに瞬時に対応できる知識と行動力を身につけることを目的とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	スタジオ実習	スタジオを使用するにあたって必要とされる知識	電源入れ・空調などの場所
2	4月28日	講義・演習	温湿度管理・照明設備・電源設備を把握する	設備を理解
3	5月12日	講義・演習	温湿度管理・照明設備・電源設備を把握する	設備を理解
4	5月19日	講義・演習	ケーブル回線等のチェック不具合箇所の修理方法を学ぶ	スタジオ内の回線を把握する
5	5月26日	講義・演習	ケーブル回線等のチェック不具合箇所の修理方法を学ぶ	スタジオ内の回線を把握する
6	6月2日	講義・演習	実技テスト	5週で学んだ内容についての確認
7	6月9日	講義・演習	接触不良への対応を学ぶ	発生しやすい箇所の事前確認
8	6月16日	講義・演習	電源の位相チェック	一年時に学習した電源の位相について
9	6月23日	講義・演習	電源の位相チェック	一年時に学習した電源の位相について
10	6月30日	講義・演習	実技テスト	4週で学んだ内容についての確認
11	7月7日	講義・演習	音響測定方法を学ぶ	i-padアプリ
12	7月14日	講義・演習	音響測定方法を学ぶ	i-padアプリ
13	8月25日	講義・演習	音響調整	レベルメーターの使用法
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通して機材使用を学ぶ	イベントを通して機材管理を学ぶ
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して機材使用を学ぶ	イベントを通して機材管理を学ぶ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
音響調整卓・マルチトラックレコーダー・工具・デジタルテスター・オシロスコープ・ミリボルトメーター・モニタースピーカー・i-PAD				

科目名	音響電気知識 Advance(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	澤口 哲
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	オーディオエンジニア・レコーディングエンジニア・スタジオ建設アドバイザー						
授業の学習 内容	音と電気信号との間の変換機器を繋ぐ(ケーブル、コネクタ)、音と電気を変換する機器(スピーカ、マイクロホン、ヘッドアンプ)を電気回路の図面と実機を用いた動作で解説し、音響用ケーブルや機器の維持管理、レコーディングスタジオ設備の定期的な維持管理などを実践形式で学ぶ。レコーディングスタジオ使用時における使用前・中・後などで必要とされるトラブル回避方法を学ぶ。						
到達目標	一年時に身につけた音と電気との関係についての基礎知識を、実践に近い形で音響機器の維持管理が出来るようになることを目的とする。またレコーディング時に発生したトラブルに瞬時に対応できる知識と行動力を身につけることを目的とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	protocolsのI/Oレベルの調整方法を学ぶ	音響調整について
2	10月13日	講義・演習	ハードウェア機器の調整方法を学ぶ	音響調整について
3	10月20日	講義・演習	ハードウェア機器の調整方法を学ぶ	音響調整について
4	10月27日	講義・演習	ハードウェア機器の調整方法を学ぶ	音響調整について
5	11月3日	講義・演習	ハードウェア機器の調整方法を学ぶ	音響調整について
6	11月17日	講義・演習	ハードウェア機器の調整方法を学ぶ	音響調整について
7	11月24日	講義・演習	6週で学んだ内容についての確認	測定方法・調整方法
8	12月1日	講義・演習	トラブルシューティングと不具合品と箇所を特定する	メンテナンス依頼用報告書
9	12月8日	講義・演習	トラブルシューティングと不具合品と箇所を特定する	メンテナンス依頼用報告書
10	12月15日	講義・演習	不具合品を提出し、修理方法とパーツの手配を実施	メンテナンス依頼用報告書
11	1月12日	講義・演習	修理	必要工具の準備
12	1月19日	講義・演習	修理	必要工具の準備
13	2月2日	講義・演習	修理と動作確認	必要工具の準備
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して機材使用を学ぶ	イベントを通して機材管理を学ぶ
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して機材使用を学ぶ	イベントを通して機材管理を学ぶ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
音響調整卓・マルチトラックレコーダー・工具・デジタルテスター・オシロスコープ・ミリボルトメーター・モニタースピーカー・i-PAD				

科目名	Pro tools Basic(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	藤村崇
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	レコーディングエンジニア、サウンドディレクター、サウンドプロデューサー						
授業の学習 内容	スタジオ内の各種機材を使用しコンピューターを使用した録音作業を実践し学習する						
到達目標	スタジオの機材の理解を深め実践的な録音ができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	GCStudio のシステムと信号の流れを理解する	ミキサーとProToolsの役割を考える
2	4月24日	講義・演習	SSLコンソールのパッチベイを理解する	パッチベイの役割を考える
3	5月8日	講義・演習	バランス接続とトランスを理解する	バランス接続とアンバランス接続の違いを考える
4	5月15日	講義・演習	マイクプリアンプの役割と特徴を理解する	アンプの役割について考える
5	5月22日	講義・演習	ダイナミックマイクの構造と特徴を理解する	ダイナミックマイクの製品を思い出す
6	5月29日	講義・演習	コンデンサーマイクの構造と特徴を理解する	コンデンサーマイクの製品を思い出す
7	6月5日	講義・演習	リボンマイクの構造と特徴を理解する	リボンマイクの製品を調べてみる
8	6月12日	講義・演習	ステレオマイクセッティングを理解する	ステレオマイクセッティングの種類を調べる
9	6月19日	講義・演習	M-Sマトリックスとダミーヘッドを理解する	ダミーヘッドについて調べてみる
10	6月26日	講義・演習	EQの使い方を理解する	EQの種類を調べてみる
11	7月3日	講義・演習	コンプレッサーの使い方を理解する	コンプレッサーの種類を調べてみる
12	7月10日	講義・演習	ディレイとリバーブの効果を学ぶ	ディレイとリバーブについて調べてみる
13	8月21日	講義・演習	ヴォーカルのマイクセッティングを考察する	自分の中で最適と考えられるマイクを調べてみる
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通してシステムを学ぶ	前期授業の復習
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通してシステムを学ぶ	前期授業の復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Pro tools Basic (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	藤村崇
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	レコーディングエンジニア、サウンドディレクター、サウンドプロデューサー						
授業の学習 内容	スタジオ内の各種機材を使用しコンピューターを使用した録音作業を実践し学習する。						
到達目標	スタジオの機材の理解を深め高度な録音ができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	ドラムのマイクセッティングを考察する	ドラムキットの各パーツの名前と発音機構を調べる
2	10月9日	講義・演習	アコギのマイクセッティングを考察する	アコギの発音の指向性を調べる
3	10月16日	講義・演習	ベースのレコーディングを考察する	ベースアンプの必要性を考える
4	10月23日	講義・演習	E.ギターのレコーディングを考察する	E.ギターの音色の種類を考える
5	10月30日	講義・演習	DI とリアンプ を理解する	リアンプの意味を考える
6	11月6日	講義・演習	ピアノのマイクセッティングを考察する	ピアノの発音機構を調べる
7	11月13日	講義・演習	ProTools のデジタル接続とクロックを理解する	サンプルレートとワードクロックの意味を調べる
8	11月20日	講義・演習	デジタルとアナログの接続ケーブルを考察する	接続ケーブルの種類を調べる
9	11月27日	講義・演習	実音とデジタルのレーテンシーを考察する。	レーテンシーの意味を調べる
10	12月4日	講義・演習	マルチコンプレッサーを理解する	マルチコンプレッサーの必要性を考える
11	12月11日	講義・演習	マスタリングについて学ぶ	マスタリングで出来る事を調べる
12	12月18日	講義・演習	アナログレコーダーを理解する	アナログレコーダーの情報を得る
13	1月15日	講義・演習	PCM録音と1Bit録音について理解する。	1Bit録音とは何か調べる
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して実践力を学ぶ	後期授業の復習
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して実践力を学ぶ	後期授業の復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Digital Recording(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	勝守理
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	30年間にわたり作編曲家、プロデューサー等に従事						
授業の学習 内容	1コマの座学に引き続き座学の内容に基づいた1コマの実習を行う。デジタル録音の仕組みからスペックの見方など、すぐ実際に役に立つ知識。現在音楽業界でスタンダードに行われているプロフェッショナルレベルの作業の実習。						
到達目標	プロの作曲家、編曲家、エンジニア、アーティストとして最低限知っておかなければいけないデジタルの知識、録音、編集等のスキルなどを身につける						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	デジタルレコーディングとは？	身の回りのデジタル録音
2	4月28日	講義・演習	サンプリング周波数ビット数とエイリアスと倍音	自分の機材を知る
3	5月12日	講義・演習	各種フォーマット、S/PDIF、AES/EBU、コアキシャル、オプティカル、圧縮フォーマット	保存、接続、読み取り、書き出し
4	5月19日	講義・演習	だまされずにカタログを読む、特、ダイナミックレンジ、THD+N、ワードクロックの問題	カタログを読み解く
5	5月26日	講義・演習	MacとWin、ノートとデスクトップ、ハードウェア構成の問題、	最適な構成を考える
6	6月2日	講義・演習	他のシステムとの連携、互換、OMF、AAF、SMF	データ互換
7	6月9日	講義・演習	MIXの基本、リズムの修正、スライス、エラスティック	反復練習
8	6月16日	講義・演習	エフェクト処理の基本、オートメーション、編集作業	反復練習
9	6月23日	講義・演習	ステムミックス、パラレルミックス	反復練習
10	6月30日	講義・演習	ピッチ修正(オートチューン、オートモード)	反復練習
11	7月7日	講義・演習	ピッチ修正(オートチューン、グラフィックモード1)	反復練習
12	7月14日	講義・演習	ピッチ修正(オートチューン、グラフィックモード2、その他の	試験対策まとめ
13	8月25日	講義・演習	前期まとめ、前期試験	完全解答作成
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通してレコーディングスキルを学ぶ	レコーディング機材の確認
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してレコーディングスキルを学ぶ	レコーディング機材の確認
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Digital Recording(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	勝守理
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	30年間にわたり作編曲家、プロデューサー等に従事						
授業の学習 内容	1コマの座学に引き続き座学の内容に基づいた1コマの実習を行う。デジタル録音の仕組みからスペックの見方など、すぐ実際に役に立つ知識。現在音楽業界でスタンダードに行われているプロフェッショナルレベルの作業の実習。						
到達目標	プロの作曲家、編曲家、エンジニア、アーティストとして最低限知っておかなければいけないデジタルの知識、録音、編集等のスキルなどを身につける						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	ボーカル録音1、レイテンシー、リフレクションフィルター	間違い探し1
2	10月13日	講義・演習	ボーカル録音2、インプットミキサー、チャンネルストリップ	間違い探し2
3	10月20日	講義・演習	アコースティックギター録音、バミリ、ディレクション	間違い探し3
4	10月27日	講義・演習	エレキギター録音1、ユニゾンテクノロジー、プラグイン処理	反復練習
5	11月3日	講義・演習	エレキギター録音2、スピーカーシミュレーター、多くの方法の比較、歪み系エフェクター	反復練習
6	11月17日	講義・演習	アナログ感と歪み1、歪みとレコーディングと音楽発展の歴史	反復練習
7	11月24日	講義・演習	アナログ感と歪み2、プラグイン処理、リアンプ	反復練習
8	12月1日	講義・演習	マスタリング1、DAWプラグイン、AI処理	反復練習
9	12月8日	講義・演習	マスタリング2、WaveLab、ISRC、JAN	反復練習
10	12月15日	講義・演習	ノイズ対策、アナログ部分、デジタル部分、ノイズ除去、	反復練習
11	1月12日	講義・演習	総合実習1(色)	表現力考察
12	1月19日	講義・演習	総合実習2(国)	試験対策まとめ
13	2月2日	講義・演習	後期まとめ、後期試験	完全解答作成
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してレコーディングスキルを学ぶ	レコーディング機材の確認
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してレコーディングスキルを学ぶ	レコーディング機材の確認
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Manipulate(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	野崎貴潤
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	シンセサイザープログラマーとして活動						
授業の学習 内容	近代の音楽制作,特に作編曲に於ける「音色」の重要性を鑑み,シンセサイザー・サンプラー・エフェクター等の電子楽器全般の音色制作の基礎を身につける.授業履修終了時には,思い描いた音色を自分で表現出来る様に知識・経験を身につけたい.						
到達目標	電子楽器全般とエフェクターのパラメータとその役割を学習し,リファレンスの音,イマジネーションの中の音を表現出来る具体的な手法を身につける.						
評価方法と基準	筆記又は,実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	シンセサイザーとは何か?の概要を理解する	リファレンスになる音を収集する
2	4月24日	講義・演習	オシレータの波形の種類と特徴を理解する	リファレンスになる音を収集する
3	5月8日	講義・演習	Lo Pass Filterの特徴と使い方を実践する	リファレンスになる音を収集する
4	5月15日	講義・演習	Envelope Generatorのパラメータを実践する	リファレンスになる音を収集する
5	5月22日	講義・演習	音色(倍音)の時間的変化を付けられる様にする	リファレンスになる音を収集する
6	5月29日	講義・演習	音高の時間的変化を付けられる様にする	リファレンスになる音を収集する
7	6月5日	講義・演習	音高の周期的変化を付けられる様にする	リファレンスになる音を収集する
8	6月12日	講義・演習	音色の周期的変化を付けられる様にする	リファレンスになる音を収集する
9	6月19日	講義・演習	音量の周期的変化を付けられる様にする	リファレンスになる音を収集する
10	6月26日	講義・演習	Detune効果を使った厚みのある音作りを実践する	リファレンスになる音を収集する
11	7月3日	講義・演習	音程感の無い音の音作りを実践する	リファレンスになる音を収集する
12	7月10日	講義・演習	単音楽器ならではの表現が出来る様になる	リファレンスになる音を収集する
13	8月21日	講義・演習	PWMとサブオシレータを使いこなせる様になる	リファレンスになる音を収集する
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して音色制作を学ぶ	実践する楽曲に作成した音色を当てはめる
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して音色制作を学ぶ	実践する楽曲に作成した音色を当てはめる
準備学習 時間外学習			参考になる音色を探し出してリファレンスとし,実践で作成する準備をする	
【使用教科書・教材・参考書】				
シンセサイザーテクニック99				

科目名	Manipulate(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	野崎貴潤
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	シンセサイザープログラマーとして活動						
授業の学習 内容	近代の音楽制作,特に作編曲に於ける「音色」の重要性を鑑み,シンセサイザー・サンプラー・エフェクター等の電子楽器全般の音色制作の基礎を身につける.授業履修終了時には,思い描いた音色を自分で表現出来る様に知識・経験を身につけたい.						
到達目標	電子楽器全般とエフェクターのパラメータとその役割を学習し,リファレンスの音,イマジネーションの中の音を表現出来る具体的な手法を身につける.						
評価方法と基準	筆記又は,実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	SuperSawの作り方と実践を学ぶ	リファレンスになる音を収集する
2	10月9日	講義・演習	HPF&BPFの仕組みと実践が出来る	リファレンスになる音を収集する
3	10月16日	講義・演習	Oscillator Syncの仕組みと実践が出来る	リファレンスになる音を収集する
4	10月23日	講義・演習	Ring Modulationの仕組みと実践が出来る	リファレンスになる音を収集する
5	10月30日	講義・演習	Matrixによるフレーズ作成が出来る	リファレンスになる音を収集する
6	11月6日	講義・演習	リアルタイム・コントロールが出来る	リファレンスになる音を収集する
7	11月13日	講義・演習	Vocoderの仕組みと実践が出来る	リファレンスになる音を収集する
8	11月20日	講義・演習	Samplerの概念を知り基本的な使い方が出来る	リファレンスになる音を収集する
9	11月27日	講義・演習	エフェクターの概要を知り,基本的な効果を掛けられる	リファレンスになる音を収集する
10	12月4日	講義・演習	Delayの基本操作がいき,応用的な使い方が出来る	リファレンスになる音を収集する
11	12月11日	講義・演習	ダブリング系の効果を実践出来る	リファレンスになる音を収集する
12	12月18日	講義・演習	Delayを利用したフレーズ作成が出来る	リファレンスになる音を収集する
13	1月15日	講義・演習	Compressorの基本的な使い方が出来る	リファレンスになる音を収集する
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して音色制作を学ぶ	実践する楽曲に作成した音色を当てはめる
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して音色制作を学ぶ	実践する楽曲に作成した音色を当てはめる
準備学習 時間外学習			参考になる音色を探し出してリファレンスとし,実践で作成する準備をする	
【使用教科書・教材・参考書】				
シンセサイザーテクニック99				

科目名	作編曲法Basic(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	野崎貴潤
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	作編曲家として活動						
授業の学習 内容	作曲初学者から作曲中級者を対象に、メロディを生かすより効果的で複雑な和音を、複数の選択肢から選び実践出来る様にする。 時代に沿った効果的な転調と和音進行、それらの有機的な連結を出来る様になり、単純なメロディ作成だけではなく、転調やより複雑な和音進行前提のメロディ・対旋律を作れる様にする。 既存曲のアナライズをする事で、実践的なセオリーの使用法を学ぶ						
到達目標	部分転調・代理和音を効果的に使える様になる 本格転調をする引き出しを増やし、より多彩な作曲が行える様になる 一つのメロディにつける和音の引き出しを増やし、メロディの表情を和音でコントロール出来る様になる ベースラインも含めた、メロディに対する効果的な対旋律を作れる様になる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	あらためて調とは何か?を知る・アベイラブルノートスケールの意味・ミクソリディアンの意味とドミナントモーション	課題を次週の演習時間までに仕上げ、更に疑問点をリストアップ
2	4月24日	講義・演習	IIIm7-V7-IIIm7-5・ツーファイブモーション	課題を次週の演習時間までに仕上げ、更に疑問点をリストアップ
3	5月8日	講義・演習	セカンダリドミナント①・近親調とは何か?・属和音へのセカンダリドミナントIメジャーキーII7	課題を次週の演習時間までに仕上げ、更に疑問点をリストアップ
4	5月15日	講義・演習	セカンダリドミナント②・メジャー・マイナーでの下属和音へのセカンダリドミナントI7・ミクソリディアン b 6th	課題を次週の演習時間までに仕上げ、更に疑問点をリストアップ
5	5月22日	講義・演習	セカンダリドミナント③・平行調との行き来・IメジャーキーIII7・Hmp5	課題を次週の演習時間までに仕上げ、更に疑問点をリストアップ
6	5月29日	講義・演習	セカンダリドミナント④・メジャーキーVII7・マイナーキーI7	課題を次週の演習時間までに仕上げ、更に疑問点をリストアップ
7	6月5日	講義・演習	セカンダリドミナント⑤・メジャーキーVII7・マイナーキーII7	課題を次週の演習時間までに仕上げ、更に疑問点をリストアップ
8	6月12日	講義・演習	ベースライン・対旋律の作成・対位法の基礎	課題を次週の演習時間までに仕上げ、更に疑問点をリストアップ
9	6月19日	講義・演習	クリシェ・パラレルモーション・転回形を利用した和声の滑らかな動きの実践	課題を次週の演習時間までに仕上げ、更に疑問点をリストアップ
10	6月26日	講義・演習	モーダルインターチェンジ①・同主調との行き来・サブドミナントマイナーIVm・ハーモニックメジャー・リディアン b 3	課題を次週の演習時間までに仕上げ、更に疑問点をリストアップ
11	7月3日	講義・演習	モーダルインターチェンジ②・ b VII7・ b VIIΔ7	課題を次週の演習時間までに仕上げ、更に疑問点をリストアップ
12	7月10日	講義・演習	モーダルインターチェンジ③・ b VIΔ7・リディアン	課題を次週の演習時間までに仕上げ、更に疑問点をリストアップ
13	8月21日	講義・演習	モーダルインターチェンジ④・ b IIIΔ7・IIIm7-5	課題を次週の演習時間までに仕上げ、更に疑問点をリストアップ
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	課題を次週の演習時間までに仕上げ、更に疑問点をリストアップ
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	課題を次週の演習時間までに仕上げ、更に疑問点をリストアップ
準備学習 時間外学習			課題の仕上げ・疑問点のリストアップ	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	作編曲法Basic(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	野崎貴潤
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	作編曲家として活動						
授業の学習 内容	作曲初学者から作曲中級者を対象に、メロディを生かすより効果的で複雑な和音を、複数の選択肢から選び実践出来る様にする。 時代に沿った効果的な転調と和音進行、それらの有機的な連結を出来る様になり、単純なメロディ作成だけではなく、転調やより複雑な和音進行前提のメロディ・対旋律を作れる様にする。 既存曲のアナライズをする事で、実践的なセオリーの使用法を学ぶ						
到達目標	部分転調・代理和音を効果的に使える様になる 本格転調をする引き出しを増やし、より多彩な作曲が行える様になる 一つのメロディにつける和音の引き出しを増やし、メロディの表情を和音でコントロール出来る様になる ベースラインも含めた、メロディに対する効果的な対旋律を作れる様になる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	モード的作曲・ドリアン、リディアンによるモーダルな作品を作る	リファレンスになる音を収集する
2	10月9日	講義・演習	ドミナントのバリエーション①・オーギュメント7th・オルタードスケール	リファレンスになる音を収集する
3	10月16日	講義・演習	ドミナントのバリエーション②・パッシングディミニッシュ・ロクリアン♭♭・オルタード♭♭	リファレンスになる音を収集する
4	10月23日	講義・演習	ドミナントのバリエーション③・トライトーンサブスティテューション・♭II7・リディアン♭7th	リファレンスになる音を収集する
5	10月30日	講義・演習	テンション①・ドミナントにおいてのナチュラルテンションとオルタードテンション・♭9th・#9thの特徴と使い方・スバニッシュ・8thノート	リファレンスになる音を収集する
6	11月6日	講義・演習	テンション②・各ファンクションでのテンションリゾルブと、そのメロディやベースライン、対旋律への応用	リファレンスになる音を収集する
7	11月13日	講義・演習	テンション③・トライトーンサブスティテューションでのテンションの使用・#11♭13	リファレンスになる音を収集する
8	11月20日	講義・演習	セカンダリドミナントでのトライトーンサブスティテューション・IIIm7-♭II7-型・♭V#11とホールトーンスケール	リファレンスになる音を収集する
9	11月27日	講義・演習	本格転調①・近親調への転調と復帰・ドミナントモーションを利用した転調	リファレンスになる音を収集する
10	12月4日	講義・演習	本格転調②・近親調の近親調への転調と復帰・ピボットコードを利用した転調	リファレンスになる音を収集する
11	12月11日	講義・演習	本格転調③・遠隔調への転調・ピボットノートを利用したより幅広い転調・短2度転調	リファレンスになる音を収集する
12	12月18日	講義・演習	本格転調④・中心軸システムと短3度転調・転調、代理和音のより論理的なメカニズム	リファレンスになる音を収集する
13	1月15日	講義・演習	平行和音と倍音・和音と音色の関係・平行進行を利用した近代的な作曲アプローチ	リファレンスになる音を収集する
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	実践する楽曲に作成した音色を当てはめる
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	実践する楽曲に作成した音色を当てはめる
準備学習 時間外学習			課題の仕上げ・疑問点のリストアップ	
【使用教科書・教材・参考書】				
無し				

科目名	Marketing(3) Marketing I A(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	黒須亮成
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	世界No.1マーケッターのジェイ・エイブラハム氏の講座を学びながら、タレント、ミュージシャン、アーティスト、音楽作家、ヘアメイク、衣装デザイナーなどのマネージメントを手がける。その他、音楽制作ディレクター、イベント運営などを手がけています。						
授業の学習 内容	①目まぐるしく変化し続けている社会のスピードに付いていくには、ひとつひとつ、すべての分野を極めていく時間はありません。ひとりで1つの分野を極めるのではなく、その分野に特化した能力を持つ人に協力をあおぎ、そのチームをマネジメントし、チームで新しい価値を創造し、それをマーケティングによって必要なところに必要なだけ届けていく必要があります。 ②マーケティングはすべての科目に大きく関係します。その科目のスキルをビジネスに展開し、継続的にお客様のニーズを満たすことができます。 ③マネジメントやマーケティングを学ぶことで、エンタメ業界に限らず、どの業界でも通用する原理原則があることを勉強します。世の中で起こっているさまざまな戦略の基本が理解できるようになり、自分がイメージしたアイデアを具現化でき、自己表現ができるようになります。具体的には、講義形式(座学)とグループワーク(演習)を中心に構成します。グループワークでは、エンタメ業界や日常生活にあるマーケティングを見つけ、みんなで考えをシェアし、どういう仕組みになっているか紐解いていきます。またマネジメントに必要なコミュニケーションの勉強・体験もしていきます。学ぶというのも大切になら、卒業後に即戦力となるように在学中から「実際にやってみる」ということに慣れるため、実践の場もあります。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ■シミュレーション体験によって、今まで知らない職種や視点を理解し、業界の全体像がわかるようになる。 ■コミュニケーションの大切さを理解できる。 ■身近にあるマーケティングの仕組みが理解できるようになる。 ■エンターテインメント業界に限らず、一般企業のビジネスマナーも含めたビジネスの全体像が理解できるようになる。 ■タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場が理解できるようになる。 ■ゼロから1を作る仕組みを理解できるようになる。 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してA&Rを学ぶ	レポートの提出
2	4月24日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してA&Rを学ぶ	レポートの提出
3	5月8日	講義・演習	マーケティングの基本を理解し、なぜ重要なのかを知る	授業後のレポート課題
4	5月15日	講義・演習	プレゼンを学び、自分のプロフィール作成に着手し、自己表現できるようになる	授業後のレポート課題
5	5月22日	講義・演習	エンタメビジネスの全体像を理解できる	授業後のレポート課題
6	5月29日	講義・演習	ビジョンボード、やりたいことリスト100を作成し、目標を明確化できるようになる	授業後のレポート課題
7	6月5日	講義・演習	独自のウリ(USP)を学び、自分や商品のストロングポイントを理解できるようになる	授業後のレポート課題
8	6月12日	講義・演習	リスクリバーサルを学び、相手の立場にたった提案ができる	授業後のレポート課題
9	6月19日	講義・演習	ジョイントベンチャーを学び、業務提携という仕組みを理解する	授業後のレポート課題
10	6月26日	講義・演習	テレマーケティングを学び、どの業界でも通用するスキルを身につける	授業後のレポート課題
11	7月3日	講義・演習	SNSを使ったマーケティングを学び、仕組みを理解できるようになる	授業後のレポート課題
12	7月10日	講義・演習	テストマーケティングを学び、実践するための判断やシミュレーションができるようになる	授業後のレポート課題
13	8月21日	講義・演習	顧客の種類について学び、世の中のニーズを把握することができる	授業後のレポート課題
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Marketing(3) Marketing I B(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	黒須亮成
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	世界No.1マーケッターのジェイ・エイブラハム氏の講座を学びながら、タレント、ミュージシャン、アーティスト、音楽作家、ヘアメイク、衣装デザイナーなどのマネージメントを手がける。その他、音楽制作ディレクター、イベント運営などを手がけています。						
授業の学習 内容	①目まぐるしく変化し続けている社会のスピードに付いていくには、ひとつひとつ、すべての分野を極めていく時間はありません。ひとりで1つの分野を極めるのではなく、その分野に特化した能力を持つ人に協力をあおぎ、そのチームをマネジメントし、チームで新しい価値を創造し、それをマーケティングによって必要なところに必要なだけ届けていく必要があります。 ②マーケティングはすべての科目に大きく関係します。その科目のスキルをビジネスに展開し、継続的にお客様のニーズを満たすことができます。 ③マネジメントやマーケティングを学ぶことで、エンタメ業界に限らず、どの業界でも通用する原理原則があることを勉強します。世の中で起こっているさまざまな戦略の基本が理解できるようになり、自分がイメージしたアイデアを具現化でき、自己表現ができるようになります。具体的には、講義形式(座学)とグループワーク(演習)を中心に構成します。グループワークでは、エンタメ業界や日常生活にあるマーケティングを見つけ、みんなで考えをシェアし、どういう仕組みになっているか紐解いていきます。またマネジメントに必要なコミュニケーションの勉強・体験もしていきます。学ぶというのも大切になら、卒業後に即戦力となるように在学中から「実際にやってみる」ということに慣れるため、実践の場もあります。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ■シミュレーション体験によって、今まで知らない職種や視点を理解し、業界の全体像がわかるようになる。 ■コミュニケーションの大切さを理解できる。 ■身近にあるマーケティングの仕組みが理解できるようになる。 ■エンターテインメント業界に限らず、一般企業のビジネスマナーも含めたビジネスの全体像が理解できるようになる。 ■タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場が理解できるようになる。 ■ゼロから1を作る仕組みを理解できるようになる。 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してA&Rを学ぶ	レポートの提出
2	4月24日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してA&Rを学ぶ	レポートの提出
3	5月8日	講義・演習	マーケティングの基本を理解し、なぜ重要なのかを知る	授業後のレポート課題
4	5月15日	講義・演習	プレゼンを学び、自分のプロフィール作成に着手し、自己表現できるようになる	授業後のレポート課題
5	5月22日	講義・演習	エンタメビジネスの全体像を理解できる	授業後のレポート課題
6	5月29日	講義・演習	ビジョンボード、やりたいことリスト100を作成し、目標を明確化できるようになる	授業後のレポート課題
7	6月5日	講義・演習	独自のウリ(USP)を学び、自分や商品のストロングポイントを理解できるようになる	授業後のレポート課題
8	6月12日	講義・演習	リスクリバーサルを学び、相手の立場にたった提案ができる	授業後のレポート課題
9	6月19日	講義・演習	ジョイントベンチャーを学び、業務提携という仕組みを理解する	授業後のレポート課題
10	6月26日	講義・演習	テレマーケティングを学び、どの業界でも通用するスキルを身につける	授業後のレポート課題
11	7月3日	講義・演習	SNSを使ったマーケティングを学び、仕組みを理解できるようになる	授業後のレポート課題
12	7月10日	講義・演習	テストマーケティングを学び、実践するための判断やシミュレーションができるようになる	授業後のレポート課題
13	8月21日	講義・演習	顧客の種類について学び、世の中のニーズを把握することができる	授業後のレポート課題
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Marketing(4) Marketing I A(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	黒須亮成
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	世界No.1マーケッターのジェイ・エイブラハム氏の講座を学びながら、タレント、ミュージシャン、アーティスト、音楽作家、ヘアメイク、衣装デザイナーなどのマネージメントを手がける。その他、音楽制作ディレクター、イベント運営						
授業の学習 内容	①目まぐるしく変化し続けている社会のスピードに付いていくには、ひとつひとつ、すべての分野を極めていく時間はありません。ひとりで1つの分野を極めるのではなく、その分野に特化した能力を持つ人に協力をあおぎ、そのチームをマネジメントし、チームで新しい価値を創造し、それをマーケティングによって必要なところに必要なだけ届けていく必要があります。 ②マーケティングはすべての科目に大きく関係します。その科目のスキルをビジネスに展開し、継続的にお客様のニーズを満たすことができます。 ③マネジメントやマーケティングを学ぶことで、エンタメ業界に限らず、どの業界でも通用する原理原則があることを勉強します。世の中で起こっているさまざまな戦略の基本が理解できるようになり、自分がイメージしたアイデアを具現化でき、自己表現ができるようになります。具体的には、講義形式(座学)とグループワーク(演習)を中心に構成します。グループワークでは、エンタメ業界や日常生活にあるマーケティングを見つけ、みんなで考えをシェアし、どういう仕組みになっているか紐解いていきます。またマネジメントに必要なコミュニケーションの勉強・体験もしていきます。学ぶというのも大切にしながら、卒業後に即戦力となるように在学中から「実際にやってみる」ということに慣れるため、実践の場もあります。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ■シミュレーション体験によって、今まで知らない職種や視点を理解し、業界の全体像がわかるようになる。 ■コミュニケーションの大切さを理解できる。 ■身近にあるマーケティングの仕組みが理解できるようになる。 ■エンターテインメント業界に限らず、一般企業のビジネスマナーも含めたビジネスの全体像が理解できるようになる。 ■タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場が理解できるようになる。 ■ゼロから1を作る仕組みを理解できるようになる。 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してA&RHを学ぶ	レポートの提出
2	10月9日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してA&Rを学ぶ	レポートの提出
3	10月16日	講義・演習	前期テストの復習と解説	授業後のレポート課題
4	10月23日	講義・演習	メディアについて学び、より大きいマーケティングを理解する	授業後のレポート課題
5	10月30日	講義・演習	youtubeを使ったマーケティングを学び、流行りを理解する	授業後のレポート課題
6	11月6日	講義・演習	コピーライティングを学び、顧客目線を理解する	授業後のレポート課題
7	11月13日	講義・演習	キャンペーンについて学び、顧客心理を理解する	授業後のレポート課題
8	11月20日	講義・演習	紹介マーケティングを学び、実践できるようになる	授業後のレポート課題
9	11月27日	講義・演習	ジョイントベンチャーを使った仕組み作りを紙上で行い、実践に向けてトレーニングする	授業後のレポート課題
10	12月4日	講義・演習	音楽イベントのマーケティングについて学び、仕組みを理解できるようになる	授業後のレポート課題
11	12月11日	講義・演習	音楽アーティストのマーケティングについて学び、仕組みを理解する	授業後のレポート課題
12	12月18日	講義・演習	俳優・タレントのマーケティングについて学び、仕組みを理解する	授業後のレポート課題
13	1月15日	講義・演習	アイドルのマーケティングについて学び、仕組みを理解する	授業後のレポート課題
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Marketing(4) Marketing I B(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	黒須亮成
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	世界No.1マーケッターのジェイ・エイブラハム氏の講座を学びながら、タレント、ミュージシャン、アーティスト、音楽作家、ヘアメイク、衣装デザイナーなどのマネージメントを手がける。その他、音楽制作ディレクター、イベント運営						
授業の学習 内容	①目まぐるしく変化し続けている社会のスピードに付いていくには、ひとつひとつ、すべての分野を極めていく時間はありません。ひとりで1つの分野を極めるのではなく、その分野に特化した能力を持つ人に協力をあおぎ、そのチームをマネジメントし、チームで新しい価値を創造し、それをマーケティングによって必要なところに必要なだけ届けていく必要があります。 ②マーケティングはすべての科目に大きく関係します。その科目のスキルをビジネスに展開し、継続的にお客様のニーズを満たすことができます。 ③マネジメントやマーケティングを学ぶことで、エンタメ業界に限らず、どの業界でも通用する原理原則があることを勉強します。世の中で起こっているさまざまな戦略の基本が理解できるようになり、自分がイメージしたアイデアを具現化でき、自己表現ができるようになります。具体的には、講義形式(座学)とグループワーク(演習)を中心に構成します。グループワークでは、エンタメ業界や日常生活にあるマーケティングを見つけ、みんなで考えをシェアし、どういう仕組みになっているか紐解いていきます。またマネジメントに必要なコミュニケーションの勉強・体験もしていきます。学ぶというのも大切になら、卒業後に即戦力となるように在学中から「実際にやってみる」ということに慣れるため、実践の場もあります。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ■シミュレーション体験によって、今まで知らない職種や視点を理解し、業界の全体像がわかるようになる。 ■コミュニケーションの大切さを理解できる。 ■身近にあるマーケティングの仕組みが理解できるようになる。 ■エンターテインメント業界に限らず、一般企業のビジネスマナーも含めたビジネスの全体像が理解できるようになる。 ■タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場が理解できるようになる。 ■ゼロから1を作る仕組みを理解できるようになる。 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してA&RHを学ぶ	レポートの提出
2	10月9日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してA&Rを学ぶ	レポートの提出
3	10月16日	講義・演習	前期テストの復習と解説	授業後のレポート課題
4	10月23日	講義・演習	メディアについて学び、より大きいマーケティングを理解する	授業後のレポート課題
5	10月30日	講義・演習	youtubeを使ったマーケティングを学び、流行りを理解する	授業後のレポート課題
6	11月6日	講義・演習	コピーライティングを学び、顧客目線を理解する	授業後のレポート課題
7	11月13日	講義・演習	キャンペーンについて学び、顧客心理を理解する	授業後のレポート課題
8	11月20日	講義・演習	紹介マーケティングを学び、実践できるようになる	授業後のレポート課題
9	11月27日	講義・演習	ジョイントベンチャーを使った仕組み作りを紙上で行い、実践に向けてトレーニングする	授業後のレポート課題
10	12月4日	講義・演習	音楽イベントのマーケティングについて学び、仕組みを理解できるようになる	授業後のレポート課題
11	12月11日	講義・演習	音楽アーティストのマーケティングについて学び、仕組みを理解する	授業後のレポート課題
12	12月18日	講義・演習	俳優・タレントのマーケティングについて学び、仕組みを理解する	授業後のレポート課題
13	1月15日	講義・演習	アイドルのマーケティングについて学び、仕組みを理解する	授業後のレポート課題
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Digital Compose(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	森谷諭
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	日本人初のAbleton認定トレーナーとして、音楽雑誌への寄稿や現役プロへの指導、専門学校講師を務める						
授業の学習 内容	海外でも通用するプロデューサーとしての力を身につけるため、海外で広く使用されているAbleton LiveおよびPushの操作方法を学び、作曲能力や楽曲のアレンジ力を養う。また、様々なレコーディング方法の習得を通して、柔軟なトラックメイク能力を養い、セルフプロデュース力を向上させる。						
到達目標	Ableton Live及びPushの基本的な操作ができる。 AudioとMIDIを駆使したトラックメイクができる。 インターネット上に自分の楽曲のアップロードができる。 楽曲アレンジの幅を広げる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月22日	講義・演習	オリエンテーション	授業内で配布したワークシートの確認
2	4月29日	講義・演習	ミキシングについて	授業内で配布したワークシートの確認
3	5月13日	講義・演習	ミキシングについて	授業内で配布したワークシートの確認
4	5月20日	講義・演習	ライブパフォーマンスについて	授業内で配布したワークシートの確認
5	5月27日	講義・演習	ライブパフォーマンスについて	授業内で配布したワークシートの確認
6	6月3日	講義・演習	ライブパフォーマンスについて	授業内で配布したワークシートの確認
7	6月10日	講義・演習	ライブパフォーマンスについて	授業内で配布したワークシートの確認
8	6月17日	講義・演習	ライブパフォーマンスについて	授業内で配布したワークシートの確認
9	6月24日	講義・演習	シンセサイザーについて	授業内で配布したワークシートの確認
10	7月1日	講義・演習	シンセサイザーについて	授業内で配布したワークシートの確認
11	7月8日	講義・演習	シンセサイザーについて	授業内で配布したワークシートの確認
12	7月15日	講義・演習	マスタリングについて	授業内で配布したワークシートの確認
13	8月26日	講義・演習	定期試験	授業内で配布したワークシートの確認
14	9月2日	講義・演習	イベントを通して楽曲を制作を学ぶ	楽曲制作
15	9月9日	講義・演習	イベントを通して楽曲を制作を学ぶ	楽曲制作
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Digital Compose(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	森谷諭
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	日本人初のAbleton認定トレーナーとして、音楽雑誌への寄稿や現役プロへの指導、専門学校講師を務める						
授業の学習 内容	海外でも通用するプロデューサーとしての力を身につけるため、海外で広く使用されているAbleton LiveおよびPushの操作方法を学び、作曲能力や楽曲のアレンジ力を養う。また、様々なレコーディング方法の習得を通して、柔軟なトラックメイク能力を養い、セルフプロデュース力を向上させる。						
到達目標	Ableton Live及びPushの基本的な操作ができる。 AudioとMIDIを駆使したトラックメイクができる。 インターネット上に自分の楽曲のアップロードができる。 楽曲アレンジの幅を広げる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	楽曲のアレンジについて	授業内で配布したワークシートの確認
2	10月14日	講義・演習	楽曲のアレンジについて	授業内で配布したワークシートの確認
3	10月21日	講義・演習	フィールドレコーディングについて	授業内で配布したワークシートの確認
4	10月28日	講義・演習	フィールドレコーディングについて	授業内で配布したワークシートの確認
5	11月4日	講義・演習	楽曲のRemixについて	授業内で配布したワークシートの確認
6	11月18日	講義・演習	楽曲のRemixについて	授業内で配布したワークシートの確認
7	11月25日	講義・演習	楽曲のRemixについて	授業内で配布したワークシートの確認
8	12月2日	講義・演習	楽曲のRemixについて	授業内で配布したワークシートの確認
9	12月9日	講義・演習	楽曲のRemixについて	授業内で配布したワークシートの確認
10	12月16日	講義・演習	楽曲のアレンジについて	授業内で配布したワークシートの確認
11	1月13日	講義・演習	楽曲のアレンジについて	授業内で配布したワークシートの確認
12	1月20日	講義・演習	1年間の総復習	授業内で配布したワークシートの確認
13	2月3日	講義・演習	定期試験	授業内で配布したワークシートの確認
14	2月10日	講義・演習	イベントを通して楽曲を制作を学ぶ	楽曲制作
15	2月17日	講義・演習	イベントを通して楽曲を制作を学ぶ	楽曲制作
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	AT-Contents(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	大場学
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	フリーにて映像ディレクション他(Rin音、クボタカイ他)等の活動を行う						
授業の学習 内容	現在インターネットでプロモーション展開する上で、動画の活用は必須となっている。 PV、MV、ライブ映像(記録映像)など音楽に限らずその活用シーンは多岐に及ぶ。 動画コンテンツの発信は最重要テーマの一つであり、常に映像や写真を記録する習慣を身につけ授業の制作に生かしていた きたい。前期は主に機材面を中心に、実際のシーンで多用される編集テクニックを習得していく。						
到達目標	より人の心に響く映像を作るための編集方法や映像理論、機材の基本を学ぶ。 特にカメラ機材の扱い方や設定をしっかりと把握し、狙った通りのショットを撮影できるようになること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月22日	講義・演習	オリエンテーション。1年を通して何を習得できるかを把握 できる。	ワークシート
2	4月29日	講義・演習	カメラ、機材についての基本を学ぶ。動画形式/fps/解像 度について述べる事ができる。	自分が好きな映画やMVなどを鑑賞しておくこと
3	5月13日	講義・演習	カメラ、機材についての基本を学ぶ。絞り/SS/ISO感度 /WBIについて述べる事ができる。	ワークシート
4	5月20日	講義・演習	スチル/動画それぞれ最適な機材設定を考察する。設定 を理解し、実践することができる。	ワークシート
5	5月27日	講義・演習	パン、チルトなどの基本的なカメラワークと構図について 学び、それらの説明ができる。	ワークシート
6	6月3日	講義・演習	キーフレーム、エフェクトコントロールを学び、実践できる。	ワークシート
7	6月10日	講義・演習	映像理論の基礎(各画角、構図による心理的影響)を理解 できる。	ワークシート
8	6月17日	講義・演習	映像理論の基礎(イマジナリーライン、モニタージュ論)を 理解できる。	ワークシート
9	6月24日	講義・演習	ストーリーボードの重要性を理解でき、作成方法を習得で きる。	ワークシート
10	7月1日	講義・演習	実際の映画、ドラマのシーンを鑑賞の上、手法を分析する ことができる。	ワークシート
11	7月8日	講義・演習	分析したシーンをリファレンスとし、機材の設定などに留 意し、より洗練された映像を撮影することができる。	ワークシート
12	7月15日	講義・演習	分析したシーンをリファレンスとし、機材の設定などに留 意し、より洗練された映像を撮影することができる。	ワークシート
13	8月26日	講義・演習	機材、理論に関するテストの実施	筆記テストの実施
14	9月2日	講義・演習	イベント実践を通して制作者の意図が伝わりやすい撮影 方法を学ぶ	前期の復習
15	9月9日	講義・演習	イベント実践を通して制作者の意図が伝わりやすい撮影 方法を学ぶ	前期の復習
準備学習 時間外学習		普段からスマホでもいいので写真や動画を「画角や構図、設定などを意識しながら」撮影してほしい		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	AT-Web Develop(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	大場学
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	インターネット広告代理店にてモバイルサイト構築、芸能事務所にて特設サイト構築他						
授業の学習 内容	前期で学んだプログラミングの知識を活用し、より実践的な機能を実装していく。自身のアーティストサイトを構築する際に必須となる知識である。トグルメニューやパララックス効果を用いたスクロール機能など、実践的な内容が含まれるので、難しく感じると思うが前期の基礎をしっかりと復習しながら進めてほしい。						
到達目標	自身のサイトに必要な機能、デザインを自ら考え、構築できるスキルを身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	JavaScriptのfor文を理解できる。	ワークシート
2	10月14日	講義・演習	forを用いた簡単なプログラミングを自分で考え、制作できる。	ワークシート
3	10月21日	講義・演習	JavaScriptのfunction(関数)を理解できる。	ワークシート
4	10月28日	講義・演習	functionを用いた簡単なプログラミングを自分で考え、制作できる。	ワークシート
5	11月4日	講義・演習	JavaScriptで1からプログラミング機能を設計、実装できる。BMI判定機能を例に3週にわたり制作する。	ワークシート
6	11月18日	講義・演習	JavaScriptで1からプログラミング機能を設計、実装できる。BMI判定機能を例に3週にわたり制作する。	ワークシート
7	11月25日	講義・演習	実用的な機能として、HTML、CSS、JavaScriptを用いたトグルメニューを設計、実装できる。	ワークシート
8	12月2日	講義・演習	実用的な機能として、HTML、CSS、JavaScriptを用いたトグルメニューを設計、実装できる。	ワークシート
9	12月9日	講義・演習	実用的な機能として、HTML、CSS、JavaScriptを用いたトグルメニューを設計、実装できる。	ワークシート
10	12月16日	講義・演習	実用的な機能として、HTML、CSS、JavaScriptを用いたパララックススクロール機能を設計、実装できる。	ワークシート
11	1月13日	講義・演習	実用的な機能として、HTML、CSS、JavaScriptを用いたパララックススクロール機能を設計、実装できる。	ワークシート
12	1月20日	講義・演習	実用的な機能として、HTML、CSS、JavaScriptを用いたパララックススクロール機能を設計、実装できる。	ワークシート
13	2月3日	講義・演習	WEB制作に関するテストの実施	授業時間内に指定の課題を制作(ファイル作成)
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通して外部に情報発信できるプラットフォーム制作を学ぶ	前期の復習
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通して外部に情報発信できるプラットフォーム制作を学ぶ	前期の復習
準備学習 時間外学習			普段から様々なアーティストサイトやWEBサービスに触れてほしい	
【使用教科書・教材・参考書】				
HTML5 & CSS3 デザインレシピ集(狩野 祐東著/技術評論社)JavaScript コードレシピ集(池田 泰延他/技術評論社)				

科目名	AT-REC(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	阿部 博
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	sony Music studio Tokyo 2年、studioFine6年の経験を経て現在フリーランス6年目 多くの作品に関わるエンジニア						
授業の学習 内容	スタジオ/ホームレコーディングにおける、以下技術の習得。1)録音技術の習得 2)ミキシング技術の習得 3)マスタリング技術の習得 4)データ管理・整理技術の習得 5)レコーディングにおけるの進行の流れ						
到達目標	レコーディング、ミキシング技術を身につけプロクオリティの音源を作れるようにし、音楽業界を活性化できる人材の育成。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	スタジオ機材の基礎 色々な音源を聴く	前年度までの復習、
2	5月9日	講義・演習	アナログコンソールやマイクの特性アウトボードの基礎	マイク、アウトボードの名称、およびパッチベイの確認
3	5月16日	講義・演習	アナログコンソールやマイクの特性アウトボードの基礎	マイク、アウトボードの名称、およびパッチベイの確認
4	5月23日	講義・演習	アナログコンソールやマイクの特性アウトボードの基礎	前回までの理解力の確認
5	5月30日	講義・演習	アナログコンソールやマイクの特性アウトボードの基礎	前回までの理解力の確認
6	6月6日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
7	6月13日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
8	6月20日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
9	6月27日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
10	7月4日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
11	7月11日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
12	7月18日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
13	8月22日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
14	8月29日	講義・演習	イベントを通して楽曲を制作を学ぶ	各自問題点の整理、確認が必要なことの書き出
15	9月5日	講義・演習	イベントを通して楽曲を制作を学ぶ	各自問題点の整理、確認が必要なことの書き出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
レコーディングスタジオ内 常設機材				

科目名	AT-REC(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	阿部 博
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	sony Music studio Tokyo 2年、studioFine6年の経験を経て現在フリーランス6年目 多くの作品に関わるエンジニア						
授業の学習 内容	スタジオ/ホームレコーディングにおける、以下技術の習得。1)録音技術の習得 2)ミキシング技術の習得 3)マスタリング技術の習得 4)データ管理・整理技術の習得 5)レコーディングにおけるの進行の流れ						
到達目標	レコーディング、ミキシング技術を身につけプロクオリティの音源を作れるようにし、音楽業界を活性化できる人材の育成。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
2	10月10日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
3	10月17日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
4	10月24日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
5	10月31日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
6	11月7日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
7	11月14日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
8	11月21日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
9	11月28日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
10	12月5日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
11	12月12日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
12	12月19日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
13	1月9日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
14	1月16日	講義・演習	イベントを通して楽曲を制作を学ぶ	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
15	1月30日	講義・演習	イベントを通して楽曲を制作を学ぶ	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
レコーディングスタジオ内 常設機材				

科目名	ballet A (5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	浅越葉菜
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2011年～2015年:関東大手テーマパークにて、レギュラーショー等に出演。2016年:劇団四季『ウェストサイド物語』テレシタ役で東京公演、全国ツアー出演。現在は舞台に出演するかたわら、振付師として様々なイベントで作品を発表している。						
授業の学習 内容	①身体の使い方を学び、全てのダンスに通じる身体を作る為。 ②他ジャンルのダンスに繋がる身体、メンタルを身に付ける。 ③自分を深く掘り下げ、身体表現の幅を広げてほしい。 ④ストレッチ、バーレッスン、センターに繋げ、日常生活から身体に向き合う精神を身に付ける。						
到達目標	自分と向き合い身体を知り、ダンステクニックを向上させる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	前期の目標設定	各自の目標に合ったトレーニングに取り組む。
2	4月27日	講義・演習	踊る為の身体作り(腹、足の関係)	ストレッチ、トレーニング強化
3	5月11日	講義・演習	コアから繋がる身体作り(腹、背中、肩の関係)	バレエ用語の復習
4	5月18日	講義・演習	バーレッスン強化	弱点の見直し
5	5月25日	講義・演習	体重移動の強化	弱点克服の為のトレーニング設定
6	6月1日	講義・演習	テクニック強化(ジャンプ、バットマン)	テクニックの弱点を確認
7	6月8日	講義・演習	テクニック強化(回転)	テクニック強化の為のトレーニング設定
8	6月15日	講義・演習	魅せ方(他ジャンルに繋がる身体の使い方)	イメージを身体に落とすトレーニング
9	6月22日	講義・演習	音楽性、音感、リズム感を学ぶ。	さまざまな音楽を聴き、イメージするトレーニング
10	6月29日	講義・演習	イメージを身体に落とし込み身体で表現ができるか。	常にイメージを持って身体と向き合う
11	7月6日	講義・演習	バーレッスンからセンターへ繋げる。	イメージ通りに身体を動かす
12	7月13日	講義・演習	センター強化(タンジュ、アダージオ、バットマン)	課題を新たに設定
13	8月24日	講義・演習	センター強化(ピルエット、アレグロ、グランワルツ)	課題に合ったストレッチ、トレーニングを設定
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して身体を最大限に使い切ることを学ぶ	レポートの提出
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通して音楽の中で踊ることを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業前後のストレッチと筋力トレーニング。授業内容や授業中に気付いたことをノート等へ書き残しておく。		
【使用教科書・教材・参考書】				
バレエシューズ、レオタード				

科目名	ballet A (6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	浅越葉菜
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2011年～2015年:関東大手テーマパークにて、レギュラーショー等に出演。2016年:劇団四季『ウェストサイド物語』テレシタ役で東京公演、全国ツアー出演。現在は舞台に出演するかたわら、振付師として様々なイベントで作品を発表している。						
授業の学習 内容	①身体の使い方を学び、全てのダンスに通じる身体を作る為。 ②他ジャンルのダンスに繋がる身体、メンタルを身に付ける。 ③自分を深く掘り下げ、身体表現の幅を広げてほしい。 ④ストレッチ、バーレッスン、センターに繋げ、日常生活から身体に向き合う精神を身に付ける。						
到達目標	自分と向き合い身体を知り、ダンステクニックを向上させる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	前期の復習、課題、目標設定	足りない点を明確に、課題を見つける
2	10月12日	講義・演習	基礎の見直し(ブリエ、タンジュ、ジュテ)	持久カトレーニング
3	10月19日	講義・演習	基礎の見直し(体重移動、フォンデュ、デベロッパ)	体幹トレーニング
4	10月26日	講義・演習	軸、重心、コアから身体の繋がりがり	体幹トレーニング
5	11月2日	講義・演習	上体、身体の魅せ方	弱点克服トレーニング
6	11月16日	講義・演習	アームス、首の使い方	足裏トレーニング
7	11月23日	講義・演習	他ジャンルに繋げるバレエ	身体、精神、呼吸を整える
8	11月30日	講義・演習	テクニック応用(バーレッスン)	各自課題のストレッチ、トレーニング
9	12月7日	講義・演習	テクニック応用(センター)	課題を日々行った成果を確認
10	12月14日	講義・演習	音楽性を重視したテクニック応用	さまざまな音楽を聴き、イメージを持つ
11	12月21日	講義・演習	他ジャンルに繋がるバレエ応用	テクニック弱点の確認
12	1月11日	講義・演習	一年を通しての身体の変化、意識の変化	テクニック弱点の克服の為のトレーニング
13	1月18日	講義・演習	一年のまとめ(基礎、応用)	これから先の課題の設定
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通してプロフェッショナルとしての舞台への意識を学ぶ	レポートの提出
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通して音楽を身体を使って表現することを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業前後のストレッチと筋力トレーニング。授業内容や授業中に気付いたことをノート等へ書き残しておく。		
【使用教科書・教材・参考書】				
バレエシューズ、レオタード				

科目名	ballet B(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	白石純子
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団四季、オリエンタルランド、ダンス講師、振付家として活動						
授業の学習 内容	基礎トレーニングの中で、身体の隅々までコントロールできる身体づくり。 身体の仕組みを理解し、その為の解剖学、分解学を学ぶ。 身体の癖や思い込みを無くし、全てのジャンルのダンスに繋がるバレエ。 ターンやジャンプの応用・技術力・表現力を高める						
到達目標	身体のコアの未開拓の部分を整備して、中心から末端まで意識を届けさせ コントロールできる身体を目指し、技術の向上を目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	床を使ったトレーニングとバー(前半)	なぜこの授業を選択したのかを意識的に確認する
2	5月10日	講義・演習	床を使ったトレーニングとバー(後半)	基礎トレーニング復習
3	5月17日	講義・演習	床を使ったトレーニングとバーの復習	基礎トレーニング復習
4	5月24日	講義・演習	床を使ったトレーニングとバー、ターンの基礎	基礎トレーニング復習
5	5月31日	講義・演習	バー、センター基礎と順番	基礎トレーニング復習
6	6月7日	講義・演習	バー、センター(ターン、スモールジャンプ)	基礎トレーニング復習
7	6月14日	講義・演習	バー、センター、ターンの応用	基礎トレーニング復習
8	6月21日	講義・演習	バー、センター、ジャンプの応用	基礎トレーニング復習
9	6月28日	講義・演習	バー、センター、細かい繋ぎの動きの基礎	基礎トレーニング復習
10	7月5日	講義・演習	バー、センター、大ジャンプの技の基礎	基礎トレーニング復習
11	7月12日	講義・演習	バー、センター、技の種類の取得	基礎トレーニング復習
12	7月19日	講義・演習	バー、センター、グランワルツまで	基礎トレーニング復習
13	8月23日	講義・演習	バー、センター、グランワルツまでのテスト	基礎トレーニング復習
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			youtubeなど動画を見ること	
【使用教科書・教材・参考書】				
バレエシューズ・レオタード・タオル				

科目名	ballet B(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	白石純子
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団四季、オリエンタルランド、ダンス講師、振付家として活動						
授業の学習 内容	基礎トレーニングの中で、身体の隅々までコントロールできる身体づくり。 身体の仕組みを理解し、その為の解剖学、分解学を学ぶ。 身体の癖や思い込みを無くし、全てのジャンルのダンスに繋がるバレエ。 ターンやジャンプの応用・技術力・表現力を高める						
到達目標	身体のコアの未開拓の部分を整備して、中心から末端まで意識を届けさせ コントロールできる身体を目指し、技術の向上を目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	床を使ったトレーニングとバー復習	なぜこの授業を選択したのかを意識的に確認する
2	10月11日	講義・演習	床を使ったトレーニングとバー応用	基礎トレーニング復習
3	10月18日	講義・演習	床を使ったトレーニングとバーセンター	基礎トレーニング復習
4	10月25日	講義・演習	床を使ったトレーニングとバー、ターンの基礎	基礎トレーニング復習
5	11月1日	講義・演習	バー、センター基礎と順番・ターンの応用	基礎トレーニング復習
6	11月8日	講義・演習	バー、センター(ターン、スモールジャンプ)	基礎トレーニング復習
7	11月15日	講義・演習	バー、センター、ターンの応用	基礎トレーニング復習
8	11月22日	講義・演習	バー、センター、ジャンプの応用	基礎トレーニング復習
9	11月29日	講義・演習	バー、センター、細かい繋ぎの動きの基礎	基礎トレーニング復習
10	12月6日	講義・演習	バー、センター、大ジャンプの技の基礎	基礎トレーニング復習
11	12月13日	講義・演習	バー、センター、技の種類の取得	基礎トレーニング復習
12	12月20日	講義・演習	バー、センター、グランワルツまで	基礎トレーニング復習
13	1月10日	講義・演習	バー、センター、グランワルツまでのテスト	基礎トレーニング復習
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			youtubeなど動画を見ること	
【使用教科書・教材・参考書】				
バレエシューズ・レオタード・タオル				

科目名	ballet D(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	下島功佐
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ロシアワガノワバレエアカデミー留学卒業、元谷桃子バレエ団ソリスト、下島功佐・田中りなバレエアカデミー主宰、株式会社KRstudio代表取締役						
授業の学習 内容	① バレエは、ダンス全般及び演技に共通して通用する部分が非常に多いので、将来、ダンス関係及び舞台関係への就職を少しでも考えているならば必須です。 ② ダンス全般の授業と関係します。しなやかで強い筋肉、軸のぶれない体幹、美しい身体のライン、音の聞き方感じ方、以上の体得という位置付けです。 ③ バレエは専門的且つ基礎的で地味な練習が多いが毎時間繰り返す事で精神力も鍛え、自分の身体、自分の可能性としっかりと向き合い、卒業後の進路の可能性を広げてほしい。 ④ 柔軟性を高めるためのストレッチ、体幹強化とバレエの基礎知識習得の為にパーレッシン、バレエのステップへの理解を深める為、ジャンプ、回転も多用したセンターレッシン(パーレッシン、センターレッシン、共に音楽に合わせて行う)						
到達目標	当たり前ではあるが、休まず毎時間出席する事が第1目標。最終的にはバレエのポジション、ステップコンビネーションの説明の理解が出来、尚且つ実践できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	前屈ストレッチ、横開脚ストレッチ、縦開脚ストレッチ、下半身の筋肉のストレッチ(大臀筋、腓腹筋等)、上半身の筋肉のストレッチ(僧帽筋等)一全時間共通、以降の学習内容には、ストレッチと記載。 腹筋、背筋、腹斜筋の筋力強化の為のトレーニング一全時間共通、以降の学習内容には、筋カトレーニングと記載	知っているストレッチをやっておく。
2	4月24日	講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、パーレッシン プリエ:身体をまっすぐにたてる意識を持つ事を重点的に。	1で学んだストレッチ、筋カトレーニング。手のポジション、足のポジションの復習。
3	5月8日	講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、パーレッシン タンジュとジュテ:自分の前横後ろへ身体がぶれずに真っ直ぐに足を出せる事を重点的に。	2で学んだストレッチ、筋カトレーニング。プリエの復習。
4	5月15日	講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、パーレッシン タンジュとジュテ:足の指、ドゥミをきちんと使えるように意識することを重点的に。	3で学んだストレッチ、筋カトレーニング。タンジュ、ジュテの復習。
5	5月22日	講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、パーレッシン ロンデジャンプ:前横後ろのタンジュを連続して繋げて動かす事を覚える、動かすときに身体、腰がブレない事を意識して。 バッセの説明	4で学んだストレッチ、筋カトレーニング。タンジュ、ジュテの復習。
6	5月29日	講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、パーレッシン、センターレッシン フォンデュ:片足のプリエ、及びクベの形を理解、習得	5で学んだストレッチ、筋カトレーニング。ロンデジャンプ、バッセの復習。
7	6月5日	講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、パーレッシン、センターレッシン フラッペ:体幹がブレずに音、リズムに合わせてはっきりと素早く足を動かせる。	6で学んだストレッチ、筋カトレーニング。フォンデュ、クベの復習
8	6月12日	講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、パーレッシン、センターレッシン アダジオとグランバットマン:タンジュを通して足を高く上げ、キープ出来るように。素早く高く上げられるように。	7で学んだストレッチ、筋カトレーニング。フラッペの復習。
9	6月19日	講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、パーレッシン、センターレッシン アダジオとグランバットマン:デベロッパの習得。	8で学んだストレッチ、筋カトレーニング。アダジオ、グランバットマンの復習。
10	6月26日	講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、パーレッシン、センターレッシン ルルの確認。	9で学んだストレッチ、筋カトレーニング。デベロッパの復習。
11	7月3日	講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、パーレッシン、センターレッシン スシュとエシャッペの説明。	10で学んだストレッチ、筋カトレーニング。ルルの復習。
12	7月10日	講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、パーレッシン、センターレッシン シャンジュマンの説明。	11で学んだストレッチ、筋カトレーニング。スシュとエシャッペの復習。
13	8月21日	講義・演習	試験 12までのパーレッシン及びセンターレッシンの内容に対する理解力の確認。	12で学んだストレッチ、筋カトレーニング。シャンジュマンの復習。
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して、自身の身体を使って作品の意味や内容を表現する方法ややり方、を学ぶ	レポートの提出
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通してダンスの楽しさを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業前後のストレッチと筋カトレーニング。授業内容や授業中に気付いたことをノート等へ書き残しておく。	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ、レオタード、夏場等必要な場合はタオル				

科目名	ballet D(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	下島功佐
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ロシアワガノワバレエアカデミー留学卒業、元谷桃子バレエ団ソリスト、下島功佐・田中りなバレエアカデミー主宰、株式会社KRstudio代表取締役						
授業の学習 内容	① バレエは、ダンス全般及び演技に共通して通用する部分が非常に多いので、将来、ダンス関係及び舞台関係への就職を少しでも考えているならば必須です。 ② ダンス全般の授業と関係します。しなやかで強い筋肉、軸のぶれない体幹、美しい身体のライン、音の聞き方感じ方、以上の体得という位置付けです。 ③ バレエは専門的且つ基礎的で地味な練習が多いが毎時間繰り返す事で精神力も鍛え、自分の身体、自分の可能性としっかりと向き合い、卒業後の進路の可能性を広げてほしい。 ④ 柔軟性を高めるためのストレッチ、体幹強化とバレエの基礎知識習得のためのバーレッシン、バレエのステップへの理解を深める為、ジャンプ、回転も多用したセンターレッシン(バーレッシン、センターレッシン、共に音楽に合わせて行う)						
到達目標	当たり前ではあるが、休まず毎時間出席する事が第1目標。最終的にはバレエのポジション、ステップコンビネーションの説明の理解が出来、尚且つ実践できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	ストレッチ、筋カトレニング、バーレッシン、センターレッシン センターレッシンでの角度、身体の向きの説明、エファセ、クローゼ、エカルテ 等。	前期に学んだストレッチ、筋カトレニング。
2	10月9日	講義・演習	ストレッチ、筋カトレニング、バーレッシン、センターレッシン バーを使わずに体幹を保ってタンジュ、グランバットマンと片足 でバッセのバランス。	1で学んだストレッチ、筋カトレニング。センターレッシン での身体の向き、角度の復習。
3	10月16日	講義・演習	ストレッチ、筋カトレニング、バーレッシン、センターレッシン 回転をする時の首から上、顔の使い方、アンデダンとアンデ オールのピルエットの説明と実践。	2で学んだストレッチ、筋カトレニング。センターでのタン ジュ、グランバットマン、バッセのやり方の復習。
4	10月23日	講義・演習	ストレッチ、筋カトレニング、バーレッシン、センターレッシン バーを使わずにアダジオ、デベロップの実践。	3で学んだストレッチ、筋カトレニング。ピルエットのアン デオールとアンデダンの違いの復習。
5	10月30日	講義・演習	ストレッチ、筋カトレニング、バーレッシン、センターレッシン センターでのスシュとエシャッペ、スモールジャンプ(ジャンジュマンやスーブル ゾーなど)前後左右に動かないその場でやるもの、の説明と実践。	4で学んだストレッチ、筋カトレニング。センターレッシン でのアダジオの復習。
6	11月6日	講義・演習	ストレッチ、筋カトレニング、バーレッシン、センターレッシン グリッサードとアッサンブレの説明と実践。	5で学んだストレッチ、筋カトレニング。スシュ、エシャッ ペとスモールジャンプの復習。
7	11月13日	講義・演習	ストレッチ、筋カトレニング、バーレッシン、センターレッシン 5.6.7の内容を応用したコンビネーション	6で学んだストレッチ、筋カトレニング。グリッサードとアッ サンブレの復習。
8	11月20日	講義・演習	ストレッチ、筋カトレニング、バーレッシン、センターレッシン 大きなジャンプ、グランワルツ、基本的なコンビネーション で。	7で学んだストレッチ、筋カトレニング。アレグロジャンプ の復習。
9	11月27日	講義・演習	ストレッチ、筋カトレニング、バーレッシン、センターレッシン グランワルツを少し複雑なコンビネーションで。	8で学んだストレッチ、筋カトレニング。グランワルツの復 習。
10	12月4日	講義・演習	ストレッチ、筋カトレニング、バーレッシン、センターレッシン シエネ、ピケアンデダン等、早い回転の連続技の説明と実 践。	9で学んだストレッチ、筋カトレニング。グランワルツの復 習。
11	12月11日	講義・演習	ストレッチ、筋カトレニング、バーレッシン、センターレッシン シエネとピケアンデダンのコンビネーション。	10で学んだストレッチ、筋カトレニング。シエネとピケアン デダンの復習。
12	12月18日	講義・演習	ストレッチ、筋カトレニング、バーレッシン、センターレッシン ジャンプをしながらの回転技、ソデバスク、ザンレール等へ の挑戦。	11で学んだストレッチ、筋カトレニング。連続回転コンビ ネーションの復習。
13	1月15日	講義・演習	試験 後期12までのバーレッシン及びセンターレッシンの 内容に対する理解力の確認	12で学んだストレッチ、筋カトレニング。ソデバスク、ザン レールのやり方の復習。
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して、自身の身体を使って作品の意味や 内容を表現する方法ややり方、を学ぶ	レポートの提出
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通してダンスの楽しさを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業前後のストレッチと筋カトレニング。授業内容や授業中に気付いたことをノート等へ書き残しておく。	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ、レオタード、夏場等必要な場合はタオル				

科目名	JAZZ A(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	寺本藍
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	JAZZの指導歴9年						
授業の学習 内容	JAZZの基礎をマスターする。人前に立つことを意識した身体作り。						
到達目標	プロとして必要なレベルのJAZZの基礎を身に付ける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	授業の進め方の説明。卒業までの目標確認。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
2	4月28日	講義・演習	身体の引き上げの理解し、ターンの練習。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
3	5月12日	講義・演習	連続ターンのの練習。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
4	5月19日	講義・演習	ターンに 응용を加える。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
5	5月26日	講義・演習	ピルエットの説明、練習開始。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
6	6月2日	講義・演習	ピルエットの回る回数を増やす。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
7	6月9日	講義・演習	6週まで学んだターンを取り入れたコンビネーション開始。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
8	6月16日	講義・演習	ターンコンビネーションの習得の練習。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
9	6月23日	講義・演習	ターンコンビネーションに 응용を加える。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
10	6月30日	講義・演習	ターンコンビネーション応用の習得の練習。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
11	7月7日	講義・演習	1週目からのまとめの振付け。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
12	7月14日	講義・演習	実技テストの課題練習。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
13	8月25日	講義・演習	実技テスト。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		YoutubeなどでJAZZDANCEを観る。知る。触れる。		
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・必要であればタオル等				

科目名	JAZZ A(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	寺本藍
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	JAZZの指導歴9年						
授業の学習 内容	プロとして必要なJAZZの基礎をマスターする。人前に立つことを意識した身体作り。						
到達目標	プロとして必要なレベルのJAZZの基礎を身に付ける。各自の目標体重、なりたい体型になる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	筋トレによる、身体作りの強化。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
2	10月13日	講義・演習	筋トレによる、身体作りの強化。②	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
3	10月20日	講義・演習	筋トレによる、身体作りの強化。③	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
4	10月27日	講義・演習	学んだ事を取り入れた振付け開始。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
5	11月3日	講義・演習	振付けの踊りこみ	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
6	11月17日	講義・演習	振付の応用	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
7	11月24日	講義・演習	4週目からの振付けの発表	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
8	12月1日	講義・演習	卒業に向け、JAZZの技を多く入れた振付け開始。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
9	12月8日	講義・演習	卒業に向け、JAZZの技を多く入れた振付けの応用	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
10	12月15日	講義・演習	卒業に向け、JAZZの技を多く入れた振付けの応用踊りこみ	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
11	1月12日	講義・演習	卒業に向け、JAZZの技を多く入れた振付けの応用踊りこみ②	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
12	1月19日	講義・演習	試験準備。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
13	2月2日	講義・演習	試験	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YoutubeなどでJAZZDANCEを観る。知る。触れる。	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・必要であればタオル等				

科目名	JAZZ&Choreographer(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	村瀬美音
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2000年劇団四季入所。『ライオンキング』エド役、『CATS』カーバケットティ役 その他多数出演 JAZZ・HIPHOPなど多数ジャンルの講師も務める。						
授業の学習 内容	受講生本人が習得したダンススキルを、どのように生かし表現していくのかを具体的にするための実技演習授業。 観にきたお客さんの心を動かすためにはどうすれば良いかを常に考え、実際に作品を課題として与えて発表してもらいます。 ステージ人としてのプロフェッショナルなフィジカルとメンタルの習得だけでなく、謙虚で真摯な姿勢で、作品や演目に向き合える 本物のプロを目指します。						
到達目標	①振り付けられたものを発表をする ②お互いのパフォーマンスを見て、感じ、考える ③自分の中に、プロフェッショナルな表現者となる為の礎を築く						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	実技・ディスカッション	二年生になったことを自覚し、意識を高くもつ
2	5月10日	講義・演習	実技・基礎の見極め	基礎力のさらなる向上を忘れず、自宅などでも鍛えてくる
3	5月17日	講義・演習	実技・基礎練習・振付	身につけた基礎がダンスに表れているかを確認する
4	5月24日	講義・演習	実技・振付への取り組み	与えられた振付を次回までにしっかり覚えてくる
5	5月31日	講義・演習	実技・振付けされたものを踊り込み深める	振付をしっかりと踊れるよう、自己を洗練させる
6	6月7日	講義・演習	実技・オーディションを想定した実践要素を盛り込む	振付を早く覚え身に付けるための感性を磨く
7	6月14日	講義・演習	実技・自己総括①	ここまでの自分を省みて自分への課題をつくる
8	6月21日	講義・演習	実技・苦手部分の克服と取り組み	自分の弱点の克服に努め、次回までに成長を見せられよう取り組む
9	6月28日	講義・演習	実技・踊り込み	踊り込みで得たものを臍に落とし、発表に備える
10	7月5日	講義・演習	実技・踊り込み・発表	お互いの発表を見て、自分の生かせるような発見をする
11	7月12日	講義・演習	実技・発表	今までの練習がどれだけ身についたのかハッキリ考える、昨年度の自分との比較をする
12	7月19日	講義・演習	実技・自己総括②・ディスカッション	総括①の時との変化を考える
13	8月23日	講義・演習	実技・前期総括・ディスカッション	前期を通して自分が身につけたものを知り、後期への課題を見つける
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通して実際の現場感覚を学ぶ	レポートの提出
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通して現場感覚と自分の成長を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		①基礎力アップの取り組み(柔軟性を高めるためのストレッチなど) ②Youtubeなどで色々なジャンルを観る。知る。触れる。		
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・タオル				

科目名	JAZZ&Choreographer(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	村瀬美音
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2000年劇団四季入所。『ライオンキング』エド役、『CATS』カーバケッティ役 その他多数出演 JAZZ・HIPHOPなど多数ジャンルの講師も務める。						
授業の学習 内容	受講生本人が習得したダンススキルを、どのように生かし表現していくのかを具体的にするための実技演習授業。 観にきたお客さんの心を動かすためにはどうすれば良いかを常に考え、実際に作品を課題として与えて発表してもらいます。 ステージ人としてのプロフェッショナルなフィジカルとメンタルの習得だけでなく、謙虚で真摯な姿勢で、作品や演目に向き合える 本物のプロを目指します。						
到達目標	①振り付けられたものを発表をする ②お互いのパフォーマンスを見て、感じ、考える ③自分の中に、プロフェッショナルな表現者となる為の礎を築く						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	実技・ディスカッション	後期の意識、課題の確認
2	10月11日	講義・演習	実技・振付・基礎力向上プログラム	後期の自分に必要なスキルを見据えてトレーニングする
3	10月18日	講義・演習	実技・振付	覚えた振付をしっかりと入れてくる。どう踊りたいかを自分で考える
4	10月25日	講義・演習	実技・振付・踊り込み	自分の理想通りに踊れたかの確認をしてくる
5	11月1日	講義・演習	実技・振付・実践的感覚の向上	群舞、ソロパート、ソロダンスなどどんな局面でも対応できるような意識の持ち方を覚える
6	11月8日	講義・演習	実技・踊り込み	振付を深め、府に落とす
7	11月15日	講義・演習	実技・自己総括①	全授業の3分の1が終わったことを自覚し、自分を見つめる
8	11月22日	講義・演習	実技・グループ分け・踊り込み	各グループ、個性を各々で見だし、自分たちのアイディアを盛り込む
9	11月29日	講義・演習	実技・ディスカッション	振付を深めると共に、グループ毎の個性とパフォーマンスの質を伸ばす
10	12月6日	講義・演習	実技・踊り込み・発表	グループ発表を通し、それぞれ最後の追い込みをする
11	12月13日	講義・演習	実技・発表	本番を想定した発表を通し、実力を発揮できたか省みる
12	12月20日	講義・演習	実技・自己総括②	自己総括①からの変化と、1年前の自分との違いを考える
13	1月10日	講義・演習	実技・2年間の総括・ディスカッション	全授業を通して自分が身につけたものを知り、それぞれのこれからの人生にどう活かしていくかを考える。
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通して実際の現場感覚を学ぶ	レポートの提出
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通して自分の成長を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		①基礎力アップの取り組み(柔軟性を高めるためのストレッチなど) ②Youtubeなどで色々なジャンルを観る。知る。触れる。		
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・タオル				

科目名	Style JAZZ (5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	角田美和
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンス講師、現役として活動中。						
授業の学習 内容	ジャズダンスに必要な柔軟性、基礎体力、リズム感、体感を作る。ターン、ジャンプなどの基本的なテクニック向上。コンビネーション(振付)を約2回の授業で1曲覚えてマスターする。						
到達目標	基礎練習の積み重ねによって、全身を使い様々な曲に合わせて踊れるダンス能力を身につける。プロの世界でも通用するような基礎となるダンススキル習得を目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	腹式呼吸・胸式呼吸を覚える	授業内容を自主練習
2	4月28日	講義・演習	アイソレーションを覚える	授業内容を自主練習
3	5月12日	講義・演習	アームスの正しいポジションを学ぶ	授業内容を自主練習
4	5月19日	講義・演習	ストレッチのやり方を学ぶ	授業内容を自主練習
5	5月26日	講義・演習	筋カトレーニングのやり方を学ぶ	授業内容を自主練習
6	6月2日	講義・演習	身体の軸の作り方を学ぶ(重心のかけ方)	授業内容を自主練習
7	6月9日	講義・演習	様々なターンの説明、パドブレステップを学ぶ	授業内容を自主練習
8	6月16日	講義・演習	ビルエットターンをきれいに回る	授業内容を自主練習
9	6月23日	講義・演習	様々なジャンプの説明	授業内容を自主練習
10	6月30日	講義・演習	ジャンプを正しく飛ぶ	授業内容を自主練習
11	7月7日	講義・演習	ターンとジャンプの組み合わせ	授業内容を自主練習
12	7月14日	講義・演習	クロスフロアを行う	授業内容を自主練習
13	8月25日	講義・演習	今までの授業内容のテストを行う	授業内容を自主練習
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通してフォーメーション作りを学ぶ	レポートの提出
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してパフォーマンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		YouTubeなどでダンス動画を見て学ぶ		
【使用教科書・教材・参考書】				
レッスン着、シューズ				

科目名	Style JAZZ (5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	角田美和
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンス講師、現役として活動中。						
授業の学習 内容	ジャズダンスに必要な柔軟性、基礎体力、リズム感、体感を作る。ターン、ジャンプなどの基本的なテクニック向上。コンビネーション(振付)を約2回の授業で1曲覚えてマスターする。						
到達目標	基礎練習の積み重ねによって、全身を使い様々な曲に合わせて踊れるダンス能力を身につける。プロの世界でも通用するような基礎となるダンススキル習得を目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	丹田呼吸を学ぶ	授業内容を自主練習
2	10月13日	講義・演習	ボディウェーブを学ぶ	授業内容を自主練習
3	10月20日	講義・演習	アームウェーブを学ぶ	授業内容を自主練習
4	10月27日	講義・演習	足裏の使い方を学ぶ	授業内容を自主練習
5	11月3日	講義・演習	空間認識能力を育む	授業内容を自主練習
6	11月17日	講義・演習	表現力を鍛える	授業内容を自主練習
7	11月24日	講義・演習	足首を強化する(ルルベアップ)	授業内容を自主練習
8	12月1日	講義・演習	身体の軸の作り方を学ぶ(片足)	授業内容を自主練習
9	12月8日	講義・演習	体幹トレーニングを学ぶ	授業内容を自主練習
10	12月15日	講義・演習	ピルエットターンをきれいに回る(2回転以上)	授業内容を自主練習
11	1月12日	講義・演習	シェネターン・アラベスクターンをきれいに回る	授業内容を自主練習
12	1月19日	講義・演習	ターンとジャンプの組み合わせ	授業内容を自主練習
13	2月2日	講義・演習	今までの授業内容のテストを行う	授業内容を自主練習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して表現力を身につける	レポートの提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して踊りを楽しむことを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどでダンス動画を見て学ぶ	
【使用教科書・教材・参考書】				
レッスン着、シューズ				

科目名	HIP HOP A(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	石岡乃枝美
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンス講師歴14年、現役ダンサーとしても活動中。						
授業の学習 内容	①HIPHOPがストリートダンス全般に通じていて必須であるため ②ストリートダンス全般 ③ダンスの根底にあるリズム感やHIPHOPの踊り方を身に着ける ④基礎力向上						
到達目標	HIPHOPのリズム感や音楽のノリ方を身に着ける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	一年次で学んだ基礎の復習	基礎練・身体作り
2	5月10日	講義・演習	一年次で学んだ基礎の復習2	基礎練・身体作り
3	5月17日	講義・演習	一年次で学んだ基礎の復習3	基礎練・身体作り
4	5月24日	講義・演習	音ハメの概念について理解を深める	基礎練・身体作り
5	5月31日	講義・演習	音ハメを意識した基礎	基礎練・身体作り
6	6月7日	講義・演習	音ハメを意識した基礎2	基礎練・身体作り
7	6月14日	講義・演習	音ハメを意識した応用	基礎練・身体作り
8	6月21日	講義・演習	音ハメを意識した応用2	基礎練・身体作り
9	6月28日	講義・演習	音楽に対する理解を深める	基礎練・身体作り
10	7月5日	講義・演習	音楽性を意識した基礎	基礎練・身体作り
11	7月12日	講義・演習	音楽性を意識した基礎2	基礎練・身体作り
12	7月19日	講義・演習	音楽性を意識した応用	基礎練・身体作り
13	8月23日	講義・演習	音楽性を意識した応用2	基礎練・身体作り
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通して音楽性を学ぶ	レポートの提出
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通して音楽性を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YoutubeなどでHIPHOPを見て学ぶ	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・必要であればタオル				

科目名	HIP HOP A(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	石岡乃枝美
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンス講師歴14年、現役ダンサーとしても活動中。						
授業の学習 内容	①前期に学んだことを伸ばす ②ストリートダンス全般 ③音楽や歴史も学んで欲しい ④楽曲などにも話を持って行ってさらに興味を持ってもらう						
到達目標	一年で学んだことをしっかり次年度に生かせるよう染み込ませる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	HIPHOP以外のストリートダンスを取り入れた基礎	基礎練・身体作り
2	10月11日	講義・演習	HIPHOP以外のストリートダンスを取り入れた基礎2	基礎練・身体作り
3	10月18日	講義・演習	HIPHOP以外のストリートダンスを取り入れた基礎3	基礎練・身体作り
4	10月25日	講義・演習	HIPHOP以外のストリートダンスを取り入れた応用	基礎練・身体作り
5	11月1日	講義・演習	HIPHOP以外のストリートダンスを取り入れた応用2	基礎練・身体作り
6	11月8日	講義・演習	HIPHOP以外のストリートダンスを取り入れた応用3	基礎練・身体作り
7	11月15日	講義・演習	制作能力向上	基礎練・身体作り
8	11月22日	講義・演習	制作能力向上2	基礎練・身体作り
9	11月29日	講義・演習	制作能力向上3	基礎練・身体作り
10	12月6日	講義・演習	総合技術	基礎練・身体作り
11	12月13日	講義・演習	総合技術2	基礎練・身体作り
12	12月20日	講義・演習	総合技術3	基礎練・身体作り
13	1月10日	講義・演習	総合技術4	基礎練・身体作り
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通してプロに必要な技術を学ぶ	レポートの提出
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通してプロに必要な知識を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YoutubeなどでHIPHOPを見て学ぶ	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・必要であればタオル				

科目名	HIP HOP B(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	滑川裕紀
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	バックダンサー・ダンスインストラクターとして活動						
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎力の向上。安定してリズムが取れ、自分の身体をコントロールする。 ・ダンス全般の基礎となる身体作りも兼ねる。 ・「音を聞くこと。表現力。覚える力。」を振付の中で養いたい。 ・基礎トレーニングを基盤にしつつ、振付での応用を行なっていく。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・カウントを音楽に変換し、踊れるようになる。 ・振付を自分の踊りに変換して、個性を出して踊ることができる。 ・素早く振付を覚える。 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	基礎中心の身体作り	アイソレーション/リズムトレーニング
2	4月28日	講義・演習	基礎中心の身体作り/体幹重視	体幹トレーニング
3	5月12日	講義・演習	基礎中心の身体作り/振付指導	アイソレーション/体幹トレーニング
4	5月19日	講義・演習	身体の使い方を学ぶ/振付指導	ボディコントロールトレーニング
5	5月26日	講義・演習	自分の体を理解する/振付指導	重心移動の意識
6	6月2日	講義・演習	ボディコントロール/振付指導	ボディコントロール重視
7	6月9日	講義・演習	基礎的なリズムキープ/振付指導	様々なBPMでリズムキープ
8	6月16日	講義・演習	基礎的なアイソレーション/振付指導	アイソレーションでアクセントを取る
9	6月23日	講義・演習	振付メイン/振りを正しく覚える	振付復習/リズムキープ
10	6月30日	講義・演習	振付メイン/振りを間違えずに踊る	振付復習/アイソレーション
11	7月7日	講義・演習	振付メイン/自分の弱みを理解する	映像で自分の踊りをチェック
12	7月14日	講義・演習	自分の弱点を補うための講義	課題を見つける為に、自己分析
13	8月25日	講義・演習	弱点を理解した上で、意識して踊る	自分の踊りを理解するように自己分析
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通して表現力を学ぶ	レポートの提出
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して表現力を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		youtubeなどでHIPHOPを見て学ぶ		
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・必要であればタオル				

科目名	HIP HOP B(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	滑川裕紀
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	バックダンサー・ダンスインストラクターとして活動						
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎力の向上。安定してリズムが取れ、自分の身体をコントロールする。 ・ダンス全般の基礎となる身体作りも兼ねる。 ・「音を聞くこと。表現力。覚える力。」を振付の中で養いたい。 ・基礎トレーニングを基盤にしつつ、振付での応用を行なっていく。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・カウントを音楽に変換し、踊れるようになる。 ・振付を自分の踊りに変換して、個性を出して踊ることができる。 ・素早く振付を覚える。 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	基礎の応用/音をしっかりと聞く	基礎を徹底的に反復練習
2	10月13日	講義・演習	リズム+ステップ/アクセントを取る	ステップを入れながらリズムキープ
3	10月20日	講義・演習	基礎の向上/振付でメロディを取る	身体作り/トレーニング
4	10月27日	講義・演習	アイソレ+リズム/踊りに抑揚をつける	色々な意識で音楽を聴くようにする
5	11月3日	講義・演習	楽曲を理解して、振付を踊る。	振付の復習/反復して音楽を聴く
6	11月17日	講義・演習	リズム強化/歌詞を理解して踊る。	様々な方法でリズムキープ
7	11月24日	講義・演習	アイソレ強化/表現力をつける。	様々なやり方でアイソレーション練習
8	12月1日	講義・演習	リズム応用/振付を理解する。	振付練習/リズムキープ
9	12月8日	講義・演習	アイソレ応用/振付に沿って自分を出す	自分の踊りを確認・練習
10	12月15日	講義・演習	表現力の向上/振付を考えてみる。	自分にあった楽曲を選ぶ
11	1月12日	講義・演習	流れに沿って、振付を作ることを学ぶ	曲に合わせて振付を作ってみる
12	1月19日	講義・演習	踊りで自分を表現することを学ぶ。	自分に一番合う踊りを研究する
13	2月2日	講義・演習	総合的なダンス表現を身につける	実践し、研究を繰り返して、自分を見つめる
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して対応力を学ぶ	レポートの提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して対応力を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		youtubeなどでHIPHOPを見て学ぶ		
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・必要であればタオル				

科目名	Girls HIP HOP B(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	文元杏子
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	Girls hiphop指導歴25年						
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンサーとしての身体造り ・体幹トレーニング&アイソレーション(踊るための基礎造り) ・ダンスを通して人間性の向上 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎体力&身体造り ・パフォーマンス向上 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	基礎体力&身体造り	授業に対する心構え
2	4月27日	講義・演習	基礎体力&身体造り	ストレッチの流れを復習
3	5月11日	講義・演習	基礎体力&身体造り	アイソレーションの復習
4	5月18日	講義・演習	基礎体力&身体造り	前回の振り付けの復習
5	5月25日	講義・演習	基礎体力&身体造り	課題曲を聞いておく
6	6月1日	講義・演習	基礎体力&身体造り	復習しておく
7	6月8日	講義・演習	基礎体力&身体造り	復習しておく
8	6月15日	講義・演習	基礎体力&身体造り	課題曲を聞いておく
9	6月22日	講義・演習	基礎体力&身体造り&表現力&パフォーマンス	課題曲を聞いておく
10	6月29日	講義・演習	基礎体力&身体造り&表現力&パフォーマンス	振り付けの復習
11	7月6日	講義・演習	基礎体力&身体造り&表現力&パフォーマンス	課題曲を聞いておく
12	7月13日	講義・演習	基礎体力&身体造り&表現力&パフォーマンス	課題曲を聞いておく
13	8月24日	講義・演習	基礎体力&身体造り&表現力&パフォーマンス	振り付けの復習
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通してダンスの楽しさを学ぶ	レポートの提出
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通してダンスの楽しさを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			基礎身体造りは併用しつつ、メンタル部分の向上。	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・ヒール・必要であればタオル				

科目名	Girls HIP HOP B(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	文元杏子
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	Girls hiphop指導歴25年						
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンサーとしての身体造り ・体幹トレーニング&アイソレーション(踊るための基礎造り) ・ダンスを通して人間性の向上 ・振り入れの速さ 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎体力&身体造り ・パフォーマンス向上 ・表現力向上 ・対応能力&コミュニケーション能力 ・現場対応能力 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	基礎体力&身体造り	体幹を鍛えておく
2	10月12日	講義・演習	基礎体力&身体造り	前回の復習をしておく
3	10月19日	講義・演習	基礎体力&身体造り	前回の復習をしておく
4	10月26日	講義・演習	基礎体力&身体造り&表現力&パフォーマンス	課題曲を聞いておく
5	11月2日	講義・演習	基礎体力&身体造り&表現力&パフォーマンス	前回の復習をしておく
6	11月16日	講義・演習	基礎体力&身体造り&表現力&パフォーマンス	課題曲を聞いておく
7	11月23日	講義・演習	基礎体力&身体造り&表現力&パフォーマンス 短時間で自分のモノに出来る対応能力	前回の復習をしておく
8	11月30日	講義・演習	基礎体力&身体造り&表現力&パフォーマンス 短時間で自分のモノに出来る対応能力	課題曲を聞いておく
9	12月7日	講義・演習	基礎体力&身体造り&表現力&パフォーマンス 短時間で自分のモノに出来る対応能力	前回の復習をしておく
10	12月14日	講義・演習	基礎体力&身体造り&表現力&パフォーマンス 本番同様の撮影	前回の復習をしておく
11	12月21日	講義・演習	基礎体力&身体造り&表現力&パフォーマンス 本番同様の撮影	課題曲を聞いておく
12	1月11日	講義・演習	基礎体力&身体造り&表現力&パフォーマンス 本番同様の撮影	前回の復習をしておく
13	1月18日	講義・演習	テスト	前回の復習をしておく
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通して表現力を学ぶ	レポートの提出
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通して表現力を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			基礎身体造りは併用しつつ、メンタル部分の向上。	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・ヒール・必要であればタオル				

科目名	JAZZ HIP HOP(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	石井直彦
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	NYのEarl Mosley氏ダンスカンパニーメンバー、国内スタジオ(BDCなど)でのモダン/コンテンポラリー講師歴20年						
授業の学習 内容	①「基礎体力の向上、怪我をしない身体作り、身体のパーツの使い方を習得する」 ②「jazz hip-hopというジャンルを通して表現者としての魅せ方も意識できるようにしていきたい」 ③「表現者として自分の魅力を最大限に出せるようになってほしい」 ④「毎週のレッスンの中でストレッチ、筋トレ、アイソレーションをビジュアルキューイング、バーバルキューイングにてしっかり指導を行う。」						
到達目標	「挨拶やスタジオの使い方などレッスンを受ける姿勢を理解し怪我をしない身体作り、身体のパーツの使い方を理解する。」						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	演習を受ける姿勢、ストレッチの仕方を理解する。	授業の流れを理解し、向上心を高める。
2	4月27日	講義・演習	インナーマッスルの必要性を理解する。	授業で出た筋肉の名称を覚え日々のストレッチや筋トレをより意識しながら取り組む。
3	5月11日	講義・演習	アイソレーション、上半身の動かし方の研究。	首、肩、上半身、のパーツと1つ1つ動かせるように意識して練習。
4	5月18日	講義・演習	アイソレーション、上半身の動かし方の研究。ペアになりサポートすることにより筋肉の構造を理解する。	ペアで行った学習での他人の体の構造を意識し自分の体の感覚と使いかたをより意識できるようにする。
5	5月25日	講義・演習	アイソレーション、下半身の動かし方の研究。	骨盤、膝、足首、のパーツと1つ1つ動かせるように意識して練習。
6	6月1日	講義・演習	アイソレーション、下半身の動かし方の研究。ペアになりサポートすることにより筋肉の構造を理解する。	ペアで行った学習での他人の体の構造を意識し自分の体の感覚と使いかたをより意識できるようにする。
7	6月8日	講義・演習	アイソレーション、複数のパーツを同時に複雑な動かし方の研究。	上記の体のパーツの使い方を理解し使いこなせるよう練習。
8	6月15日	講義・演習	リズムトレーニング、アイソレをリズムに合わせて使う研究。	体を動かすにあたり音楽に合わせてながら、カウントに合わせてできるように練習する。
9	6月22日	講義・演習	上記の内容を生かした振りの研究。	与えられた振りの、体の使い方があっているのか復習をしながら確認する。
10	6月29日	講義・演習	テストに向けた振りを覚える。	講師に与えられた振りのポイントを理解し復習する。
11	7月6日	講義・演習	テストに向けた振りをより深く落とし込む。	振りを理解した上で魅せ方を研究し表現できるように練習する。
12	7月13日	講義・演習	テスト	実技テストで実力を出せるよう復習をしていく。
13	8月24日	講義・演習	テストを振り返り各自次のステップへの目標を立てる。	次のステップに進むために何が必要かを考え、今後の目標を立てる。
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して舞台上で踊る事を学ぶ	レポートの提出
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通して舞台上で踊る事を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			レッスンでの予習復習をしていく。	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ、タオル、動きやすい服装				

科目名	JAZZ HIP HOP(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	石井直彦
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	NYのEarl Mosley氏ダンスカンパニーメンバー、国内スタジオ(BDCなど)でのモダン/コンテンポラリー講師歴20年						
授業の学習 内容	①「基礎体力の向上、怪我をしない身体作り、身体のパーツの使い方を習得する」 ②「jazz hip-hopというジャンルを通して表現者としての魅せ方も意識できるようにしていきたい」 ③「表現者として自分の魅力を最大限に出せるようになってほしい」 ④「毎週のレッスンの中でストレッチ、筋トレ、アイソレーションをビジュアルキューイング、バーバルキューイングにてしっかり指導を行う。」						
到達目標	1手先、足先、体のラインなど正しい体の使い方を理解し使いこなせた上で習得した振りを自らの表現で表す事が出来る。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	ストレッチや振りにおいて手先、足先を意識しながら末端まで意識を使う研究。	自宅ストレッチを行う際に足先手先を意識して取り組む。
2	10月12日	講義・演習	柔軟性を上げるためのストレッチ、キレを出すための筋トレ。	自宅など空いている時間で、ストレッチや筋トレを行う。
3	10月19日	講義・演習	稼動範囲や柔軟性の意識した振り付けの研究。	授業において出しきれない可動域に合わせて、ストレッチを行う。
4	10月26日	講義・演習	インナーマッスルを使いキレを意識した振り付けの研究。	パワーを出すために足りない筋肉を強化するため筋トレを行う。
5	11月2日	講義・演習	上記二つを習得した上で与えられた振りを自分で表現する。	体の使い方を今一度意識し足りないものを考え、課題を立てる。
6	11月16日	講義・演習	踊っているときの表情の研究。	自分が踊っている動画を見返し表情を見返す。
7	11月23日	講義・演習	幾つかのグループに分けて踊りを見せ合い、見て学び見られることで学ぶ。	他人の踊りを見て、表現する事についてより意識し表現できるようにしていく。
8	11月30日	講義・演習	振り付けにおいてフリーな部分を与え自分で作り表現する研究。	授業時間外でも様々な曲で振りを考え踊る練習をする。
9	12月7日	講義・演習	振りを習得し、後少人数でのグループに分け発表。	発表するにあたり、与えられた振りをより体に落とし込む。
10	12月14日	講義・演習	テストに向けた振りを与え。	講師に与えられた振りのポイントを理解し復習する。
11	12月21日	講義・演習	与えられた振りをより深く落とし込む。	振りを理解した上で魅せ方を研究し表現できるように練習する。
12	1月11日	講義・演習	テスト	実技テストで実力を出せるよう復習をしてくる。
13	1月18日	講義・演習	テストを振り返り各自次のステップへの目標を立てる。	次のステップに進むために何が必要かを考え、今後の目標を立てる。
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通して舞台上で踊る事を学ぶ	レポートの提出
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通して舞台上で踊る事を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			レッスンでの予習復習をしてくる。	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ、タオル、動きやすい服装				

科目名	オールドスクール(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	石岡乃枝美
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンス講師、現役ダンサーとして活動中。						
授業の学習 内容	STREETDANCEの中のOLD SCHOOL(主に1960～1990年代)について学ぶ、実践する。						
到達目標	時代による様々なスタイルのダンスの特徴や考え方、様式を理解し、自ら体現出来る。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	文化知識、ジャンルの説明、身体作り	身体づくり、ストレッチ
2	4月24日	講義・演習	ジャンルの違いの習得、ボディーコントロール	実習した身体の一部のみをコントロールする練習、ジャンルの種類や名称を覚える
3	5月8日	講義・演習	ジャンルの違い習得+ボディーコントロール+リズムキープ	身体のパーツコントロール、種類の確認
4	5月15日	講義・演習	ボディーコントロールによるジャンルの違いの習得+リズムキープ	コントロール、種類使い方の確認
5	5月22日	講義・演習	ボディーコントロールによるジャンルの違いの習得	4回の授業を経て得意、苦手な部分を理解しよりよくする為練習
6	5月29日	講義・演習	文化知識、リズムキープ	ジャンルの違い、区別を理解しておく
7	6月5日	講義・演習	文化知識、リズムキープ②	ジャンルの違い区別を理解しておく
8	6月12日	講義・演習	文化知識、リズムキープ③	ジャンルの違い、区別、使い方の復習
9	6月19日	講義・演習	文化知識、リズムキープ④	ジャンルの違い、区別を理解し踊れるようにする
10	6月26日	講義・演習	今まで学んだ知識、表現方法の復習、チェック	6~の授業で覚えた名称や使い方を復習
11	7月3日	講義・演習	文化知識、コントロール～違いの体現	技+技を重ねて踊れるように練習
12	7月10日	講義・演習	文化知識、コントロール～違いの体現②	インプロの実践練習 1分は出来るように練習
13	8月21日	講義・演習	文化知識、コントロール～違いの体現③	インプロの実践練習 3分は出来るように練習
14	8月28日	講義・演習	イベントを通してダンスの基本の大切さ、実践に活かせるパフォーマンス、魅せ方を学ぶ。	レポートの提出
15	9月4日	講義・演習	イベントを通して、ダンスの基本の大切さ、実践に活かせるパフォーマンス、魅せ方工夫を学ぶ。	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどでダンス動画を見て学ぶ	
【使用教科書・教材・参考書】				
踊りやすいスニーカー(ジャズスニーカー、バレエシューズ、過度の厚底、ランニング専用シューズはお勧め出来ません)				

科目名	オールドスクール(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	石岡乃枝美
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンス講師、現役ダンサーとして活動中。						
授業の学習 内容	STREETDANCEの中のOLD SCHOOL(主に1960～1990年代)について学ぶ、実践する。						
到達目標	時代による様々なスタイルのダンスの特徴や考え方、様式を理解し、自ら体現出来る。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	文化知識、ジャンルの違いの習得、ボディーコントロール +技	身体づくり、ストレッチ
2	10月9日	講義・演習	文化知識、ジャンルの違いの習得、ボディーコントロール +技②	実習した身体の一部のみをコントロールする練習、ジャンルの種類や名称を覚える
3	10月16日	講義・演習	文化知識、ジャンルの違いの習得、ボディーコントロール +技③	身体のパーツコントロール、種類の確認
4	10月23日	講義・演習	文化知識、ジャンルの違いの習得、ボディーコントロール +技④	コントロール、種類使い方の確認
5	10月30日	講義・演習	見直し、復習チェック	4回の授業を経て得意、苦手な部分を理解しよりよくする為練習
6	11月6日	講義・演習	文化知識、ジャンルの違いの習得、ボディーコントロール +技と技をつなぐ(応用)	ジャンルの違い、区別を理解しておく
7	11月13日	講義・演習	文化知識、ジャンルの違いの習得、ボディーコントロール +技と技をつなぐ(応用)②	ジャンルの違い区別を理解しておく
8	11月20日	講義・演習	文化知識、ジャンルの違いの習得、ボディーコントロール +技と技をつなぐ(応用)③	ジャンルの違い、区別、使い方の復習
9	11月27日	講義・演習	文化知識、ジャンルの違いの習得、ボディーコントロール +技と技をつなぐ(応用)④	ジャンルの違い、区別を理解し踊れるようにする
10	12月4日	講義・演習	文化知識、ジャンルの違いの習得、ボディーコントロール +技と技をつなぐ(応用)⑤	6~の授業で覚えた名称や使い方を復習
11	12月11日	講義・演習	時代で違うダンスの体現 インプロビゼーション(フリースタイル)に挑戦	技+技を重ねて踊れるように練習
12	12月18日	講義・演習	時代で違うダンスの体現 インプロビゼーション(フリースタイル)に挑戦②	インプロの実践練習 1分は出来るように練習
13	1月15日	講義・演習	総まとめ	インプロの実践練習 3分は出来るように練習
14	1月29日	講義・演習	イベントを通してダンスの基本の大切さ、実践に活かせるパフォーマンス、魅せ方を学ぶ。	レポートの提出
15	2月5日	講義・演習	イベントを通して、ダンスの基本の大切さ、実践に活かせるパフォーマンス、魅せ方工夫を学ぶ。	レポートの提出
準備学習 時間外学習		YouTubeなどでダンス動画を見て学ぶ		
【使用教科書・教材・参考書】				
踊りやすいスニーカー(ジャズスニーカー、バレエシューズ、過度の厚底、ランニング専用シューズはお勧め出来ません)				

科目名	フィジカルトレーニング(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	小島拓也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンススタジオ レッスンインストラクター 10年 スポーツクラブ レッスンインストラクター 5年						
授業の学習 内容	1 身体づくりのためのトレーニング方法 解剖学・食事・睡眠・運動(筋力トレーニング)を基礎から理解する。 2 ダンス・アクロバット・役者 などを目指すための体の基盤を作る。 3 自分の思い描く理想の身体を作り日々の習慣にする。 授業は解剖学(筋肉の仕組みや動き)を理解する事から初め、実際にその部位を動かして身体を使うということを体感する。合間に人体のメカニズムや体作りに大切となる雑学などを説明する。						
到達目標	学生自身が授業で学んだことを習慣にし、自分で自分の身体をコントロールできるように 運動・食事・睡眠・メンタル面 等の必要性を実感すること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	クラスの説明・身体づくりの重要性・(解剖学)お腹トレーニング・(雑学)食事	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
2	5月10日	講義・演習	前回の復習～脚(前) トレーニング・ホルモンについて	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
3	5月17日	講義・演習	前回の復習～背中 トレーニング・食事	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
4	5月24日	講義・演習	前回の復習～お尻 トレーニング・睡眠	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
5	5月31日	講義・演習	前回の復習～胸&腕 トレーニング・運動するメリット	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
6	6月7日	講義・演習	前回の復習～脚(後) トレーニング・歪みとバランス	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
7	6月14日	講義・演習	前回の復習～全身(逆転) トレーニング・呼吸法	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
8	6月21日	講義・演習	前回の復習～お腹 トレーニング・習慣化	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
9	6月28日	講義・演習	前回の復習～脚(全) トレーニング・メンタル	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
10	7月5日	講義・演習	前回の復習～背中 トレーニング・機能解剖学・復習	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
11	7月12日	講義・演習	前回の復習～胸&腕 トレーニング・食事&運動&睡眠	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
12	7月19日	講義・演習	前回の復習～お尻 トレーニング・食事&運動&睡眠	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
13	8月23日	講義・演習	総復習(トレーニングと雑学)『テスト』	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通して踊りに必要な筋力を意識する	レポートの提出
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通してトレーニングの大切さを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			次の授業までに、前回の授業の復習授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。	
【使用教科書・教材・参考書】				
筋肉のしくみ・はたらき事典				

科目名	フィジカルトレーニング(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	小島拓也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンススタジオ レッスンインストラクター 10年 スポーツクラブ レッスンインストラクター 5年						
授業の学習 内容	1 身体づくりのためのトレーニング方法 解剖学・食事・睡眠・運動(筋力トレーニング)を基礎から理解する。 2 ダンス・アクロバット・役者 などを目指すための体の基盤を作る。 3 自分の思い描く理想の身体を作り日々の習慣にする。 授業は解剖学(筋肉の仕組みや動き)を理解する事から初め、実際にその部位を動かし身体を使うということを体感する。合間に 人体のメカニズムや体作りに大切となる雑学などを説明する。						
到達目標	学生自身が授業で学んだことを習慣にし、自分で自分の身体をコントロールできるように 運動・食事・睡眠・メンタル面 等の必要性を実感すること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	クラスの説明・身体づくりの重要性・(解剖学)お腹 トレーニング・(雑学)食事②	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
2	10月11日	講義・演習	前回の復習～脚(前) トレーニング・ホルモンについて②	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
3	10月18日	講義・演習	前回の復習～背中 トレーニング・食事②	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
4	10月25日	講義・演習	前回の復習～お尻 トレーニング・睡眠②	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
5	11月1日	講義・演習	前回の復習～胸&腕 トレーニング・運動するメリット②	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
6	11月8日	講義・演習	前回の復習～脚(後) トレーニング・歪みとバランス②	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
7	11月15日	講義・演習	前回の復習～全身(逆転) トレーニング・呼吸法②	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
8	11月22日	講義・演習	前回の復習～お腹 トレーニング・習慣化②	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
9	11月29日	講義・演習	前回の復習～脚(全) トレーニング・メンタル②	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
10	12月6日	講義・演習	前回の復習～背中 トレーニング・機能解剖学・復習②	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
11	12月13日	講義・演習	前回の復習～胸&腕 トレーニング・食事&運動&睡眠②	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
12	12月20日	講義・演習	前回の復習～お尻 トレーニング・食事・運動&睡眠②	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
13	1月10日	講義・演習	総復習(トレーニングと雑学)『テスト』	次の授業までに、前回の授業の復習 授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通して体の仕組みを学ぶ	レポートの提出
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通して体の仕組みを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			次の授業までに、前回の授業の復習授業中、メモ&ホワイトボードの写真可。	
【使用教科書・教材・参考書】				
筋肉のしくみ・はたらき事典				

科目名	アクロバット(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	東山悠司
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アーティストバックダンサーやTV番組・映画・MV・CM等にアクロバット出演						
授業の学習 内容	具体的に自身で選んだ中～高難度の技を習得し、補助無しの実践。技が成功した時の達成感や、一つの難しいことにも繰り返し挑戦する意義を実感させる。主に前方系・後方系・側方系の中～高難度のマット運動。倒立歩行。筋力トレーニング・柔軟。カポエイラやトリッキングなどの動きを取り入れた練習も行う。						
到達目標	男子も女子も補助無しでのバック転(後方転回跳び)またはバック宙(後方宙返り)またはハンドスプリング(前方転回跳び)を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	前期の方向性の説明 基礎練習	各自目標とする難度技の設定
2	4月27日	講義・演習	基礎練習 前方系・後方系・側方系 ブリッジ・倒立	動画を撮影し、自身の柔軟性・筋力を分析
3	5月11日	講義・演習	基礎練習 バック転・ハンドスプリングを補助付きで練習	動画を撮影し、自己分析
4	5月18日	講義・演習	基礎練習 バック転・ハンドスプリングを補助付きで練習	体幹トレーニング
5	5月25日	講義・演習	基礎練習 バック転・ハンドスプリングを補助無しで実践	動画を撮影し、自己分析
6	6月1日	講義・演習	基礎練習 バック転・ハンドスプリングを補助無しで実践	体幹トレーニング
7	6月8日	講義・演習	基礎練習 バック転・ハンドスプリングを補助無しで実践	体幹トレーニング
8	6月15日	講義・演習	基礎練習 宙返り系の技の説明～補助付きで体験	動画を撮影し、自己分析
9	6月22日	講義・演習	基礎練習 宙返り系の技を補助付きで練習	体幹トレーニング
10	6月29日	講義・演習	基礎練習 宙返り系の技を補助付きで練習	体幹トレーニング
11	7月6日	講義・演習	基礎練習 宙返り系の技を補助付きで練習	体幹トレーニング
12	7月13日	講義・演習	基礎練習 宙返り系の技を補助無しで練習	動画を撮影し、自己分析
13	8月24日	講義・演習	基礎練習 宙返り系の技を補助無しで練習	動画を撮影し、自己分析
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して一度のみで技の成功の難しさを学ぶ	レポートの提出
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通して一度のみで技の成功の難しさを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			自宅や狭い場所でも可能な体幹トレーニング数種	
【使用教科書・教材・参考書】				
マット各種				

科目名	アクロバット(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	東山悠司
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アーティストバックダンサーやTV番組・映画・MV・CM等にアクロバット出演						
授業の学習 内容	具体的に自身で選んだ高難度の技を習得し、補助無しの実践。技が成功した時の達成感や、一つの難しいことにも繰り返し挑戦する意義を実感させる。主に前方系・後方系・側方系の高難度のマット運動。倒立静止。筋力トレーニング・柔軟。タンブリング(連続技)。カポエイラやトリッキングなどの動きを取り入れた練習も行う。						
到達目標	男子も女子も二つ以上のタンブリング(連続技)を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	後期の方向性の説明 基礎練習	各自目標とする難度技の設定
2	10月12日	講義・演習	基礎練習 前方系・後方系・側方系 ブリッジ・倒立	動画を撮影し、自身の柔軟性・筋力を分析
3	10月19日	講義・演習	基礎練習 バック転・ハndspringを補助付きで練習	動画を撮影し、自己分析
4	10月26日	講義・演習	基礎練習 バック転・ハndspringを補助無しで実践	動画を撮影し、自己分析
5	11月2日	講義・演習	基礎練習 宙返り系の技を補助付きで練習	動画を撮影し、自己分析
6	11月16日	講義・演習	基礎練習 宙返り系の技を補助無しで練習	動画を撮影し、自己分析
7	11月23日	講義・演習	基礎練習 カポエイラやトリッキング等の説明～体験	ネット上で参考動画の検索・閲覧
8	11月30日	講義・演習	基礎練習 カポエイラやトリッキング等の練習	動画を撮影し、自己分析
9	12月7日	講義・演習	基礎練習 カポエイラやトリッキング等の練習	体幹トレーニング
10	12月14日	講義・演習	基礎練習 カポエイラやトリッキング等の練習	体幹トレーニング
11	12月21日	講義・演習	基礎練習 タンブリングの説明～補助付きで体験	ネット上で参考動画の検索・閲覧
12	1月11日	講義・演習	基礎練習 タンブリングの練習	動画を撮影し、自己分析
13	1月18日	講義・演習	基礎練習 タンブリングの実践	動画を撮影し、自己分析
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通してを達成感・アクロバットが持つ魅力を学ぶ	レポートの提出
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通してを達成感・アクロバットが持つ魅力を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			自宅や狭い場所でも可能な体幹トレーニング数種	
【使用教科書・教材・参考書】				
マット各種				

科目名	BREAK(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	東山悠司
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アーティストバックダンサーやTV番組・映画・MV・CM等にブレイクダンスにて出演 その他ブレイクダンスバトル入賞多数						
授業の学習 内容	ブレイクダンスの要素を細分化し基礎から習得する中で、他ジャンルでは得にくい基礎体力・筋力・バランス感覚等を養い、非日常的な姿勢で静止したり、全身を使って立体的に回転したり、パフォーマンスの中で特に人の目を惹きつける技を体得していく。ストリートダンス全般に関連し、歴史的背景もあり1対1でのバトル等、競い合う精神が一番が高いジャンル。レッスン順序 柔軟→筋カトレーニング→フリーズ各種→振り付けまたは技の練習→バトルまたはセッション						
到達目標	ストレッチで柔軟性を養い関節の可動域を広げ、可能な技の範囲を拡大する。筋カトレーニングで特に上半身の筋力を養い、脚が床に着かない色々な体勢で支持出来る体作りを行う。倒立が基礎になる技を多用するので、倒立が自立で可能になる為のトレーニングを段階的に行う。名前の付いている基礎となるステップを覚え、反復練習する。ブレイクダンスの歴史と、今も残る特有の文化を学習する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	ブレイクダンスの歴史と文化の説明	ネット上でブレイクダンスの歴史と文化を調査
2	4月27日	講義・演習	日本でのブレイクダンスシーン解説	日本人有名ダンサーを検索・把握
3	5月11日	講義・演習	ネットでの学習の仕方や検索用語の説明	教わった用語を使用し、ネットにて調査
4	5月18日	講義・演習	柔軟・筋トレ・フリーズ各種の習得	ネットでの動画閲覧
5	5月25日	講義・演習	柔軟・筋トレ・フリーズ各種の実践	動画を撮影し、自身の柔軟性・筋力を分析
6	6月1日	講義・演習	柔軟・筋トレ・フリーズ各種の自己分析	動画を撮影し、自身のフリーズの形を分析
7	6月8日	講義・演習	倒立・ステップ数種の習得	動画を撮影し、自身の倒立を分析
8	6月15日	講義・演習	倒立・ステップ数種の実践	動画を撮影し、自身のステップを分析
9	6月22日	講義・演習	倒立・ステップ数種の自己分析	この時点での自身の能力に合った技術を選定
10	6月29日	講義・演習	振り付け・セッションの練習	動画を撮影し、自己分析
11	7月6日	講義・演習	振り付け・セッションの実践	動画を撮影し、見直し
12	7月13日	講義・演習	振り付け・バトルの練習	動画を撮影し、自己分析
13	8月24日	講義・演習	指定の振り付け・バトルの実践	動画を撮影し、見直し
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して文化と精神面、様々な技術を学ぶ	レポートの提出
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通して文化と精神面、様々な技術を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業内で行った内容の反復練習・動画の自己撮影	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・タオル				

科目名	BREAK(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	東山悠司
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アーティストバックダンサーやTV番組・映画・MV・CM等にブレイクダンスにて出演 その他ブレイクダンスバトル入賞多数						
授業の学習 内容	群舞でのパフォーマンスと区別し、一人で踊る事への意義を実感してもらう。バトルを通じて、競争心・コミュニケーション・相手への尊重等の育成を図る。難易度の高い技の習得に向かい、出来た時の達成感を感じる事で、途中で屈しない精神を養う。						
到達目標	前期で培われた柔軟性・筋力・覚えたステップを基礎とし、1人で踊る為の振り付けを自分で組み立てる。バトルを想定し、鏡では無く、対戦相手にエネルギーを向けて踊る訓練をする。振り付けとは別で、即興性やミスした際にリカバリーする能力を高める。1対1またはチーム分けをし、ダンスバトルを実践する。バトルのモチベーションとは別で、円になりお互いを尊重しながら見せ合うだけのセッションを行う。大技の習得。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	高難度の柔軟・筋トレの解説 ステップ数種	各自目標とする難度技の設定
2	10月12日	講義・演習	高難度の柔軟・筋トレの練習 ステップ数種	ネットや動画サイトを調べ、難度技の理論を分析
3	10月19日	講義・演習	高難度の柔軟・筋トレの実践 振り付け	自身の柔軟度・筋力を動画撮影し分析
4	10月26日	講義・演習	高難度の倒立の解説 ステップ数種	倒立に関する記事や動画をネットで閲覧
5	11月2日	講義・演習	高難度の倒立の練習 ステップ数種	動画を撮影し分析
6	11月16日	講義・演習	高難度の倒立の実践 振り付け	高難度の倒立の反復練習
7	11月23日	講義・演習	高難度のフリーズ各種の解説 ステップ数種	フリーズに関する記事や動画をネットで閲覧
8	11月30日	講義・演習	高難度のフリーズ各種の練習 ステップ数種	動画を撮影し分析
9	12月7日	講義・演習	高難度のフリーズ各種の実践 振り付け	高難度のフリーズの反復練習
10	12月14日	講義・演習	即興・リカバリーの解説・練習	即興・リカバリーに関する記事や動画をネットで閲覧
11	12月21日	講義・演習	即興・リカバリーの実践	動画を撮影し分析
12	1月11日	講義・演習	バトルの解説、実践	自身の振り付けを事前に構想
13	1月18日	講義・演習	チーム分けバトルまたは1対1のバトル	実践動画を分析し、見直し・考察
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通して文化と精神面、様々な技術を学ぶ	レポートの提出
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通して文化と精神面、様々な技術を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業内で行った内容の反復練習・動画の自己撮影	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・タオル				

科目名	作編曲法 Advance (5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	野崎貴潤
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	作編曲家。提供実績(SPEED Dream AKB48 乃木坂46 日向坂46 氷川きよし アニメ等 他多数)						
授業の学習 内容	音楽理論に基づき正確に効率的に編曲ができるようにする。特に苦手と感じることが多いプラスアレンジを中心にヴォイスン グ全般を講義する						
到達目標	ヴォイスン(4way close,アプローチノート)を理解し、プラスアレンジができるようにする						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	コード理論(ドミナントコード、セカンダリドミナント)の復習	問題集
2	4月24日	講義・演習	コード理論(同主調)の復習	問題集
3	5月8日	講義・演習	4way closeの復習 harmonic continuity approach note	講義で作ったものを DAWに打ち込み音で確認
4	5月15日	講義・演習	scale wise approachの使い方	講義で作ったものを DAWに打ち込み音で確認
5	5月22日	講義・演習	chromatic approach、delayed resolveの使い方	講義で作ったものを DAWに打ち込み音で確認
6	5月29日	講義・演習	Diatonic approachの使い方	講義で作ったものを DAWに打ち込み音で確認
7	6月5日	講義・演習	dominant approach,altered dominant approachの使い方	講義で作ったものを DAWに打ち込み音で確認
8	6月12日	講義・演習	セクションのトップラインの書き方	講義で作ったものを DAWに打ち込み音で確認
9	6月19日	講義・演習	daw上での打ち込み方	自分の曲で実践する
10	6月26日	講義・演習	管楽器、サックスの楽器について	音域等の確認
11	7月3日	講義・演習	プラスセクションのシミュレーション	自分の曲で実践する
12	7月10日	講義・演習	オープンヴォイスンについて	講義で作ったものを DAWに打ち込み音で確認
13	8月21日	講義・演習	課題の作成	データの整理
14	8月28日	講義・演習	イベントを通して楽曲制作を学ぶ	自分の曲で実践する
15	9月4日	講義・演習	イベントを通して楽曲制作を学ぶ	自分の曲で実践する
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	作編曲法 Advance (6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	野崎貴潤
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	作編曲家。提供実績(SPEED Dream AKB48 乃木坂46 日向坂46 氷川きよし アニメ等 他多数)						
授業の学習 内容	音楽理論に基づき正確に効率的に編曲ができるようにする。特に苦手と感じることが多いストリングスアレンジを中心にヴォーシング全般を講義する。またヴォーカルエディットなどデモクオリティを向上させる。						
到達目標	Voicingを理解しストリングスセクションをつくることができるようする。ヴォーカルエディットなどデモクオリティを向上させる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	violin,viola,celloの音域、奏法	音域等の確認
2	10月9日	講義・演習	spreadの説明、実践、ローインターバルリミットの説明	音域等の確認
3	10月16日	講義・演習	トップラインからストリングスセクションを作成する。トップラ	講義で作ったものを DAWに打ち込み音で確認
4	10月23日	講義・演習	出来たトップラインに対して2,3,4声目をハーモナイズする	講義で作ったものを DAWに打ち込み音で確認
5	10月30日	講義・演習	strings sectionをdaw上でシミュレーションする際のテクニッ	自分の曲で実践する
6	11月6日	講義・演習	strings sectionまとめ 編成人数による音の違い、生レック	自分の曲で実践する
7	11月13日	講義・演習	本チャンでのvocal recの流れ、ディレクションの仕方、セレク	自分の曲で実践する
8	11月20日	講義・演習	テイクのトリートメント、ピッチ修正、コーラスパートのトリ	自分の曲で実践する
9	11月27日	講義・演習	コーラスアレンジ	自分の曲で実践する
10	12月4日	講義・演習	ドラムパートの打ち込みテクニックの説明、実践	自分の曲で実践する
11	12月11日	講義・演習	ベースパートの打ち込みテクニックの説明、実践	自分の曲で実践する
12	12月18日	講義・演習	楽器ダビングの際のディレクション、譜面の書き方等	自分の曲で実践する
13	1月15日	講義・演習	課題の作成	データの整理
14	1月29日	講義・演習	イベントを通して楽曲制作を学ぶ	自分の曲で実践する
15	2月5日	講義・演習	イベントを通して楽曲制作を学ぶ	自分の曲で実践する
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Pre-production seminar(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	勝守理 深井誠
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)		
教員の略歴	アレンジ:古澤巖、平沼有梨、Meg with Sweep、巨峯夫 レコーディング:Kra 作曲:騰訊や網易などの中国ゲーム						
授業の学習 内容	プロの作曲家として必要なプリプロを作るために必要なスキルを習得する授業。プリプロダクションゼミ(コンペコース)を補完するような授業。プロの作曲家やエンジニアとして活躍できる人材になる。						
到達目標	機材の名前や機能を把握しプリプロRoomを使えるようになる。楽曲のデモ(ベーシックアレンジまで)ができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	授業内容と意義を理解する/コンペコースに行くか特訓コースに行くか決める	デモ音源をボイスレコーダーで作ってくる
2	5月9日	講義・演習	プリプロRoomに設置されている機材に関する基礎的な理解とマナーに関する理解を得られる/メロディーを聴き取りDAWに打ち込むことができる	授業内に終わらなかったデータの作成
3	5月16日	講義・演習	基礎的なシンセサイザーのしくみを理解できるようになる/メロディーに対し簡単なリズムを打ち込むことができる(クオンタイズ、ベロシティ)	Miniテスト/授業内に終わらなかったデータの作成
4	5月23日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク/コンペコースに行くか特訓コースに行くか決める	授業内に終わらなかったデータの作成
5	5月30日	講義・演習	DAWについての基礎知識を理解することができる/ループの組み合わせで音楽を作ることができるようになる	授業内に終わらなかったデータの作成
6	6月6日	講義・演習	DAW周りの機材や配線を理解することができる/バックトラックに対してメロディーをつけることができるようになる	授業内に終わらなかったデータの作成
7	6月13日	講義・演習	デジタルの機材や配線、設定などを理解することができる/状況に合わせてメロディーやトラックを変更することができる	Miniテスト/授業内に終わらなかったデータの作成
8	6月20日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク/コンペコースに行くか特訓コースに行くか決める	Miniテスト
9	6月27日	講義・演習	基礎的なエフェクターの仕組みと使いかたを理解できる(コンプ、EQ)/ドラムの打ち込みができるようになる	授業内に終わらなかったデータの作成
10	7月4日	講義・演習	基礎的なエフェクターの仕組みと使いかたを理解できる(リバブ、ディレイ)/ベースの打ち込みができるようになる	授業内に終わらなかったデータの作成
11	7月11日	講義・演習	ピアノの打ち込み/完成したデモ楽曲を視聴して足りないところを理解する	Miniテスト/授業内に終わらなかったデータの作成
12	7月18日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク/チーム決め	作詞・作曲・録音・ミックス作業課題の提出
13	8月22日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク	作詞・作曲・録音・ミックス作業課題の提出
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Pre-production seminar(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	勝守理 深井誠
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)		
教員の略歴	アレンジ:古澤巖、平沼有梨、Meg with Sweep、巨肇夫 レコーディング:Kra 作曲:騰訊や網易などの中国ゲーム						
授業の学習 内容	プロの作曲家として必要なプリプロを作るために必要なスキルを習得する授業。プリプロダクションゼミ(コンペコース)を補完するような授業。プロの作曲家やエンジニアとして活躍できる人材になる。						
到達目標	発注書や映像など制約がある中で楽曲を作ることができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	アナログシンセの仕組みを理解できる(VCO,VCF,VCA)/シ	授業内に出来上がったものを視聴しそれぞれに対し目標を
2	10月10日	講義・演習	アナログシンセの仕組みを理解できる(ADSR,LFO,Matrix,e	授業内に出来上がったものを視聴しそれぞれに対し目標を
3	10月17日	講義・演習	DAWでシンセのオートメーションを書くことができる/出来上	授業内に出来上がったものを視聴しそれぞれに対し目標を
4	10月24日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク/コンペコースに行くか特訓コ	サウンドロゴを作ってくる(素材3パターン)
5	10月31日	講義・演習	出来上がったサウンドロゴを聴いて足りないところを理解で	映像につける音楽を作ってくる
6	11月7日	講義・演習	出来上がった楽曲を聴いて足りないところを理解できる/発	発注書にあった音楽を作ってくる
7	11月14日	講義・演習	出来上がった楽曲を聴いて足りないところを理解できる/ゲ	ゲーム映像にあった音楽を作ってくる
8	11月21日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク/コンペコースに行くか特訓コ	授業内で配布した資料の確認
9	11月28日	講義・演習	Mixをするための前準備、セッティング、心構えを理解でき	自分なりのミックスを作ってくる
10	12月5日	講義・演習	ミックスを視聴足りないところを理解できるようになる/音調	2曲ミックスをしてくる
11	12月12日	講義・演習	マスタリングとは何か理解することができる/ミックスでどの	1曲ミックスしてくる
12	12月19日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク/チーム決め	作詞・作曲・録音・ミックス作業課題の提出
13	1月9日	講義・演習	クライアントの評価とリテイク	作詞・作曲・録音・ミックス作業課題の提出
14	1月16日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
15	1月30日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Real World Recording Project(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	田中実
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)		
教員の略歴	レコーディングエンジニア。スタジオシャングリラ、スタジオICCを経てフリーランスに。SHANGRI-LA.inc 所属						
授業の学習 内容	プロのレコーディングエンジニアになる為に必要なミキシングコンソール、PROTOOLSなどの基本的な使い方を覚える。頭にいれるだけではなく、体が覚えるまで反復練習を繰り返し行い技術を習得する。						
到達目標	プロのレコーディングエンジニアとして就職を目指し、まずはアシスタント業務を円滑に行えるようになるまでの操作技術とコミュニケーション能力を養う。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	前期の復習	
2	4月24日	講義・演習	管楽器などの録音①	前授業の復習をしておく
3	5月8日	講義・演習	前週のEDITとMIX	前授業の復習をしておく
4	5月15日	講義・演習	管楽器などの録音②	前授業の復習をしておく
5	5月22日	講義・演習	前週のEDITとMIX	前授業の復習をしておく
6	5月29日	講義・演習	管楽器などの録音③	前授業の復習をしておく
7	6月5日	講義・演習	前週のEDITとMIX	前授業の復習をしておく
8	6月12日	講義・演習	サラウンドミックス	前授業の復習をしておく
9	6月19日	講義・演習	MA MIX	前授業の復習をしておく
10	6月26日	講義・演習	バンド録音	前授業の復習をしておく
11	7月3日	講義・演習	ダビング	前授業の復習をしておく
12	7月10日	講義・演習	ミックス	前授業の復習をしておく
13	8月21日	講義・演習	実技試験対策①	前授業の復習をしておく
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して音楽制作を学ぶ	前授業の復習をしておく
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して音楽制作を学ぶ	前授業の復習をしておく
準備学習 時間外学習			授業の前は前回の復習をしておく。パソコンを持っている人は家でもProtoolsを使ってみる。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Real World Recording Project(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	田中美
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)		
教員の略歴	レコーディングエンジニア。スタジオシャングリラ、スタジオICCを経てフリーランスに。SHANGRI-LA.inc 所属						
授業の学習 内容	プロのレコーディングエンジニアになる為に必要なミキシングコンソール、PROTOOLSなどの基本的な使い方を覚える。頭にいれるだけではなく、体が覚えるまで反復練習を繰り返し行い技術を習得する。						
到達目標	プロのレコーディングエンジニアとして就職を目指し、まずはアシスタント業務を円滑に行えるようになるまでの操作技術とコミュニケーション能力を養う。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	GC スタジオの機材の使い方 Duality①	前期授業の復習をしておく
2	10月9日	講義・演習	GC スタジオの機材の使い方 Duality②	前授業の復習をしておく
3	10月16日	講義・演習	GC スタジオの機材の使い方 Duality③	前授業の復習をしておく
4	10月23日	講義・演習	GCスタジオでのバンド録音のセッティング①	前授業の復習をしておく
5	10月30日	講義・演習	GCスタジオでのバンド録音のセッティング②	前授業の復習をしておく
6	11月6日	講義・演習	楽器ダビングでProtools オペレーションの練習①	前授業の復習をしておく
7	11月13日	講義・演習	楽器ダビングでProtools オペレーションの練習②	前授業の復習をしておく
8	11月20日	講義・演習	楽器によるマイク変化の実験	前授業の復習をしておく
9	11月27日	講義・演習	バンドレコーディング	前授業の復習をしておく
10	12月4日	講義・演習	バンドレコーディング	前授業の復習をしておく
11	12月11日	講義・演習	EDITとMIX作業①	前授業の復習をしておく
12	12月18日	講義・演習	EDITとMIX作業②	前授業の復習をしておく
13	1月15日	講義・演習	1年間の復習	前授業の復習をしておく
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して音楽制作を学ぶ	前授業の復習をしておく
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して音楽制作を学ぶ	前授業の復習をしておく
準備学習 時間外学習			授業の前は前回の復習をしておく。パソコンを持っている人は家でもProtoolsを使ってみる。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	音楽制作概論(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	勝田修平
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	原盤制作ディレクター、アレンジャー、マニピュレーターとして活動						
授業の学習 内容	卒業制作CDの企画、制作を通じコンセプトワークの重要性を学び、明確な目的、目標を持った制作作業につなげる。						
到達目標	過去2年間で習得した、制作作業の正確さ、緻密さ、制作スピードに加えコンセプトワークを基礎とし、音楽制作者として「ブレのない」作品作りを可能とする総合的な音楽制作能力を習得する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	年度末までの目標設定/グループ分け	ワークシート
2	4月24日	講義・演習	制作コンセプト、サウンドコンセプトのチェック	ワークシート
3	5月8日	講義・演習	企画書作成の基礎知識	ワークシート
4	5月15日	講義・演習	グループ毎に企画書のチェック	ワークシート
5	5月22日	講義・演習	制作報告M-ティング(メロディー編)	ワークシート
6	5月29日	講義・演習	制作報告M-ティング(アレンジ編)	ワークシート
7	6月5日	講義・演習	制作報告M-ティング(Edit編)	ワークシート
8	6月12日	講義・演習	制作報告M-ティング(スコア編)	ワークシート
9	6月19日	講義・演習	制作報告M-ティング(歌詞編)	ワークシート
10	6月26日	講義・演習	制作報告M-ティング(構成編)	ワークシート
11	7月3日	講義・演習	制作報告M-ティング(Mix編)	ワークシート
12	7月10日	講義・演習	制作報告M-ティング(マスタリング編)	ワークシート
13	8月21日	講義・演習	前期総括と後期目標提示	ワークシート
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して音楽制作を学ぶ	ワークシート
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して音楽制作を学ぶ	ワークシート
準備学習 時間外学習			現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	音楽制作概論(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	勝田修平
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	原盤制作ディレクター、アレンジャー、マニピュレーターとして活動						
授業の学習 内容	前期同様「卒業制作CDの企画、制作を通じコンセプトワークの重要性を学び、明確な目的、目標を持った制作作業につなげる。」に加えコンセプトワークに基づいたビジュアル制作を含め習得する。						
到達目標	前半は楽曲制作、スタジオワークが中心となるが、年末よりCDパッケージ制作に以降する。 音楽制作者としてビジュアル面も含め、「ブレのない」作品作りを可能とする総合的な音楽制作能力を習得する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	後期の目標提示と各締切の確認	ワークシート
2	10月9日	講義・演習	制作報告M-ティング(曲タイトル編)	ワークシート
3	10月16日	講義・演習	制作報告M-ティング(アルバムタイトル編)	ワークシート
4	10月23日	講義・演習	制作報告M-ティング(曲毎のクレジット編)	ワークシート
5	10月30日	講義・演習	制作報告M-ティング(トータルクレジット編)	ワークシート
6	11月6日	講義・演習	制作報告M-ティング(ビジュアル編)	ワークシート
7	11月13日	講義・演習	グループ毎にマスターデータの確認	ワークシート
8	11月20日	講義・演習	グループ毎にブックレットデータの確認	ワークシート
9	11月27日	講義・演習	グループ毎にバックカバーデータの確認	ワークシート
10	12月4日	講義・演習	グループ毎にデザインデータの確認	ワークシート
11	12月11日	講義・演習	グループ毎にデザインデータの入稿	ワークシート
12	12月18日	講義・演習	グループ毎にレーベルデータの確認	ワークシート
13	1月15日	講義・演習	グループ毎にパッケージ作業	ワークシート
14	1月29日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して音楽制作を学ぶ	ワークシート
15	2月5日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して音楽制作を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習			現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Media Creative Project(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	染川富和 下河達也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	150 (10単位)		
教員の略歴	染川富和→多くのレコーディング制作に携わる。作詞、作曲、編曲家のマネージメント。 下河達也→一口坂スタジオにて数々のアーティストのレコーディングに携わる						
授業の学習 内容	チームごとにCDの企画を考え企画書を作成、講師へプレゼンテーションを重ね内容構築して行く。 1年かけて楽曲制作、レコーディング、ジャケット制作、マスタリングを行い3年間学んだ成果の集大成としてオリジナルCDを作り上げる。						
到達目標	各生徒個別の役割(作家、編曲家、ミュージシャン、プロデューサー、マネージャーなど)に沿った実践的な制作体験をもとに卒業後、社会人として働くプロの現場で対応できる企画書・プレゼン能力・作品制作力を身につける。						
評価方法 基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	テーマ考案 企画書の作り方を学ぶ	レポート
2	4月28日	講義・演習	プレゼンテーションのためのPPTを学ぶ	レポート
3	5月12日	講義・演習	企画書作成 骨組みを考える	企画テーマに基づき企画書の作成
4	5月19日	講義・演習	企画書作成 動機づけを考える	企画テーマに基づき企画書の作成
5	5月26日	講義・演習	企画書作成 道筋を考える	企画テーマに基づき企画書の作成
6	6月2日	講義・演習	プレゼンテーションを実際に行う	企画テーマに基づき企画書の作成
7	6月9日	講義・演習	曲作りのためのチーム分けを行う	REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
8	6月16日	講義・演習	REC準備を行い、制作スケジュールを組む	曲作り、RECスタッフ、音楽家の手配など
9	6月23日	講義・演習	作詞を考える	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
10	6月30日	講義・演習	作曲を考える	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
11	7月7日	講義・演習	プレゼンテーションを実際に行う	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
12	7月14日	講義・演習	擬似レコーディングを行う	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
13	8月25日	講義・演習	擬似ミックスを行う	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通して音源制作を学ぶ	レポートの提出
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して音源制作を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Media Creative Project(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	染川富和 下河達也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	150 (10単位)		
教員の略歴	染川富和→多くのレコーディング制作に携わる。作詞、作曲、編曲家のマネージメント。 下河達也→一口坂スタジオにて数々のアーティストのレコーディングに携わる						
授業の学習 内容	【卒業制作】3年間学んだ集大成CDを作る授業。 チームごとにCDの企画を考え企画書を作成、講師へプレゼンテーションを重ね内容構築して行く。 1年かけて楽曲制作、レコーディング、ジャケット制作、マスタリングを行い3年間学んだ成果の集大成としてオリジナルCDを作り上げる。						
到達目標	各生徒個別の役割(作家、編曲家、ミュージシャン、プロデューサー、マネージャーなど)に沿った実践的な制作体験をもとに卒業後、社会人として働くプロの現場で対応できる企画書・プレゼン能力・作品制作力を身につける。						
評価方法 基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	レコーディングを行う Vo	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
2	10月13日	講義・演習	レコーディングを行う Gt	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
3	10月20日	講義・演習	レコーディングを行う Ba	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
4	10月27日	講義・演習	レコーディングを行う Dr	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
5	11月3日	講義・演習	レコーディングを行う Key	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
6	11月17日	講義・演習	レコーディングを行う Cho	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
7	11月24日	講義・演習	レコーディングを行う Em	曲作り、REC準備、RECスタッフ、音楽家の手配など
8	12月1日	講義・演習	盤面デザインを考える	原盤音源の制作、ジャケットのデザイン
9	12月8日	講義・演習	楽曲イメージとデザインの相関性を学ぶ	原盤音源の制作、ジャケットのデザイン
10	12月15日	講義・演習	楽曲の統一性、一貫性を学ぶ	原盤音源の制作、ジャケットのデザイン
11	1月12日	講義・演習	マスタリングにおける一貫性について学ぶ	原盤音源の制作、ジャケットのデザイン
12	1月19日	講義・演習	マスタリングにおける音声修復について学ぶ	原盤音源の制作、ジャケットのデザイン
13	2月2日	講義・演習	マスタリングデータ、アートワークデータ納品を行う	原盤音源の制作、ジャケットのデザイン
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して音源制作を学ぶ	レポートの提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して音源制作を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Manipulate(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	野崎貴潤
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	シンセサイザープログラマーとして活動						
授業の学習 内容	近代の音楽制作,特に作編曲に於ける「音色」の重要性を鑑み,シンセサイザー・サンプラー・エフェクター等の電子楽器全般の音色制作の基礎を身につける.授業履修終了時には,思い描いた音色を自分で表現出来る様に知識・経験を身につけたい.						
到達目標	電子楽器全般とエフェクターのパラメータとその役割を学習し,リファレンスの音,イメージーションの中の音を表現出来る具体的な手法を身につける.						
評価方法と基準	筆記又は,実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	シンセサイザーとは何か?の概要を理解する	リファレンスになる音を収集する
2	4月24日	講義・演習	オシレータの波形の種類と特徴を理解する	リファレンスになる音を収集する
3	5月8日	講義・演習	Lo Pass Filterの特徴と使い方を実践する	リファレンスになる音を収集する
4	5月15日	講義・演習	Envelope Generatorのパラメータを実践する	リファレンスになる音を収集する
5	5月22日	講義・演習	音色(倍音)の時間的変化を付けられる様にする	リファレンスになる音を収集する
6	5月29日	講義・演習	音高の時間的変化を付けられる様にする	リファレンスになる音を収集する
7	6月5日	講義・演習	音高の周期的変化を付けられる様にする	リファレンスになる音を収集する
8	6月12日	講義・演習	音色の周期的変化を付けられる様にする	リファレンスになる音を収集する
9	6月19日	講義・演習	音量の周期的変化を付けられる様にする	リファレンスになる音を収集する
10	6月26日	講義・演習	Detune効果を使った厚みのある音作りを実践する	リファレンスになる音を収集する
11	7月3日	講義・演習	音程感の無い音の音作りを実践する	リファレンスになる音を収集する
12	7月10日	講義・演習	単音楽器ならではの表現が出来る様になる	リファレンスになる音を収集する
13	8月21日	講義・演習	PWMとサブオシレータを使いこなせる様になる	リファレンスになる音を収集する
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して音色制作を学ぶ	実践する楽曲に作成した音色を当てはめる
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して音色制作を学ぶ	実践する楽曲に作成した音色を当てはめる
準備学習 時間外学習			参考になる音色を探し出してリファレンスとし,実践で作成する準備をする	
【使用教科書・教材・参考書】				
シンセサイザーテクニック99				

科目名	Manipulate(6)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	野崎貴潤
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	シンセサイザープログラマーとして活動						
授業の学習 内容	近代の音楽制作,特に作編曲に於ける「音色」の重要性を鑑み,シンセサイザー・サンプラー・エフェクター等の電子楽器全般の音色制作の基礎を身につける.授業履修終了時には,思い描いた音色を自分で表現出来る様に知識・経験を身につけたい.						
到達目標	電子楽器全般とエフェクターのパラメータとその役割を学習し,リファレンスの音,イメージーションの中の音を表現出来る具体的な手法を身につける.						
評価方法と基準	筆記又は,実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	SuperSawの作り方と実践を学ぶ	リファレンスになる音を収集する
2	10月9日	講義・演習	HPF&BPFの仕組みと実践が出来る	リファレンスになる音を収集する
3	10月16日	講義・演習	Oscillator Syncの仕組みと実践が出来る	リファレンスになる音を収集する
4	10月23日	講義・演習	Ring Modulationの仕組みと実践が出来る	リファレンスになる音を収集する
5	10月30日	講義・演習	Matrixによるフレーズ作成が出来る	リファレンスになる音を収集する
6	11月6日	講義・演習	リアルタイム・コントロールが出来る	リファレンスになる音を収集する
7	11月13日	講義・演習	Vocoderの仕組みと実践が出来る	リファレンスになる音を収集する
8	11月20日	講義・演習	Samplerの概念を知り基本的な使い方が出来る	リファレンスになる音を収集する
9	11月27日	講義・演習	エフェクターの概要を知り,基本的な効果を掛けられる	リファレンスになる音を収集する
10	12月4日	講義・演習	Delayの基本操作がいき,応用的な使い方が出来る	リファレンスになる音を収集する
11	12月11日	講義・演習	ダブリング系の効果を実践出来る	リファレンスになる音を収集する
12	12月18日	講義・演習	Delayを利用したフレーズ作成が出来る	リファレンスになる音を収集する
13	1月15日	講義・演習	Compressorの基本的な使い方が出来る	リファレンスになる音を収集する
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して音色制作を学ぶ	実践する楽曲に作成した音色を当てはめる
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して音色制作を学ぶ	実践する楽曲に作成した音色を当てはめる
準備学習 時間外学習			参考になる音色を探し出してリファレンスとし,実践で作成する準備をする	
【使用教科書・教材・参考書】				
シンセサイザーテクニック99				

科目名	creation (5) creation A (5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	櫻井郁也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	舞踊家。日大芸術学部卒業後、コンテンポラリーダンスを中心にダンサー、振付、演出などの立場で舞台活動を重ねる。ポルトガル、ルクセンブルグほか海外公演、国内芸術祭への参加、NHK振付など作品多数。						
授業の学習 内容	①舞台出演者としての確に行動でき、ダンス創作者および舞台制作者としての具体的な作業を実践できるようになる ②全実技科目を実際の作品制作に活用し個々の能力に結びつける ③パフォーマンスで思いを伝えるため、コミュニケーション能力を高め協力しあって作業ができるようになる。 ④振付やグループワークの実践。学内パフォーマンス(オンラインイベント・映像制作など含む)を計画実践する。 後期には進級制作における作品創造・発表・出演を通じて集団制作や舞台作業への適応性を高める。						
到達目標	ダンス作品やイベントの企画と実行ができ、舞台出演者としての確な行動ができるようになる。また、プレゼン能力とステージ運営能力の基礎を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	①授業の解説と計画 ②作品づくりと舞台制作についてのガイダンス～自己紹介 ③ イベントイメージを決める(どんな作品をいつ作るか)	作品づくりのグループをある程度考えておく できれば作品のイメージング
2	4月24日	講義・演習	コンセプトメイキング～作品づくり開始	作品づくりのグループをある程度考えておく できれば作品のイメージング
3	5月8日	講義・演習	作品プレゼン(学年別)★作品はこの時点でのプレゼンテーション通過で創作スタート。	プレゼン準備
4	5月15日	講義・演習	作品づくり(本振付)スタート	グループ組み
5	5月22日	講義・演習	各作品の細部指導/イベントの企画進行	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
6	5月29日	講義・演習	各作品の細部指導	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
7	6月5日	講義・演習	各作品の細部指導	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
8	6月12日	講義・演習	仮通し=イベント構成と指導	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
9	6月19日	講義・演習	止め通し	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
10	6月26日	講義・演習	作品の修正	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
11	7月3日	講義・演習	前期最終リハーサル ※2年も一緒・稽古内容は直前に決定	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
12	7月10日	講義・演習	前期イベントの本番(日程等は仮)	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
13	8月21日	講義・演習	前期総括～後期作品(We are TSM進級・卒制)の構想を始める	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して創作と実演の初歩を学ぶ	レポートの提出
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して創作と実演の初歩を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどで色々な作品を鑑賞し自身の引き出しを増やす	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ、タオル、筆記用具、衣装等				

科目名	creation (5) creation B (5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	櫻井郁也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	舞踊家。日大芸術学部卒業後、コンテンポラリーダンスを中心にダンサー、振付、演出などの立場で舞台活動を重ねる。ポルトガル、ルクセンブルグほか海外公演、国内芸術祭への参加、NHK振付など作品多数。						
授業の学習 内容	①舞台出演者としての確に行動でき、ダンス創作者および舞台制作者としての具体的な作業を実践できるようになる ②全実技科目を実際の作品制作に活用し個々の能力に結びつける ③パフォーマンスで思いを伝えるため、コミュニケーション能力を高め協力しあって作業ができるようになる。 ④振付やグループワークの実践。学内パフォーマンス(オンラインイベント・映像制作など含む)を計画実践する。 後期には進級制作における作品創造・発表・出演を通じて集団制作や舞台作業への適応性を高める。						
到達目標	ダンス作品やイベントの企画と実行ができ、舞台出演者としての確な行動ができるようになる。また、プレゼン能力とステージ運営能力の基礎を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	①授業の解説と計画 ②作品づくりと舞台制作についてのガイダンス～自己紹介 ③ イベントイメージを決める(どんな作品をいつ作るか)	作品づくりのグループをある程度考えておく できれば作品のイメージング
2	4月24日	講義・演習	コンセプトメイキング～作品づくり開始	作品づくりのグループをある程度考えておく できれば作品のイメージング
3	5月8日	講義・演習	作品プレゼン(学年別)★作品はこの時点でのプレゼンテーション通過で創作スタート。	プレゼン準備
4	5月15日	講義・演習	作品づくり(本振付)スタート	グループ組み
5	5月22日	講義・演習	各作品の細部指導/イベントの企画進行	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
6	5月29日	講義・演習	各作品の細部指導	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
7	6月5日	講義・演習	各作品の細部指導	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
8	6月12日	講義・演習	仮通し=イベント構成と指導	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
9	6月19日	講義・演習	止め通し	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
10	6月26日	講義・演習	作品の修正	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
11	7月3日	講義・演習	前期最終リハーサル ※2年も一緒・稽古内容は直前に決定	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
12	7月10日	講義・演習	前期イベントの本番(日程等は仮)	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
13	8月21日	講義・演習	前期総括～後期作品(We are TSM進級・卒制)の構想を始める	毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して創作と実演の初歩を学ぶ	レポートの提出
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して創作と実演の初歩を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどで色々な作品を鑑賞し自身の引き出しを増やす	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ、タオル、筆記用具、衣装等				

科目名	creation (6) creation A (6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	櫻井郁也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	舞踊家。日大芸術学部卒業後、コンテンポラリーダンスを中心にダンサー、振付、演出などの立場で舞台活動を重ねる。ポルトガル、ルクセンブルグほか海外公演、国内芸術祭への参加、NHK振付など作品多数。						
授業の学習 内容	①舞台出演者としての確に行動でき、ダンス創作者および舞台制作者としての具体的な作業を実践できるようになる ②全実技科目を実際の作品制作に活用し個々の能力に結びつける ③パフォーマンスで思いを伝えるため、コミュニケーション能力を高め協力しあって作業ができるようになる。 ④振付やグループワークの実践。学内パフォーマンス(オンラインイベント・映像制作など含む)を計画実践する。 後期には進級制作における作品創造・発表・出演を通じて集団制作や舞台作業への適応性を高める。						
到達目標	ダンス作品やイベントの企画と実行ができ、舞台出演者としての確な行動ができるようになる。また、プレゼン能力とステージ運営能力の基礎を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	後期の進行ガイダンス ~ 作品づくりの続き	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
2	10月9日	講義・演習	作品づくり	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
3	10月16日	講義・演習	作品づくり	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
4	10月23日	講義・演習	We are企画づくり、作品づくり	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
5	10月30日	講義・演習	We are 企画進行、作品づくりツメ	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
6	11月6日	講義・演習	We are 全体像ツメ	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
7	11月13日	講義・演習	作品のつくりこみ、シーン繋ぎ、メンバー整理など	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
8	11月20日	講義・演習	舞台構成、演出作業(舞台の流れをつくる)	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
9	11月27日	講義・演習	舞台構成、演出作業(細部の直し)	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
10	12月4日	講義・演習	We are TSM 仮通し	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
11	12月11日	講義・演習	We are TSM 仮通し	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
12	12月18日	講義・演習	We are TSM 直前指導	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
13	1月15日	講義・演習	We are TSM 直前指導(細部の確認)	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して創作と実演の基礎を学ぶ	レポートの提出
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して創作と実演の基礎を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどで色々な作品を鑑賞し自身の引き出しを増やす	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ、タオル、筆記用具、衣装等				

科目名	creation (6) creation B (6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	櫻井郁也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	舞踊家。日大芸術学部卒業後、コンテンポラリーダンスを中心にダンサー、振付、演出などの立場で舞台活動を重ねる。ポルトガル、ルクセンブルグほか海外公演、国内芸術祭への参加、NHK振付など作品多数。						
授業の学習 内容	①舞台出演者としての確に行動でき、ダンス創作者および舞台制作者としての具体的な作業を実践できるようになる ②全実技科目を実際の作品制作に活用し個々の能力に結びつける ③パフォーマンスで思いを伝えるため、コミュニケーション能力を高め協力しあって作業ができるようになる。 ④振付やグループワークの実践。学内パフォーマンス(オンラインイベント・映像制作など含む)を計画実践する。 後期には進級制作における作品創造・発表・出演を通じて集団制作や舞台作業への適応性を高める。						
到達目標	ダンス作品やイベントの企画と実行ができ、舞台出演者としての確な行動ができるようになる。また、プレゼン能力とステージ運営能力の基礎を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	後期の進行ガイダンス ~ 作品づくりの続き	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
2	10月9日	講義・演習	作品づくり	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
3	10月16日	講義・演習	作品づくり	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
4	10月23日	講義・演習	We are企画づくり、作品づくり	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
5	10月30日	講義・演習	We are 企画進行、作品づくりツメ	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
6	11月6日	講義・演習	We are 全体像ツメ	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
7	11月13日	講義・演習	作品のつくりこみ、シーン繋ぎ、メンバー整理など	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
8	11月20日	講義・演習	舞台構成、演出作業(舞台の流れをつくる)	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
9	11月27日	講義・演習	舞台構成、演出作業(細部の直し)	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
10	12月4日	講義・演習	We are TSM 仮通し	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
11	12月11日	講義・演習	We are TSM 仮通し	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
12	12月18日	講義・演習	We are TSM 直前指導	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
13	1月15日	講義・演習	We are TSM 直前指導(細部の確認)	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して創作と実演の基礎を学ぶ	レポートの提出
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して創作と実演の基礎を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどで色々な作品を鑑賞し自身の引き出しを増やす	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ、タオル、筆記用具、衣装等				

科目名	音楽ビジネスA&R概論(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	藤崎昌弘
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	音楽大学卒業後、A&R、原版制作ディレクター、アレンジャー、サウンドプロデューサーとして勤務。木梨憲武のA&R、コンサート制作以外に、MYNAME、Ryu Siwon、Block B等のK-POPのA&R、コンサート制作を数多くの手がける。						
授業の学習 内容	音楽ビジネスに関わる仕事とはどういうものがあるか。この科目を受講する学生は、音楽業界の様々な仕事がどういうものであるかということを理解し、これまでイメージしてきた音楽業界というものとの違いを意識させる。そういった中で、どのような考え方や能力が求められることを意識できるようにし、「音楽業界」において働くとはどういう意義を持ち、どのような人間的資質が求められており、評価されるのかを理解できるようになるのがねらいである。						
到達目標	本科目では、何気なく呆然とイメージしていた「音楽業界」というものに対してより具体的に、職種を紹介や説明、どのような役割があるのかを可能な限り理解ができるようにする。そういった中で、日々活動している社会の中で自分を位置付けること、業種・企業・職種を自分の適性や興味・関心と結びつけて理解すること、社会にでてから活動するために必要な能力を具体的にイメージすること、社会や組織で協働することの重要性を理解することなどができるようになることを目標にしている。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	音楽業界について全体を理解する	授業後読レポート課題
2	4月24日	講義・演習	レコード会社の業務について理解する	授業後読レポート課題
3	5月8日	講義・演習	プロダクションの業務について理解する	授業後読レポート課題
4	5月15日	講義・演習	コンサートに関わる業務について理解する	授業後読レポート課題
5	5月22日	講義・演習	レコーディング、楽曲制作の業務について理解する	授業後読レポート課題
6	5月29日	講義・演習	A&Rについて理解する	授業後読レポート課題
7	6月5日	講義・演習	プロモーターについて理解する	授業後読レポート課題
8	6月12日	講義・演習	販促について理解する	授業後読レポート課題
9	6月19日	講義・演習	マネージャーについて理解する	授業後読レポート課題
10	6月26日	講義・演習	プロデューサーについて理解する	授業後読レポート課題
11	7月3日	講義・演習	コンサート制作について理解する	授業後読レポート課題
12	7月10日	講義・演習	K-POPを中心とした海外アーティストの仕組みについて理解する	授業後読レポート課題
13	8月21日	講義・演習	全体のまとめ	授業後読レポート課題
14	8月28日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してマネジメントを学ぶ	レポートの提出
15	9月4日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してマネジメントを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	音楽ビジネスA&R概論(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	藤崎昌弘
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	音楽大学卒業後、A&R、原版制作ディレクター、アレンジャー、サウンドプロデューサーとして勤務。木梨憲武のA&R、コンサート制作以外に、MYNAME、Ryu Siwon、Block B等のK-POPのA&R、コンサート制作を数多くの手がける。						
授業の学習 内容	音楽ビジネスに関わる仕事とはどういうものがあるか。この科目を受講する学生は、音楽業界の様々な仕事がどういうものであるかということを理解し、これまでイメージしてきた音楽業界というものとの違いを意識させる。そういった中で、どのような考え方や能力が求められることを意識できるようにし、「音楽業界」において働くとはどういう意義を持ち、どのような人間的資質が求められており、評価されるのかを理解できるようになるのがねらいである。						
到達目標	本科目では、何気なく呆然とイメージしていた「音楽業界」というものに対してより具体的に、職種を紹介や説明、どのような役割があるのかを可能な限り理解ができるようにする。そういった中で、日々活動している社会の中で自分を位置付けること、業種・企業・職種を自分の適性や興味・関心と結びつけて理解すること、社会にでてから活動するために必要な能力を具体的にイメージすること、社会や組織で協働することの重要性を理解することなどができるようになることを目標にしている。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	前期の授業を復習し、理解を深める	授業後読レポート課題□
2	10月9日	講義・演習	レコード会社を中心とした業種と企業について理解する	授業後読レポート課題□
3	10月16日	講義・演習	プロダクションを中心に業種と企業について理解する	授業後読レポート課題□
4	10月23日	講義・演習	メジャーとインディーズの違いについて理解する	授業後読レポート課題□
5	10月30日	講義・演習	インディーズの成功例を研究して、理解を深める	授業後読レポート課題□
6	11月6日	講義・演習	ファンクラブについて理解する	授業後読レポート課題□
7	11月13日	講義・演習	ミュージックビデオの制作について理解する	授業後読レポート課題□
8	11月20日	講義・演習	アートワーク(アーティスト写真、アルバムジャケット)の制作について理解する	授業後読レポート課題□
9	11月27日	講義・演習	歌番組などのTVの流れについて理解する	授業後読レポート課題□
10	12月4日	講義・演習	近年K-POPや、中国方面のワールドワイドのアーティストが増える中、そこに関わるビジネスについて理解する	授業後読レポート課題□
11	12月11日	講義・演習	実際に配信をリリースするにはどのような流れで進めていくかを理解し、シミュレーションする①	授業後読レポート課題□
12	12月18日	講義・演習	実際に配信をリリースするにはどのような流れで進めていくかを理解し、シミュレーションする②	授業後読レポート課題□
13	1月15日	講義・演習	全体のまとめ	授業後読レポート課題□
14	1月29日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してマネジメントを学ぶ	レポートの提出□
15	2月5日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してマネジメントを学ぶ	レポートの提出□
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	K-POP音楽ビジネスA&R概論(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	藤崎昌弘
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	音楽大学卒業後、A&R、原版制作ディレクター、アレンジャー、サウンドプロデューサーとして勤務。木梨憲武のA&R、コンサート制作以外に、MYNAME、Ryu Siwon、Block B等のK-POPのA&R、コンサート制作を数多くの手がける。						
授業の学習 内容	音楽ビジネスに関わる仕事とはどういうものがあるか。この科目を受講する学生は、音楽業界の様々な仕事がどういうものであるかということを理解し、これまでイメージしてきた音楽業界というものとの違いを意識させる。そういった中で、どのような考え方や能力が求められることを意識できるようにし、「音楽業界」において働くとはどういう意義を持ち、どのような人間的資質が求められており、評価されるのかを理解できるようになるのがねらいである。						
到達目標	本科目では、何気なく呆然とイメージしていた「音楽業界」というものに対してより具体的に、職種の紹介や説明、どのような役割があるのかを可能な限り理解ができるようにする。そういった中で、日々活動している社会の中で自分を位置付けること、業種・企業・職種を自分の適性や興味・関心と結びつけて理解すること、社会にでてから活動するために必要な能力を具体的にイメージすること、社会や組織で協働することの重要性を理解することなどができるようになることを目標にしている。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	音楽業界について全体を理解する	授業後読レポート課題
2	4月24日	講義・演習	レコード会社の業務について理解する	授業後読レポート課題
3	5月8日	講義・演習	プロダクションの業務について理解する	授業後読レポート課題
4	5月15日	講義・演習	コンサートに関わる業務について理解する	授業後読レポート課題
5	5月22日	講義・演習	レコーディング、楽曲制作の業務について理解する	授業後読レポート課題
6	5月29日	講義・演習	A&Rについて理解する	授業後読レポート課題
7	6月5日	講義・演習	プロモーターについて理解する	授業後読レポート課題
8	6月12日	講義・演習	販促について理解する	授業後読レポート課題
9	6月19日	講義・演習	マネージャーについて理解する	授業後読レポート課題
10	6月26日	講義・演習	プロデューサーについて理解する	授業後読レポート課題
11	7月3日	講義・演習	コンサート制作について理解する	授業後読レポート課題
12	7月10日	講義・演習	K-POPを中心とした海外アーティストの仕組みについて理解する	授業後読レポート課題
13	8月21日	講義・演習	全体のまとめ	授業後読レポート課題
14	8月28日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してマネジメントを学ぶ	レポートの提出
15	9月4日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してマネジメントを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	K'POP音楽ビジネスA&R概論(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	藤崎昌弘
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	音楽大学卒業後、A&R、原版制作ディレクター、アレンジャー、サウンドプロデューサーとして勤務。木梨憲武のA&R、コンサート制作以外に、MYNAME、Ryu Siwon、Block B等のK-POPのA&R、コンサート制作を数多くの手がける。						
授業の学習 内容	音楽ビジネスに関わる仕事とはどういうものがあるか。この科目を受講する学生は、音楽業界の様々な仕事がどういうものであるかということを理解し、これまでイメージしてきた音楽業界というものとの違いを意識させる。そういった中で、どのような考え方や能力が求められることを意識できるようにし、「音楽業界」において働くとはどういう意義を持ち、どのような人間的資質が求められており、評価されるのかを理解できるようになるのがねらいである。						
到達目標	本科目では、何気なく呆然とイメージしていた「音楽業界」というものに対してより具体的に、職種を紹介や説明、どのような役割があるのかを可能な限り理解ができるようにする。そういった中で、日々活動している社会の中で自分を位置付けること、業種・企業・職種を自分の適性や興味・関心と結びつけて理解すること、社会にでてから活動するために必要な能力を具体的にイメージすること、社会や組織で協働することの重要性を理解することなどができるようになることを目標にしている。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	前期の授業を復習し、理解を深める	授業後読レポート課題□
2	10月9日	講義・演習	レコード会社を中心とした業種と企業について理解する	授業後読レポート課題□
3	10月16日	講義・演習	プロダクションを中心に業種と企業について理解する	授業後読レポート課題□
4	10月23日	講義・演習	メジャーとインディーズの違いについて理解する	授業後読レポート課題□
5	10月30日	講義・演習	インディーズの成功例を研究して、理解を深める	授業後読レポート課題□
6	11月6日	講義・演習	ファンクラブについて理解する	授業後読レポート課題□
7	11月13日	講義・演習	ミュージックビデオの制作について理解する	授業後読レポート課題□
8	11月20日	講義・演習	アートワーク(アーティスト写真、アルバムジャケット)の制作について理解する	授業後読レポート課題□
9	11月27日	講義・演習	歌番組などのTVの流れについて理解する	授業後読レポート課題□
10	12月4日	講義・演習	近年K-POPや、中国方面のワールドワイドのアーティストが増える中、そこに関わるビジネスについて理解する	授業後読レポート課題□
11	12月11日	講義・演習	実際に配信をリリースするにはどのような流れで進めていくかを理解し、シミュレーションする①	授業後読レポート課題□
12	12月18日	講義・演習	実際に配信をリリースするにはどのような流れで進めていくかを理解し、シミュレーションする②	授業後読レポート課題□
13	1月15日	講義・演習	全体のまとめ	授業後読レポート課題□
14	1月29日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してマネジメントを学ぶ	レポートの提出□
15	2月5日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してマネジメントを学ぶ	レポートの提出□
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	プロダクションワーク(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松本明浩
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	マネジメント全業務、営業全般、スカウト、育成、社内新人育成等の業務を行う 現在は個人事務所を立ち上げマネジメントプロデュース業・キャスティング業・KPOP関連事業・イベント関連事業等に従事						
授業の学習 内容	芸能・エンタメ業界の役割、タレントの役割、マネジメント・事務所側の役割等、各テーマに沿って細かく掘り下げて話していく。又、世の中の動きや流行に応じて一般視聴者、消費者が求めるものを常に追求し作り上げていく事を自らが考えられるようにしていく。一人一人の創造力、感受性、思いやり、礼儀、コミュニケーション能力を培ってもらふ。タレント自身が活動する中で、なくてはならない存在のマネージャーの実際の経験談を交えながらも、毎月不定期で、各分野で活躍しているマネージャーの先輩や、各業界のクライアント、活躍されているゲストをお招きし、トーク形式で授業を行う。マネージャーだけではなく実際に現場研修も不定期で行い体験してもらふ。時代が変化していく中、芸能的な動きと、デジタルの動きの両方の「今」を一緒に考え、エンタメで働く苦悩や楽しみ、やりがい、人のために動く喜びを学んでもらいながらも、実践で役立つ動きや考え方を習得してもらい、「即戦力」として活躍できる人材を育てる。						
到達目標	①「インプット(興味・情報収集)」 芸能・エンタメ業界、又それだけに限らず、世の中の動向に興味を持ってもらう ②「夢と現実」 業界で働く上で実際に起こるそれぞれの「やりがいや喜び、苦悩や厳しさ」を知ってもらう ③「精神力」 外・内面的に自分磨きと努力が大事。仕事への覚悟と体力、強い精神力、忍耐力を養う ④「タレントについて」タレント発掘の仕方、育て方、接し方、戦略の立て方 ⑤「裏方の業務内容」芸能事務所、マネージャーの業務内容、営業や現場での心得・注意やトラブル対処法を知ってもらう ⑥「人間力」タレントもスタッフも、物じゃなく人を売る上で大切な「人間力」を学び、社会に貢献する立派な人材を育てる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	今のエンタメ業界について全体を知る	後日レポート提出
2	5月9日	講義・演習	海外のエンタメの現状について研究する	後日レポート提出
3	5月16日	講義・演習	ビジネス講座 ～名刺交換・電話・メール、etc～	後日レポート提出
4	5月23日	講義・演習	ゲスト講義① 大手広告代理店の経験談・現状把握	後日レポート提出
5	5月30日	講義・演習	SNSでのタレント発掘・スカウトの仕方を実践・自己表現・コミュ力をつける	後日レポート提出
6	6月6日	講義・演習	社内報告書の作成・契約書で注意することを学ぶ	後日レポート提出
7	6月13日	講義・演習	タレントの戦略・年間計画書の作成法を学ぶ	後日レポート提出
8	6月20日	講義・演習	ゲスト講義② 某芸能事務所マネージャーの経験談・現状把握	後日レポート提出
9	6月27日	講義・演習	タレントのコミュニケーション・育成のやり方を学ぶ	後日レポート提出
10	7月4日	講義・演習	現場での動き・気遣い・注意点・トラブル対処法を学ぶ	後日レポート提出
11	7月11日	講義・演習	台本読み(感性・想像力・キャスティング力等を身につける)①	事前映像資料鑑賞・後日レポート提出
12	7月18日	講義・演習	ゲスト講義③ 俳優担当マネージャーの経験談・現状把握	後日レポート提出
13	8月22日	講義・演習	前期内容振り返り・実践(先生:クライアント・タレント役/学生:マネージャー役)	テスト(プレゼン)
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してプロダクション業務を学ぶ	レポート
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通してプロダクション業務を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	プロダクションワーク(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松本明浩
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	マネジメント全業務、営業全般、スカウト、育成、社内新人育成等の業務を行う 現在は個人事務所を立ち上げマネジメントプロデュース業・キャスティング業・KPOP関連事業・イベント関連事業等に従事						
授業の学習 内容	芸能・エンタメ業界の役割、タレントの役割、マネジメント・事務所側の役割等、各テーマに沿って細かく掘り下げて話していく。又、世の中の動きや流行に応じて一般視聴者、消費者が求めるものを常に追求し作り上げていく事を自らが考えられるようにしていく。一人一人の創造力、感受性、思いやり、礼儀、コミュニケーション能力を培ってもらふ。タレント自身が活動する中で、なくてはならない存在のマネージャーの実際の経験談を交えながらも、毎月不定期で、各分野で活躍しているマネージャーの先輩や、各業界のクライアント、活躍されているゲストをお招きし、トーク形式で授業を行う。マネージャーだけではなく実際に現場研修も不定期で行い体験してもらふ。時代が変化していく中、芸能の動きと、デジタルの動きの両方の「今」を一緒に考え、エンタメで働く苦悩や楽しみ、やりがい、人のために動く喜びを学んでもらいながらも、実践で役立つ動きや考え方を習得してもらい、「即戦力」として活躍できる人材を育てる。						
到達目標	①「インプット(興味・情報収集)」 芸能・エンタメ業界、又それだけに限らず、世の中の動向に興味を持ってもらう ②「夢と現実」 業界で働く上で実際に起こるそれぞれの「やりがいや喜び、苦悩や厳しさ」を知ってもらう ③「精神力」 外・内面的に自分磨きと努力が大事。仕事への覚悟と体力、強い精神力、忍耐力を養う ④「タレントについて」タレント発掘の仕方、育て方、接し方、戦略の立て方 ⑤「裏方の業務内容」芸能事務所、マネージャーの業務内容、営業や現場での心得・注意やトラブル対処法を知ってもらう ⑥「人間力」タレントもスタッフも、物じゃなく人を売る上で大切な「人間力」を学び、社会に貢献する立派な人材を育てる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	アーティストマネジメントの現状について学ぶ	後日レポート提出
2	10月10日	講義・演習	今のファンビジネスについて学ぶ	後日レポート提出
3	10月17日	講義・演習	ゲスト講義③アーティスト担当マネージャーの経験談・現状把握	後日レポート提出
4	10月24日	講義・演習	SNS・YouTuber・インフルエンサーのマネージャーについて知る	後日レポート提出
5	10月31日	講義・演習	ゲスト講義④YouTuber・インフルエンサー・ライバーマネージャーの経験談・現状把握	後日レポート提出
6	11月7日	講義・演習	イベント企画・制作について学ぶ	後日レポート提出
7	11月14日	講義・演習	ゲスト講義④イベント制作会社社員の経験談・現状把握	後日レポート提出
8	11月21日	講義・演習	打ち合わせ・営業・撮影・イベント現場体験①	後日レポート提出
9	11月28日	講義・演習	打ち合わせ・営業・撮影・イベント現場体験②	後日レポート提出
10	12月5日	講義・演習	打ち合わせ・営業・撮影・イベント現場体験③	後日レポート提出
11	12月12日	講義・演習	打ち合わせ・営業・撮影・イベント現場体験④	事前映像資料鑑賞・後日レポート提出
12	12月19日	講義・演習	ゲスト講義⑤大手事務所社長の経験談・現状把握	後日レポート提出
13	1月9日	講義・演習	前期内容振り返り・実践(先生:クライアント・タレント役/学生:マネージャー役)	テスト(プレゼン)
14	1月16日	講義・演習	イベント実践を通してプロダクション業務を学ぶ	レポート
15	1月30日	講義・演習	イベント実践を通してプロダクション業務を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	マーケティング戦略論(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	黒須亮成
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	音楽・映像・イベントなどのエンターテインメント業界で15年以上マネジメントや制作のキャリアを持ちながら、マーケティングコンサルタントのジェイ・エイブラハム氏や小山竜央氏、経営コンサルタントのジェームス・スキナー氏らに師事。						
授業の学習 内容	①ビジネスにおいて、猛スピードで変化していく社会の波に乗っていくには、個人や企業がひとつひとつゼロからその分野を極めていく時間はありません。「良いものを作れば売れる」という時代ではなく、「売れる流れを作るスキル」がとて重要になってきます。その力を企業に頼りきらずに、個人でも磨いておくことが大切です。協力者を募り、チームをマネジメントし、新しい価値を創造し、マーケティングによって必要なところに必要なだけ届けていくことができる人を育てていきます。 ②マーケティングはすべての科目に大きく関係します。その科目のスキルをビジネスに展開し、継続的にお客様のニーズを満たすことができます。 ③マーケティングを学ぶことで、エンタメ業界に限らず、どの業界でも通用する原理原則があることを勉強します。世の中で起こっているさまざまな戦略の基本が理解できるようになり、自分がイメージしたアイデアを具現化でき、自己表現ができるようになります。具体的には、講義形式(座学)とグループワーク(演習)を中心に構成します。グループワークでは、エンタメ業界や日常生活にあるマーケティングを見つけ、みんなで考えをシェアし、どういう仕組みになっているか紐解いていきます。またマーケティング戦略に必要なコミュニケーションの勉強・体験もしていきます。学ぶことも大切にしなが、卒業後に即戦力となるように在学中から“実際にやってみる”ということに慣れるため、実践の場もあります。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ■シミュレーション体験によって、今まで知らない職種や視点を理解し、業界の全体像がわかるようになる。 ■マーケティング戦略を行う上でのコミュニケーションの大切さを理解できる。 ■身近にあるマーケティングの仕組みが理解できるようになる。 ■マーケティングを通して、エンターテインメント業界に限らず、一般企業のビジネスの全体像が理解できるようになる。 ■タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場が理解できるようになる。 ■ゼロから1を作る仕組みを理解できるようになる。 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	マーケティングの基本を理解し、なぜ重要なのかを知る	授業後のレポート課題
2	5月9日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してA&Rを学ぶ	授業後のレポート課題
3	5月16日	講義・演習	マーケティングの基本を理解し、なぜ重要なのかを知る	授業後のレポート課題
4	5月23日	講義・演習	プレゼンを学び、自分のプロフィール作成に着手し、自己表現できるようになる	授業後のレポート課題
5	5月30日	講義・演習	エンタメビジネスの全体像を理解できる	授業後のレポート課題
6	6月6日	講義・演習	ビジョンボード、やりたいことリスト100を作成し、目標を明確化できるようになる	授業後のレポート課題
7	6月13日	講義・演習	独自のウリ(USP)を学び、自分や商品のストロングポイントを理解できるようになる	授業後のレポート課題
8	6月20日	講義・演習	リスクリバーサルを学び、相手の立場にたった提案ができる	授業後のレポート課題
9	6月27日	講義・演習	ジョイントベンチャーを学び、業務提携という仕組みを理解する	授業後のレポート課題
10	7月4日	講義・演習	テレマーケティングを学び、どの業界でも通用するスキルを身につける	授業後のレポート課題
11	7月11日	講義・演習	SNSを使ったマーケティングを学び、仕組みを理解できるようになる	授業後のレポート課題
12	7月18日	講義・演習	筆記テスト	授業後のレポート課題
13	8月22日	講義・演習	テストの復習をして、応用を導き出せるようになる	授業後のレポート課題
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティング業務を学ぶ	レポート
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティング業務を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	マーケティング戦略論(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	黒須亮成
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	音楽・映像・イベントなどのエンターテインメント業界で15年以上マネジメントや制作のキャリアを持ちながら、マーケティングコンサルタントのジェイ・エイブラハム氏や小山竜央氏、経営コンサルタントのジェームス・スキナー氏らに師事。						
授業の学習 内容	①ビジネスにおいて、猛スピードで変化していく社会の波に乗っていくには、個人や企業がひとつひとつゼロからその分野を極めていく時間はありません。「良いものを作れば売れる」という時代ではなく、「売れる流れを作るスキル」がとて重要になってきます。その力を企業に頼りきらずに、個人でも磨いておくことが大切です。協力者を募り、チームをマネジメントし、新しい価値を創造し、マーケティングによって必要なところに必要なだけ届けていくことができる人を育てていきます。 ②マーケティングはすべての科目に大きく関係します。その科目のスキルをビジネスに展開し、継続的にお客様のニーズを満たすことができます。 ③マーケティングを学ぶことで、エンタメ業界に限らず、どの業界でも通用する原理原則があることを勉強します。世の中で起こっているさまざまな戦略の基本が理解できるようになり、自分がイメージしたアイデアを具現化でき、自己表現ができるようになります。具体的には、講義形式(座学)とグループワーク(演習)を中心に構成します。グループワークでは、エンタメ業界や日常生活にあるマーケティングを見つけ、みんなで考えをシェアし、どういう仕組みになっているか紐解いていきます。またマーケティング戦略に必要なコミュニケーションの勉強・体験もしていきます。学ぶことも大切にしなが、卒業後に即戦力となるように在学中から“実際にやってみる”ということに慣れるため、実践の場もあります。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ■シミュレーション体験によって、今まで知らない職種や視点を理解し、業界の全体像がわかるようになる。 ■マーケティング戦略を行う上でのコミュニケーションの大切さを理解できる。 ■身近にあるマーケティングの仕組みが理解できるようになる。 ■マーケティングを通して、エンターテインメント業界に限らず、一般企業のビジネスの全体像が理解できるようになる。 ■タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場が理解できるようになる。 ■ゼロから1を作る仕組みを理解できるようになる。 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	テレビのマーケティングを理解する	授業後のレポート課題
2	10月10日	講義・演習	テストマーケティングを学び、実践するための判断やシミュレーションができるようになる	授業後のレポート課題
3	10月17日	講義・演習	顧客の種類について学び、世の中のニーズを把握することができる	授業後のレポート課題
4	10月24日	講義・演習	ダイレクトメールを学び、マーケティングと営業スキルをアップさせる	授業後のレポート課題
5	10月31日	講義・演習	メディアについて学び、より大きいマーケティングを理解する	授業後のレポート課題
6	11月7日	講義・演習	youtubeを使ったマーケティングを学び、流行りを理解する	授業後のレポート課題
7	11月14日	講義・演習	コピーライティングを学び、顧客目線を理解する	授業後のレポート課題
8	11月21日	講義・演習	キャンペーンについて学び、顧客心理を理解する	授業後のレポート課題
9	11月28日	講義・演習	紹介マーケティングを学び、実践できるようになる	授業後のレポート課題
10	12月5日	講義・演習	ジョイントベンチャーを使った仕組み作りを紙上でを行い、実践に向けてトレーニングする	授業後のレポート課題
11	12月12日	講義・演習	音楽イベントのマーケティングについて学び、仕組みを理解できるようになる	授業後のレポート課題
12	12月19日	講義・演習	筆記テスト	授業後のレポート課題
13	1月9日	講義・演習	テストの復習をして、応用を導き出せるようになる	授業後のレポート課題
14	1月16日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティング業務を学ぶ	レポート
15	1月30日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティング業務を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	2D・3D Design(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	新名佐和子
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	2008年よりフリーのイラストレーター、グラフィックデザイナー、アクセサリーデザイナーとして活動している						
授業の学習 内容	ショービジネスでは、広告宣伝ツールの多様さ、スピード、独自性が重要になっている。 この科目の受講者自身には広告宣伝に使えるオリジナル作品を作る、デジタルクリエイターとしての役割を担えるようになってもらいたいと考える。 講義では、制作のための知識を学び、動画制作に利用可能な、2D3D人体モデルのデザインスキルを習得する。 また、すでに基本を習得済みのアプリケーション操作を複合的に扱えるように演習を中心に応用を習得する。						
到達目標	Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、Adobe InDesign、CLIPSTUDIOを用途に応じて、複合的に扱えるようになる。 easypose、blender、VRoidstudioなどの3Dアプリケーションを扱えるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	オリエンテーション デザインの基本スキルの確認と復習	これまでの自身のデザインデータを整理する(ワークシート)
2	5月10日	講義・演習	3Dの理解① easypose、blenderの操作を理解する	授業で扱ったツールを参考動画などで復習する(ワークシート)
3	5月17日	講義・演習	3Dの理解② easypose、blenderの操作、CLIP STUDIOでの応用	授業で扱ったツールを参考動画などで復習する(ワークシート)
4	5月24日	講義・演習	3Dの理解③ easypose、blenderの操作、CLIP STUDIOでの応用	授業で終わらなかった分を完成させる(ワークシート)
5	5月31日	講義・演習	人物モデル作成① VRoidstudioの操作を理解する	授業で扱ったツールを参考動画などで復習する(ワークシート)
6	6月7日	講義・演習	人物モデル作成② VRoidstudioの操作を理解する	授業で扱ったツールを参考動画などで復習する(ワークシート)
7	6月14日	講義・演習	人物モデル作成③ VRoidstudio、CLIP STUDIOでオリジナルモデル作成	制作に必要な資料、データの収集(ワークシート)
8	6月21日	講義・演習	人物モデル作成④ VRoidstudio、CLIP STUDIOでオリジナルモデル作成	授業で扱ったツールを参考動画などで復習する(ワークシート)
9	6月28日	講義・演習	人物モデル作成⑤ VRoidstudio、CLIP STUDIOでオリジナルモデル作成	授業で扱ったツールを参考動画などで復習する(ワークシート)
10	7月5日	講義・演習	トラッキング演習① 作成したモデルを操作する	視聴者数の多い動画を視聴し、参考になる部分を探す(ワークシート)
11	7月12日	講義・演習	トラッキング演習② 作成したモデルを操作する	視聴者数の多い動画を視聴し、参考になる部分を探す(ワークシート)
12	7月19日	講義・演習	前期の制作物をまとめ、ポートフォリオのページデザインを作成①	制作に必要な資料、データの収集(ワークシート)
13	8月23日	講義・演習	前期の制作物をまとめ、ポートフォリオのページデザインを作成② 提出	授業で終わらなかった分を完成させる(ワークシート)
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通してデザインスキルの必要性、重要性を学ぶ	レポート
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通してデザインスキルの必要性、重要性を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習			定期的にメディアやサイト、店舗などで雑誌のデザイン、CDのデザインなどを見て、自分の好みを考える	
【使用教科書・教材・参考書】				
Adobeアプリケーション、CLIP STUDIO、easypose、blender、Vroidstudio				

科目名	2D・3D Design(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	新名佐和子
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	2008年よりフリーのイラストレーター、グラフィックデザイナー、アクセサリーデザイナーとして活動している						
授業の学習 内容	ショービジネスでは、広告宣伝ツールの多様さ、スピード、独自性が重要になっている。 この科目の受講者自身には広告宣伝に使えるオリジナル作品を作る、デジタルクリエイターとしての役割を担えるようになってもらいたいと考える。 講義では、制作のための知識を学び、動画制作に利用可能な、2D3D人体モデルのデザインスキルを習得する。 また、すでに基本を習得済みのアプリケーション操作を複合的に扱えるように演習を中心に応用を習得する。						
到達目標	Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、Adobe InDesign、CLIPSTUDIOを用途に応じて、複合的に扱えるようになる。 easypose、blender、VRoidstudio、Live2DCubismなどの3Dアプリケーション、STUDIOを扱えるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	デザインの基本スキルの確認と復習 オリジナルキャラクター考案	参考となるデザインの資料収集と精査 (ワークシート)
2	10月11日	講義・演習	CLIPSTUDIO オリジナルキャラクターのデザインと描画①	参考となるデザインの資料収集と精査 (ワークシート)
3	10月18日	講義・演習	CLIPSTUDIO オリジナルキャラクターのデザインと描画②	授業で終わらなかった分を完成させる (ワークシート)
4	10月25日	講義・演習	Live2Dの理解と基本操作を身につける	授業で扱ったツールを参考動画などで復習する (ワークシート)
5	11月1日	講義・演習	Live2Dのためのデータ作成	授業で終わらなかった分を完成させる (ワークシート)
6	11月8日	講義・演習	Live2DCubismの操作方法を理解する① パーツ準備	授業で扱ったツールを参考動画などで復習する (ワークシート)
7	11月15日	講義・演習	Live2DCubismの操作方法を理解する② 表情と動作	授業で扱ったツールを参考動画などで復習する (ワークシート)
8	11月22日	講義・演習	Live2DCubismの操作方法を理解する③ アニメーション作成	授業で終わらなかった分を完成させる (ワークシート)
9	11月29日	講義・演習	トラッキング演習	授業で扱ったツールを参考動画などで復習する (ワークシート)
10	12月6日	講義・演習	身につけた技術を複合的に扱う①【STUDIO】にポートフォリオ作成	参考となるデザインの資料収集と精査 (ワークシート)
11	12月13日	講義・演習	身につけた技術を複合的に扱う②【STUDIO】にポートフォリオ作成	参考となるデザインの資料収集と精査 (ワークシート)
12	12月20日	講義・演習	身につけた技術を複合的に扱う③【STUDIO】にポートフォリオ作成	授業で終わらなかった分を完成させる (ワークシート)
13	1月10日	講義・演習	到達度テスト(作品プレゼン)、講評	講評や感想を受けて修正が必要な部分を再制作する (ワークシート)
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通してデザインスキルの必要性、重要性を学ぶ	レポート
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通してデザインスキルの必要性、重要性を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習			定期的にメディアやサイト、店舗などで雑誌のデザイン、CDのデザインなどを見て、自分の好みを考える	
【使用教科書・教材・参考書】				
Adobeアプリケーション、CLIP STUDIO、easypose、blender、Vroidstudio、Live2DCubism				

科目名	WEB制作B(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	ISAO
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	IT企業にてシステム開発・運用 / 企業のWEB制作案件等の活動を行う						
授業の学習 内容	生活や仕事のほとんどがインターネットに繋がる今、インターネットの理解はもちろん、発信者側としてのリテラシーとして、WEB制作を学びます。WEB制作の知識は、単にHPを作る用途にとどまらず、プログラム言語、デザイン能力、情報整理力など、さまざまな能力を助けます。これから生きる学生にはぜひとも押さえてほしい科目です。						
到達目標	WEBの根本的な仕組みの理解と扱いができるようになる。 自分自身をアピール・周知してもらおう場所を、自分の手で作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	パソコンとWEBの根本的な仕組み・WEBの活用法について学ぶ	好きなWEBページを見つけ、活用のされ方を考察する。(レポート)
2	4月27日	講義・演習	どういった情報をどう伝えたいか、情報の整理とデザイン(設計)について学ぶ。	自分の持っている情報をリストアップし、分類する。(レポート)
3	5月11日	講義・演習	WEB制作環境と、各ツールの役割を理解し、WEBを公開する全体的な流れを学ぶ。	ツールに触れて、設定をカスタマイズする。(レポート)
4	5月18日	講義・演習	言語(HTML,CSS)の役割と構文を理解する。	HTMLとCSSの違いを説明できるようにする。(レポート)
5	5月25日	講義・演習	HTMLで使われるタグ(h1,div,p など)の種類を学び、実際に書く。	タグの種類を大まかに覚える。(レポート)
6	6月1日	講義・演習	CSSで出来る表現を学び、実際に書く。	制作するページの原稿を書く。(レポート)
7	6月8日	講義・演習	HTMLとCSSを使い、簡単な構成のページを作る。(1)	制作するページに必要な画像を用意する(レポート)
8	6月15日	講義・演習	HTMLとCSSを使い、簡単な構成のページを作る。(2)	授業で作ったページをカスタマイズして構成を変更する。(レポート)
9	6月22日	講義・演習	作ったページを自分の情報、自分好みのスタイルにカスタマイズする。(1)	制作を継続し、不明な点を洗い出す。(レポート)
10	6月29日	講義・演習	作ったページを自分の情報、自分好みのスタイルにカスタマイズする。(2)	制作を継続し、不明な点を洗い出す。(レポート)
11	7月6日	講義・演習	作ったページを自分の情報、自分好みのスタイルにカスタマイズする。(3)	制作を継続し、不明な点を洗い出す。(レポート)
12	7月13日	講義・演習	作ったページを自分の情報、自分好みのスタイルにカスタマイズする。(4)	制作を継続し、不明な点を洗い出す。(レポート)
13	8月24日	講義・演習	テスト	自分なりのWEBの利用方法についてのレポート
14	8月31日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してWEBスキルを学ぶ	レポート
15	9月7日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してWEBスキルを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習		日常で見ているHPの内容を把握し、自身でもコーディングを試みる。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	WEB制作B(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	ISAO
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	IT企業にてシステム開発・運用 / 企業のWEB制作案件等の活動を行う						
授業の学習 内容	生活や仕事のほとんどがインターネットに繋がる今、インターネットの理解はもちろん、発信者側としてのリテラシーとして、WEB制作を学びます。WEB制作の知識は、単にHPを作る用途にとどまらず、プログラム言語、デザイン能力、情報整理力など、さまざまな能力を助けます。これから生きる学生にはぜひとも押さえてほしい科目です。						
到達目標	WEBの根本的な仕組みの理解と扱いができるようになる。 自分自身をアピール・周知してもらおう場所を、自分の手で作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	動的なCSSについて理解する	動的なWEBページを見つけ考察(ワークシート)
2	10月12日	講義・演習	動的なCSSを使ってページを作成する	環境によって見た目の変わるページを見つけ考察(ワークシート)
3	10月19日	講義・演習	レスポンシブデザインを理解する	見た目が変わった時の各機能の違いを見つけ考察(レポート)
4	10月26日	講義・演習	レスポンシブなページを作成する(1)	制作を継続し、不明な点を洗い出す。(レポート)
5	11月2日	講義・演習	レスポンシブなページを作成する(2)	制作を継続し、不明な点を洗い出す。(レポート)
6	11月16日	講義・演習	外部サービスの埋め込みをする	外部サービスに自分のアカウントを設ける。(レポート)
7	11月23日	講義・演習	BASIC認証を設置する	既存ページに掲載されている情報を原稿データで用意する(レポート)
8	11月30日	講義・演習	情報の分類と整理について理解する	サイトマップを制作する(レポート)
9	12月7日	講義・演習	デザインについて理解する	掲載する情報の表現方法を割り当て設計図を完成させる(レポート)
10	12月14日	講義・演習	WEBの活用方法について理解する	既存ページがどのように広報されているかを調査考察(レポート)
11	12月21日	講義・演習	SNSの役割と、それとの連携について理解する	WEBとSNSを組み合わせた情報発信アイデアを考える(レポート)
12	1月11日	講義・演習	各役割を理解し、活用方法を設計する	エンドユーザーを意識した情報の導線を引く(レポート)
13	1月18日	講義・演習	テスト	ワークシート
14	2月1日	講義・演習	イベント実践(we are)を通してWEBスキルを学ぶ	レポート
15	2月8日	講義・演習	イベント実践(we are)を通してWEBスキルを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	映像制作Advance(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	荒谷 治
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	広告・イベント・教育映像等の企画制作を行う。						
授業の学習 内容	Premiere Pro、AfterEffects等を用いた表現に関する学習を通して、表現力・映像処理能力を高める。						
到達目標	PremierePro・AfterEffectsの学習を通して、映像制作に必要な基礎技術を理解する。 学習した技術を活用し、ツール間の連携を用いての制作フローを習得し、 生徒自身が表現したいオリジナル作品の制作が出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	Premireの基本的な使い方を理解・復習する。	シラバスを確認しておく(レポート)
2	5月10日	講義・演習	After Effects 基礎 (1)。 パネルの意味や使い方、素材の読み込みを学ぶ。	先週の復習・本日の予習(レポート)
3	5月17日	講義・演習	After Effects 基礎 (2)。 キーフレームを使ったアニメーションを学ぶ。	先週の復習・本日の予習(レポート)
4	5月24日	講義・演習	After Effects 基礎 (3)。 より複雑なアニメーションの制作方法を学ぶ。	先週の復習・本日の予習(レポート)
5	5月31日	講義・演習	After Effects 基礎 (4)。 合成や簡単なエフェクトの使い方を学ぶ。	先週の復習・本日の予習(レポート)
6	6月7日	講義・演習	After Effects 応用 (1)。 モーショングラフィックスの基礎を学ぶ。	先週の復習・本日の予習(レポート)
7	6月14日	講義・演習	After Effects 応用 (2)。 タイポグラフィーの基礎を学ぶ。	先週の復習・本日の予習(レポート)
8	6月21日	講義・演習	After Effects 応用 (3)。 実写合成の基礎を学ぶ。	先週の復習・本日の予習(レポート)
9	6月28日	講義・演習	After Effects 応用 (4)。 モーショングラフィックスと実写合成を連携する。	先週の復習・本日の予習(レポート)
10	7月5日	講義・演習	オリジナル作品の選定及び絵コンテ作成	製作したい映像を選定する(レポート)
11	7月12日	講義・演習	学習した技術を用いて、作品を製作する	映像製作を進める(レポート)
12	7月19日	講義・演習	学習した技術を用いて、作品を製作する	映像製作を進める(レポート)
13	8月23日	講義・演習	学習した技術を用いて、作品を製作する	映像製作を進める(レポート)
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通じて映像制作を学ぶ	映像製作を進める(レポート)
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通じて映像制作を学ぶ	映像製作を進める(レポート)
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	映像制作Advance(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	荒谷 治
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	広告・イベント・教育映像等の企画制作を行う。						
授業の学習 内容	Premiere Pro、AfterEffects等を用いた表現に関する学習を通して、表現力・映像処理能力を高める。						
到達目標	PremierePro・AfterEffectsの学習を通して、映像制作に必要な基礎技術を理解する。 学習した技術を活用し、ツール間の連携を用いての制作フローを習得し、 生徒自身が表現したいオリジナル作品の制作が出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	Premireの基本的な使い方を理解・復習する。	シラバスを確認しておく(レポート)
2	10月11日	講義・演習	After Effects 基礎 (1)。 パネルの意味や使い方、素材の読み込みを学ぶ。	先週の復習・本日の予習(レポート)
3	10月18日	講義・演習	After Effects 基礎 (2)。 キーフレームを使ったアニメーションを学ぶ。	先週の復習・本日の予習(レポート)
4	10月25日	講義・演習	After Effects 基礎 (3)。 より複雑なアニメーションの制作方法を学ぶ。	先週の復習・本日の予習(レポート)
5	11月1日	講義・演習	After Effects 基礎 (4)。 合成や簡単なエフェクトの使い方を学ぶ。	先週の復習・本日の予習(レポート)
6	11月8日	講義・演習	After Effects 応用 (1)。 モーショングラフィックスの基礎を学ぶ。	先週の復習・本日の予習(レポート)
7	11月15日	講義・演習	After Effects 応用 (2)。 タイポグラフィーの基礎を学ぶ。	先週の復習・本日の予習(レポート)
8	11月22日	講義・演習	After Effects 応用 (3)。 実写合成の基礎を学ぶ。	先週の復習・本日の予習(レポート)
9	11月29日	講義・演習	After Effects 応用 (4)。 モーショングラフィックスと実写合成を連携する。	先週の復習・本日の予習(レポート)
10	12月6日	講義・演習	オリジナル作品の選定及び絵コンテ作成	製作したい映像を選定する(レポート)
11	12月13日	講義・演習	学習した技術を用いて、作品を製作する	映像製作を進める(レポート)
12	12月20日	講義・演習	学習した技術を用いて、作品を製作する	映像製作を進める(レポート)
13	1月10日	講義・演習	学習した技術を用いて、作品を製作する	映像製作を進める(レポート)
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通じて映像制作を学ぶ	映像製作を進める(レポート)
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通じて映像制作を学ぶ	映像製作を進める(レポート)
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Digital Compose(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	森谷諭
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	日本人初のAbleton認定トレーナーとして、音楽雑誌への寄稿や現役プロへの指導、専門学校講師を務める						
授業の学習 内容	海外でも通用するプロデューサーとしての力を身につけるため、海外で広く使用されているAbleton LiveおよびPushの操作方法を学び、作曲能力や楽曲のアレンジ力を養う。また、様々なレコーディング方法の習得を通して、柔軟なトラックメイク能力を養い、セルフプロデュース力を向上させる。						
到達目標	Ableton Live及びPushの基本的な操作ができる。 AudioとMIDIを駆使したトラックメイクができる。 インターネット上に自分の楽曲のアップロードができる。 楽曲アレンジの幅を広げる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	オリエンテーション	授業内で配布した資料の確認
2	4月27日	講義・演習	映画のサウンドトラック制作	授業内で配布した資料の確認
3	5月11日	講義・演習	映画のサウンドトラック制作	授業内で配布した資料の確認
4	5月18日	講義・演習	動画に音楽を付けてみよう	授業内で配布した資料の確認
5	5月25日	講義・演習	動画に音楽を付けてみよう	授業内で配布した資料の確認
6	6月1日	講義・演習	Mashupの作り方	授業内で配布した資料の確認
7	6月8日	講義・演習	Mashupの作り方	授業内で配布した資料の確認
8	6月15日	講義・演習	Mashupの作り方	授業内で配布した資料の確認
9	6月22日	講義・演習	楽曲のアレンジについて	授業内で配布した資料の確認
10	6月29日	講義・演習	楽曲のアレンジについて	授業内で配布した資料の確認
11	7月6日	講義・演習	楽曲制作のテクニック応用編	授業内で配布した資料の確認
12	7月13日	講義・演習	楽曲制作のテクニック応用編	授業内で配布した資料の確認
13	8月24日	講義・演習	定期試験	授業内で配布した資料の確認
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して作曲を学ぶ	楽曲制作
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通して作曲を学ぶ	楽曲制作
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Digital Compose(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	森谷諭
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	日本人初のAbleton認定トレーナーとして、音楽雑誌への寄稿や現役プロへの指導、専門学校講師を務める						
授業の学習 内容	海外でも通用するプロデューサーとしての力を身につけるため、海外で広く使用されているAbleton LiveおよびPushの操作方法を学び、作曲能力や楽曲のアレンジ力を養う。また、様々なレコーディング方法の習得を通して、柔軟なトラックメイク能力を養い、セルフプロデュース力を向上させる。						
到達目標	Ableton Live及びPushの基本的な操作ができる。 AudioとMIDIを駆使したトラックメイクができる。 インターネット上に自分の楽曲のアップロードができる。 楽曲アレンジの幅を広げる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	オーディションに挑戦してみよう	授業内で配布した資料の確認
2	10月12日	講義・演習	オーディションに挑戦してみよう	授業内で配布した資料の確認
3	10月19日	講義・演習	オーディションに挑戦してみよう	授業内で配布した資料の確認
4	10月26日	講義・演習	オーディションに挑戦してみよう	授業内で配布した資料の確認
5	11月2日	講義・演習	チームを組んで楽曲制作	授業内で配布した資料の確認
6	11月16日	講義・演習	チームを組んで楽曲制作	授業内で配布した資料の確認
7	11月23日	講義・演習	チームを組んで楽曲制作	授業内で配布した資料の確認
8	11月30日	講義・演習	テーマに沿った楽曲制作	授業内で配布した資料の確認
9	12月7日	講義・演習	テーマに沿った楽曲制作	授業内で配布した資料の確認
10	12月14日	講義・演習	テーマに沿った楽曲制作	授業内で配布した資料の確認
11	12月21日	講義・演習	3年間の総復習	授業内で配布した資料の確認
12	1月11日	講義・演習	3年間の総復習	授業内で配布した資料の確認
13	1月18日	講義・演習	定期試験	授業内で配布した資料の確認
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通して作曲を学ぶ	楽曲制作
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通して作曲を学ぶ	楽曲制作
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	AT-REC(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	阿部博
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	sony Music studio Tokyo 2年、studioFine6年の経験を経て現在フリーランス6年目 多くの作品に関わるエンジニア						
授業の学習 内容	スタジオ/ホームレコーディングにおける、以下技術の習得。1)録音技術の習得 2)ミキシング技術の習得 3)マスタリング技術の習得 4)データ管理・整理技術の習得 5)レコーディングにおけるの進行の流れ						
到達目標	レコーディング、ミキシング技術を身につけブクオリティの音源を作れるようにし、音楽業界を活性化できる人材の育成。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	スタジオ機材の基礎 色々な音源を聴く	前年度までの復習、
2	5月9日	講義・演習	アナログコンソールやマイクの特性アウトボードの基礎	マイク、アウトボードの名称、およびパッチベイの確認
3	5月16日	講義・演習	アナログコンソールやマイクの特性アウトボードの基礎	マイク、アウトボードの名称、およびパッチベイの確認
4	5月23日	講義・演習	アナログコンソールやマイクの特性アウトボードの基礎	前回までの理解力の確認
5	5月30日	講義・演習	アナログコンソールやマイクの特性アウトボードの基礎	前回までの理解力の確認
6	6月6日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
7	6月13日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
8	6月20日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
9	6月27日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
10	7月4日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
11	7月11日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
12	7月18日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
13	8月22日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して音源制作を学ぶ	各自問題点の整理、確認が必要なことの書き出
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通して音源制作を学ぶ	各自問題点の整理、確認が必要なことの書き出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 レコーディングスタジオ内 常設機材				

科目名	AT-REC(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	阿部博
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	sony Music studio Tokyo 2年、studioFine6年の経験を経て現在フリーランス6年目 多くの作品に関わるエンジニア						
授業の学習 内容	スタジオ/ホームレコーディングにおける、以下技術の習得。1)録音技術の習得 2)ミキシング技術の習得 3)マスタリング技術の習得 4)データ管理・整理技術の習得 5)レコーディングにおけるの進行の流れ						
到達目標	レコーディング、ミキシング技術を身につけプロクオリティの音源を作れるようにし、音楽業界を活性化できる人材の育成。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
2	10月10日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
3	10月17日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
4	10月24日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
5	10月31日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
6	11月7日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
7	11月14日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
8	11月21日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
9	11月28日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
10	12月5日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
11	12月12日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
12	12月19日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
13	1月9日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
14	1月16日	講義・演習	イベント実践を通して音源制作を学ぶ	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
15	1月30日	講義・演習	イベント実践を通して音源制作を学ぶ	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 レコーディングスタジオ内 常設機材				

科目名	AT-Programming Basic(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	大場学
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	インターネット広告代理店にて広告効果分析/モバイルサイト構築/フリーにてYouTubeチャンネル構築や広告配信代行など (YouTube認定資格所有)						
授業の学習 内容	ネットプロモーションにおいて、SNS含む自身のプラットフォームと動画コンテンツは最重要の課題である。国内外のSNS事情 を見ながら、どのようにSNSやWEBを活用していくか、実際のデータから分析とPDCAサイクルを意識しながら活用していく。また、 卒業後も活用できるオウンドメディア(本授業では主にポートフォリオサイトを意味する)も企画・作成する。動画配信プラット フォームの活用についても積極的に行う。卒業後の情報発信プラットフォームとなるので、抜かりなく取り組んでほしい。						
到達目標	各種SNSの特徴と有効的な利用方法を理解する。オウンドメディア、SNSの構築を自ら企画制作し、セルフブランディングと発 信を積極的に行う力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月22日	講義・演習	オリエンテーション。1年を通して何を習得できるかを把握 できる。	授業内で配布した資料の確認
2	4月29日	講義・演習	WEBマーケティングに必要な基礎知識の解説。UU、PV、 アクセス数など基本を把握でき、説明できる。	授業内で配布した資料の確認
3	5月13日	講義・演習	WEBマーケティングに必要な基礎知識の解説。SWOT分析やLTV、KPIなどを 理解し、WEB分析などに活用できる。	授業内で配布した資料の確認
4	5月20日	講義・演習	国内外の主要SNSを取り上げ、SNSマーケティングの基礎 を学び、説明できる。	授業内で配布した資料の確認
5	5月27日	講義・演習	インターネット広告の基礎。クライアント、メディア両側面 から利用方法を考察できる。	授業内で配布した資料の確認
6	6月3日	講義・演習	インターネット広告の応用。YouTube(Google)広告の管理 画面を使用し、使用方法などを理解できる。	授業内で配布した資料の確認
7	6月10日	講義・演習	PHPの基礎を理解できる。	授業内で配布した資料の確認
8	6月17日	講義・演習	WordPressの構築環境を理解し、WordPressを動かすこと ができる。	授業内で配布した資料の確認
9	6月24日	講義・演習	WordPressに必要なプログラミング知識を理解できる。※文法などは JavaScriptと酷似しているため、授業内で2年時の振り返りを行う。	授業内で配布した資料の確認
10	7月1日	講義・演習	WordPressによる自身のアーティストサイト/ポートフォリオ サイトの企画・構築を行う。	授業内で配布した資料の確認
11	7月8日	講義・演習	WordPressによる自身のアーティストサイト/ポートフォリオ サイトの企画・構築を行う。	授業内で配布した資料の確認
12	7月15日	講義・演習	WordPressによる自身のアーティストサイト/ポートフォリオ サイトの企画・構築を行う。	授業内で配布した資料の確認
13	8月26日	講義・演習	WEBマーケティングやWordPressに関するテストを実施す る。	筆記テストの実施
14	9月2日	講義・演習	イベント実践を通してマーケターとしての視点も併せ持っ たクリエイティブ制作を学ぶ	イベントホームページをつくる
15	9月9日	講義・演習	イベント実践を通してマーケターとしての視点も併せ持っ たクリエイティブ制作を学ぶ	イベントホームページをつくる
準備学習 時間外学習			どうやったら自分のコンテンツをより広めることができるのかを考え、広告の仕組みや人間心理なども積極的に学んでほしい	
【使用教科書・教材・参考書】				
1億人のインターネット広告 ヒットを生み出す最強メソッド(清野 奨他/MdN) 1億人のSNSマーケティング バズを生み出す最強メソッド(敷田 憲司他/MdN) WordPressデザインレシピ集(狩野 祐東/技術評論社)				

科目名	AT-Programming Adv(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	大場学
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	インターネット広告代理店にて広告効果分析/モバイルサイト構築/フリーにてYouTubeチャンネル構築や広告配信代行など (YouTube認定資格所有)						
授業の学習 内容	プラットフォームやSNS、動画コンテンツは作成して公開がゴールではなく、継続的に分析を行い改善していく必要がある。特に動画コンテンツは現在のヒットの法則からも必須のものとなっており、自身のコンテンツに対してPDCAの意識を持っておく必要がある。WordPressサイトだけ、SNSだけ、動画だけということにならず、様々な技術にアンテナを張って貪欲にそれらの利活用を探究してほしい。						
到達目標	3年間の集大成として動画コンテンツ、SNS、それらを集約するオウンドメディアを紐づけ、卒業後のプロモーションに活用する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	YouTubeについて。ブランドチャンネルを作成し、基本的なカスタマイズができる。	授業内で配布した資料の確認
2	10月14日	講義・演習	YouTubeについて。マーケティングの観点から、バズが生まれやすい傾向などを把握できる。	授業内で配布した資料の確認
3	10月21日	講義・演習	YouTubeについて。YouTubeアナリティクスの使用方法及び分析方法を学び、動画のPDCAを回すことができる。	授業内で配布した資料の確認
4	10月28日	講義・演習	視聴者にリーチ、エンゲージメントしやすいコンテンツの考え方を事例を通して理解できる。	授業内で配布した資料の確認
5	11月4日	講義・演習	視聴者にリーチ、エンゲージメントしやすいコンテンツの考え方を事例を通して理解できる。	授業内で配布した資料の確認
6	11月18日	講義・演習	YouTubeのようなAVODのほか、Netflixなどに代表される(SVODなど、動画配信プラットフォームやビジネスモデルの現状を理解できる。	授業内で配布した資料の確認
7	11月25日	講義・演習	音楽、動画と関連した最新技術を理解、活用方法を考えることができる。 AI/5G/XR/ドローン/ブロックチェーン	授業内で配布した資料の確認
8	12月2日	講義・演習	WordPressによるサイト構築、映像コンテンツの制作を行う。	授業内で配布した資料の確認
9	12月9日	講義・演習	WordPressによるサイト構築、映像コンテンツの制作を行う。	授業内で配布した資料の確認
10	12月16日	講義・演習	WordPressによるサイト構築、映像コンテンツの制作を行う。	授業内で配布した資料の確認
11	1月13日	講義・演習	WordPressによるサイト構築、映像コンテンツの制作を行う。	授業内で配布した資料の確認
12	1月20日	講義・演習	WordPressによるサイト構築、映像コンテンツの制作を行う。	授業内で配布した資料の確認
13	2月3日	講義・演習	最終課題として構築したサイト、映像コンテンツのプレゼンテーションを行う。その際ターゲット層やアクセス数やビューの目標などを併せてプレゼンテーションを行う。	プレゼンテーション事前準備
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通してマーケターとしての視点も併せ持ったクリエイティブ制作を学ぶ	イベントホームページをつくる
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してマーケターとしての視点も併せ持ったクリエイティブ制作を学ぶ	イベントホームページをつくる
準備学習 時間外学習			どうやったら自分のコンテンツをより広めることができるのかを考え、広告の仕組みや人間心理なども積極的に学んでほしい	
【使用教科書・教材・参考書】				
YouTubeの時代 動画は世界をどう変えるか(ケヴィンアロッカ/NTT出版) NETFLIX~コンテンツ帝国の野望~(ジーナキーティング/新潮社)				

科目名	Marketing(5) Marketing I A(5)	必修 選択	年次	3	担当教員	黒須亮成
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)		
教員の略歴	世界No.1マーケッターのジェイ・エイブラハム氏の講座を学びながら、タレント、ミュージシャン、アーティスト、音楽作家、ヘアメイク、衣装デザイナーなどのマネージメントを手がける。その他、音楽制作ディレクター、イベント運営などを手がけています。					
授業の学習 内容	①自まぐるしく変化し続けている社会のスピードに付いていくには、ひとつひとつ、すべての分野を極めていく時間はありません。ひとりで1つの分野を極めるのではなく、その分野に特化した能力を持つ人に協力をあおぎ、そのチームをマネジメントし、チームで新しい価値を創造し、それをマーケティングによって必要なところに必要なだけ届けていく必要があります。 ②マーケティングはすべての科目に大きく関係します。その科目のスキルをビジネスに展開し、継続的にお客様のニーズを満たすことができます。 ③マネジメントやマーケティングを学ぶことで、エンタメ業界に限らず、どの業界でも通用する原理原則があることを勉強します。世の中で起こっているさまざまな戦略の基本が理解できるようになり、自分がイメージしたアイデアを具現化でき、自己表現ができるようになります。具体的には、講義形式(座学)とグループワーク(演習)を中心に構成します。グループワークでは、エンタメ業界や日常生活にあるマーケティングを見つけ、みんなで考えをシェアし、どういった仕組みになっているか紐解いていきます。またマネジメントに必要なコミュニケーションの勉強・体験もしていきます。学ぶというのも大切ですが、卒業後に即戦力となるように在学中から“実際にやってみる”ということに慣れるため、実践の場もあります。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ■シミュレーション体験によって、今まで知らない職種や視点を理解し、業界の全体像がわかるようになる。 ■コミュニケーションの大切さを理解できる。 ■身近にあるマーケティングの仕組みが理解できるようになる。 ■エンタテインメント業界に限らず、一般企業のビジネスマナーも含めたビジネスの全体像が理解できるようになる。 ■タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場が理解できるようになる。 ■ゼロから1を作る仕組みを理解できるようになる。 					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月22日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してA&Rを学ぶ	レポートの提出
2	4月29日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してA&Rを学ぶ	レポートの提出
3	5月13日	講義・演習	マーケティングの基本を理解し、なぜ重要なのかを知る	授業後のレポート課題
4	5月20日	講義・演習	プレゼンを学び、自分のプロフィール作成に着手し、自己表現できるようになる	授業後のレポート課題
5	5月27日	講義・演習	エンタメビジネスの全体像を理解できる	授業後のレポート課題
6	6月3日	講義・演習	ビジョンボード、やりたいことリスト100を作成し、目標を明確化できるようになる	授業後のレポート課題
7	6月10日	講義・演習	独自のウリ(USP)を学び、自分や商品のストロングポイントを理解できるようになる	授業後のレポート課題
8	6月17日	講義・演習	リスクリバーサルを学び、相手の立場にたった提案ができる	授業後のレポート課題
9	6月24日	講義・演習	ジョイントベンチャーを学び、業務提携という仕組みを理解する	授業後のレポート課題
10	7月1日	講義・演習	テレマーケティングを学び、どの業界でも通用するスキルを身につける	授業後のレポート課題
11	7月8日	講義・演習	SNSを使ったマーケティングを学び、仕組みを理解できるようになる	授業後のレポート課題
12	7月15日	講義・演習	テストマーケティングを学び、実践するための判断やシミュレーションができるようになる	授業後のレポート課題
13	8月26日	講義・演習	顧客の種類について学び、世の中のニーズを把握することができる	授業後のレポート課題
14	9月2日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	9月9日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Marketing(5) Marketing I B(5)	必修 選択	年次	3	担当教員	黒須亮成
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)		
教員の略歴	世界No.1マーケッターのジェイ・エイブラハム氏の講座を学びながら、タレント、ミュージシャン、アーティスト、音楽作家、ヘアメイク、衣装デザイナーなどのマネージメントを手がける。その他、音楽制作ディレクター、イベント運営などを手がけています。					
授業の学習 内容	①自まぐるしく変化し続けている社会のスピードに付いていくには、ひとつひとつ、すべての分野を極めていく時間はありません。ひとりで1つの分野を極めるのではなく、その分野に特化した能力を持つ人に協力をあおぎ、そのチームをマネジメントし、チームで新しい価値を創造し、それをマーケティングによって必要なところに必要なだけ届けていく必要があります。 ②マーケティングはすべての科目に大きく関係します。その科目のスキルをビジネスに展開し、継続的にお客様のニーズを満たすことができます。 ③マネジメントやマーケティングを学ぶことで、エンタメ業界に限らず、どの業界でも通用する原理原則があることを勉強します。世の中で起こっているさまざまな戦略の基本が理解できるようになり、自分がイメージしたアイデアを具現化でき、自己表現ができるようになります。具体的には、講義形式(座学)とグループワーク(演習)を中心に構成します。グループワークでは、エンタメ業界や日常生活にあるマーケティングを見つけ、みんなで考えをシェアし、どのような仕組みになっているか紐解いていきます。またマネジメントに必要なコミュニケーションの勉強・体験もしていきます。学ぶというの大切にしてながら、卒業後に即戦力となるように在学中から“実際にやってみる”ということに慣れるため、実践の場もあります。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ■シミュレーション体験によって、今まで知らない職種や視点を理解し、業界の全体像がわかるようになる。 ■コミュニケーションの大切さを理解できる。 ■身近にあるマーケティングの仕組みが理解できるようになる。 ■エンターテインメント業界に限らず、一般企業のビジネスマナーも含めたビジネスの全体像が理解できるようになる。 ■タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場が理解できるようになる。 ■ゼロから1を作る仕組みを理解できるようになる。 					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月22日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してA&Rを学ぶ	レポートの提出
2	4月29日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してA&Rを学ぶ	レポートの提出
3	5月13日	講義・演習	マーケティングの基本を理解し、なぜ重要なのかを知る	授業後のレポート課題
4	5月20日	講義・演習	プレゼンを学び、自分のプロフィール作成に着手し、自己表現できるようになる	授業後のレポート課題
5	5月27日	講義・演習	エンタメビジネスの全体像を理解できる	授業後のレポート課題
6	6月3日	講義・演習	ビジョンボード、やりたいことリスト100を作成し、目標を明確化できるようになる	授業後のレポート課題
7	6月10日	講義・演習	独自のウリ(USP)を学び、自分や商品のストロングポイントを理解できるようになる	授業後のレポート課題
8	6月17日	講義・演習	リスクリバーサルを学び、相手の立場にたった提案ができる	授業後のレポート課題
9	6月24日	講義・演習	ジョイントベンチャーを学び、業務提携という仕組みを理解する	授業後のレポート課題
10	7月1日	講義・演習	テレマーケティングを学び、どの業界でも通用するスキルを身につける	授業後のレポート課題
11	7月8日	講義・演習	SNSを使ったマーケティングを学び、仕組みを理解できるようになる	授業後のレポート課題
12	7月15日	講義・演習	テストマーケティングを学び、実践するための判断やシミュレーションができるようになる	授業後のレポート課題
13	8月26日	講義・演習	顧客の種類について学び、世の中のニーズを把握することができる	授業後のレポート課題
14	9月2日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	9月9日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Marketing(6) Marketing I A(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	黒須完成
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	世界No.1マーケッターのジェイ・エイブラハム氏の講座を学びながら、タレント、ミュージシャン、アーティスト、音楽作家、ヘアメイク、衣装デザイナーなどのマネージメントを手がける。その他、音楽制作ディレクター、イベント運営などを手がけています。						
授業の学習 内容	①目まぐるしく変化し続けている社会のスピードに付いていくには、ひとつひとつ、すべての分野を極めていく時間はありません。ひとりで1つの分野を極めるのではなく、その分野に特化した能力を持つ人に協力をあおぎ、そのチームをマネジメントし、チームで新しい価値を創造し、それをマーケティングによって必要なところに必要なだけ届けていく必要があります。 ②マーケティングはすべての科目に大きく関係します。その科目のスキルをビジネスに展開し、継続的にお客様のニーズを満たすことができます。 ③マネジメントやマーケティングを学ぶことで、エンタメ業界に限らず、どの業界でも通用する原理原則があることを勉強します。世の中で起こっているさまざまな戦略の基本が理解できるようになり、自分がイメージしたアイデアを具現化でき、自己表現ができるようになります。具体的には、講義形式(座学)とグループワーク(演習)を中心に構成します。グループワークでは、エンタメ業界や日常生活にあるマーケティングを見つけ、みんなで考えをシェアし、どういう仕組みになっているか紐解いていきます。またマネジメントに必要なコミュニケーションの勉強・体験もしていきます。学ぶというのも大切になら、卒業後に即戦力となるように在学中から「実際にやってみる」ということに慣れるため、実践の場もあります。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ■シミュレーション体験によって、今まで知らない職種や視点を理解し、業界の全体像がわかるようになる。 ■コミュニケーションの大切さを理解できる。 ■身近にあるマーケティングの仕組みが理解できるようになる。 ■エンターテインメント業界に限らず、一般企業のビジネスマナーも含めたビジネスの全体像が理解できるようになる。 ■タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場が理解できるようになる。 ■ゼロから1を作る仕組みを理解できるようになる。 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してA&RHを学ぶ	レポートの提出
2	10月14日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してA&Rを学ぶ	レポートの提出
3	10月21日	講義・演習	前期テストの復習と解説	授業後のレポート課題
4	10月28日	講義・演習	メディアについて学び、より大きいマーケティングを理解する	授業後のレポート課題
5	11月4日	講義・演習	youtubeを使ったマーケティングを学び、流行りを理解する	授業後のレポート課題
6	11月18日	講義・演習	コピーライティングを学び、顧客目線を理解する	授業後のレポート課題
7	11月25日	講義・演習	キャンペーンについて学び、顧客心理を理解する	授業後のレポート課題
8	12月2日	講義・演習	紹介マーケティングを学び、実践できるようになる	授業後のレポート課題
9	12月9日	講義・演習	ジョイントベンチャーを使った仕組み作りを紙上で行い、実践に向けてトレーニングする	授業後のレポート課題
10	12月16日	講義・演習	音楽イベントのマーケティングについて学び、仕組みを理解できるようになる	授業後のレポート課題
11	1月13日	講義・演習	音楽アーティストのマーケティングについて学び、仕組みを理解する	授業後のレポート課題
12	1月20日	講義・演習	俳優・タレントのマーケティングについて学び、仕組みを理解する	授業後のレポート課題
13	2月3日	講義・演習	アイドルのマーケティングについて学び、仕組みを理解する	授業後のレポート課題
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Marketing(6) Marketing I B(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	黒須完成
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	世界No.1マーケッターのジェイ・エイブラハム氏の講座を学びながら、タレント、ミュージシャン、アーティスト、音楽作家、ヘアメイク、衣装デザイナーなどのマネージメントを手がける。その他、音楽制作ディレクター、イベント運営などを手がけています。						
授業の学習 内容	①目まぐるしく変化し続けている社会のスピードに付いていくには、ひとつひとつ、すべての分野を極めていく時間はありません。ひとりで1つの分野を極めるのではなく、その分野に特化した能力を持つ人に協力をあおぎ、そのチームをマネジメントし、チームで新しい価値を創造し、それをマーケティングによって必要なところに必要なだけ届けていく必要があります。 ②マーケティングはすべての科目に大きく関係します。その科目のスキルをビジネスに展開し、継続的にお客様のニーズを満たすことができます。 ③マネジメントやマーケティングを学ぶことで、エンタメ業界に限らず、どの業界でも通用する原理原則があることを勉強します。世の中で起こっているさまざまな戦略の基本が理解できるようになり、自分がイメージしたアイデアを具現化でき、自己表現ができるようになります。具体的には、講義形式(座学)とグループワーク(演習)を中心に構成します。グループワークでは、エンタメ業界や日常生活にあるマーケティングを見つけ、みんなで考えをシェアし、どういう仕組みになっているか紐解いていきます。またマネジメントに必要なコミュニケーションの勉強・体験もしていきます。学ぶというのも大切にしながら、卒業後に即戦力となるように在学中から「実際にやってみる」ということに慣れるため、実践の場もあります。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ■シミュレーション体験によって、今まで知らない職種や視点を理解し、業界の全体像がわかるようになる。 ■コミュニケーションの大切さを理解できる。 ■身近にあるマーケティングの仕組みが理解できるようになる。 ■エンターテインメント業界に限らず、一般企業のビジネスマナーも含めたビジネスの全体像が理解できるようになる。 ■タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場が理解できるようになる。 ■ゼロから1を作る仕組みを理解できるようになる。 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してA&RHを学ぶ	レポートの提出
2	10月14日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してA&Rを学ぶ	レポートの提出
3	10月21日	講義・演習	前期テストの復習と解説	授業後のレポート課題
4	10月28日	講義・演習	メディアについて学び、より大きいマーケティングを理解する	授業後のレポート課題
5	11月4日	講義・演習	youtubeを使ったマーケティングを学び、流行りを理解する	授業後のレポート課題
6	11月18日	講義・演習	コピーライティングを学び、顧客目線を理解する	授業後のレポート課題
7	11月25日	講義・演習	キャンペーンについて学び、顧客心理を理解する	授業後のレポート課題
8	12月2日	講義・演習	紹介マーケティングを学び、実践できるようになる	授業後のレポート課題
9	12月9日	講義・演習	ジョイントベンチャーを使った仕組み作りを紙上で行い、実践に向けてトレーニングする	授業後のレポート課題
10	12月16日	講義・演習	音楽イベントのマーケティングについて学び、仕組みを理解できるようになる	授業後のレポート課題
11	1月13日	講義・演習	音楽アーティストのマーケティングについて学び、仕組みを理解する	授業後のレポート課題
12	1月20日	講義・演習	俳優・タレントのマーケティングについて学び、仕組みを理解する	授業後のレポート課題
13	2月3日	講義・演習	アイドルのマーケティングについて学び、仕組みを理解する	授業後のレポート課題
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	楽器応用(5) Gt Adv(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	廣瀬昌明
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	Brainsout, イガバンBB(NHK「探検バクモン」OP/EDテーマ)などの他、数々のアーティストのプロデュース、ライブ、レコーディングなど。伊東たけし、エリック・ミヤシロ、ポール・ジャクソンと共演。						
授業の学習 内容	MC1,MC2で扱ったスケール／アルペジオ／コードワーク／テクニックをベースに、より自由に、よりハーモニックに演奏するためのアドバンス・アプローチを学んでいきます。						
到達目標	テンションコード、スラッシュコード、展開形の各コードに対して、複数のアプローチを演奏できるようになる。 代理コードを使って、オリジナルのアレンジを行えるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	アッパー・ストラクチャー(1)	iii/I,V/I,vii/I
2	5月10日	講義・演習	アッパー・ストラクチャー(2)	ii/I,IV/I,VI/I
3	5月17日	講義・演習	ダイアトニックコードのグループ化	Maj7,m7,dom7,m7b5
4	5月24日	講義・演習	ダイアトニックコードのペントニック化	メジャーペンタとマイナーペンタで切り分ける
5	5月31日	講義・演習	特定のコード進行で適切なスケールを導き出す	キー、スプリット、ペントニック
6	6月7日	講義・演習	6/major7のテンションとアプローチ	9,#11,13
7	6月14日	講義・演習	minor7のテンションとアプローチ	9,b9,11,b13,13
8	6月21日	講義・演習	dom7/susのテンションとアプローチ	b9,#9,b5,#5,b13
9	6月28日	講義・演習	minor7b5のテンションとアプローチ	9,11,b13
10	7月5日	講義・演習	インバージョンを理解する(R,3,5,7)	1-4弦、2-5弦、3-6弦
11	7月12日	講義・演習	2種類のディミニッシュスケール	ディミニッシュ、コンビネーションオブディミニッシュ
12	7月19日	講義・演習	代理コードアイデア(1)	曲のアナライズを行う
13	8月23日	講義・演習	代理コードアイデア(2)	コードアレンジを行ってみる
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	楽曲の復習
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	楽曲の復習
準備学習 時間外学習			授業内容を予習・復習し、実際にギターを弾きながらスケールへの理解を深める。(1日1時間程度)	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	楽器応用(5) Ba Adv(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	加納誠人
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	蒼井翔太「Eclipse」MV出演・田村芽実ワンマンライブ「めいめい白書」サポート出演・halca「LisAni! NAVI」テーマソング「サカナイトデイズ」レコーディング参加						
授業の学習 内容	目標とされる演奏基準に到達するためのトレーニング方、考え方、自己修正などを教授する。						
到達目標	ベースという楽器を通して音楽表現に関する体感を積み重ねることにより、スタンダードなリズムとフィールを習得する事を目的とする。 各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上に、タイム感と音感の重要性を理解し、グルーヴに対する気付きが生まれる事が目標となる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
2	5月10日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
3	5月17日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
4	5月24日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
5	5月31日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
6	6月7日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
7	6月14日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
8	6月21日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
9	6月28日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
10	7月5日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
11	7月12日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
12	7月19日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
13	8月23日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	楽曲の復習
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	楽曲の復習
準備学習 時間外学習			授業内容を予習・復習し、実際にベースを弾きながらスケールへの理解を深める。(1日1時間程度)	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	楽器応用(5) key SPL(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	土屋剛
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2004年よりキーボード講師として活動						
授業の学習 内容	他授業の全体的なフォローおよび学生個人が希望する項目について、授業外の内容も含めて指導する。						
到達目標	プロ演奏者としての適性発見の一助となり、プロに必要な技能を掘り下げて習得する事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
2	4月24日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
3	5月8日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
4	5月15日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
5	5月22日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
6	5月29日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
7	6月5日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
8	6月12日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
9	6月19日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
10	6月26日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
11	7月3日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
12	7月10日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
13	8月21日	講義・演習	前期まとめ・試験。	前期課題曲から試験で使う曲を選んで練習。
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	イベントでの自分の役割を確認しておく。
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	イベントでの自分の役割を確認しておく。
準備学習 時間外学習		普段の授業や授業外での自分なりの課題・疑問点を整理しておく。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	楽器応用(5) Vocal Adv(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員 吉田華奈 潤豊 キム・ゴン ヒョン
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	THE SOULMATICICSのメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。多方面で活躍中。					
授業の学習 内容	ボイストレーニングおよび歌唱指導					
到達目標	ボイストレーニング、および歌唱における基礎の向上					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	自己紹介、目標の確認、発声メソッドの説明、指導	自由曲を準備
2	5月10日	講義・演習	外化、姿勢呼吸、イーストレッチレクチャー、歌唱指導	発声練習及び課題曲練習
3	5月17日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱指導、	発声練習及び課題曲練習
4	5月24日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
5	5月31日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
6	6月7日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
7	6月14日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
8	6月21日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
9	6月28日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
10	7月5日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
11	7月12日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
12	7月19日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
13	8月23日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	基礎練習、課題図書を読み、レポート
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通じてパフォーマンス力を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通じてパフォーマンス力を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	楽器応用(6) Gt Adv(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	廣瀬昌明
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	Brainsout, イガバンBB(NHK「探検バクモン」OP/EDテーマ)などの他、数々のアーティストのプロデュース、ライブ、レコーディングなど。伊東たけし、エリック・ミヤシロ、ポール・ジャクソンと共演。						
授業の学習 内容	MC1,MC2で扱ったスケール／アルペジオ／コードワーク／テクニックをベースに、より自由に、よりハーモニックに演奏するためのアドバンス・アプローチを学んでいきます。						
到達目標	テンションコード、スラッシュコード、展開形の各コードに対して、複数のアプローチを演奏できるようになる。 代理コードを使って、オリジナルのアレンジを行えるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	メロディックマイナーのモード(1)	V7b5,#5,b9,#9
2	10月11日	講義・演習	メロディックマイナーのモード(2)	I7#4
3	10月18日	講義・演習	代理コードアプローチとアレンジ	類似コードをグループ化する
4	10月25日	講義・演習	maj7インバージョン	3.5.7からの展開形
5	11月1日	講義・演習	m7インバージョン	3.5.7からの展開形
6	11月8日	講義・演習	dom7/susインバージョン	3.5.7からの展開形
7	11月15日	講義・演習	m7b5インバージョン	3.5.7からの展開形
8	11月22日	講義・演習	ボイス・リーディング(1)	I-ii-iii-IV-V-iv-vii上行下行
9	11月29日	講義・演習	ボイス・リーディング(2)その他の進行の可能性	ii-bII7-I,ii-bII7-i
10	12月6日	講義・演習	クロマチック・アプローチ	メジャー／マイナー各スケールで試す
11	12月13日	講義・演習	dimアプローチADV	I-biidim-ii-biiidim
12	12月20日	講義・演習	ポリコードとアプローチ・バリエーション	トライアド／トライアドでコードを作る
13	1月10日	講義・演習	「良いミュージシャンとは？」 テクニックとトレーニング、知識をレベルアップする	総復習
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	イベントでの自分の役割を確認しておく。
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	イベントでの自分の役割を確認しておく。
準備学習 時間外学習			授業内容を予習・復習し、実際にギターを弾きながらスケールへの理解を深める。(1日1時間程度)	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	楽器応用(6) Ba Adv(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	加納誠人
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	蒼井翔太「Eclipse」MV出演・田村芽実ワンマンライブ「めいめい白書」サポート出演・halca「LisAni! NAVI」テーマソング「サカナイトデイズ」レコーディング参加						
授業の学習 内容	目標とされる演奏基準に到達するためのトレーニング方、考え方、自己修正などを教授する。						
到達目標	ベースという楽器を通して音楽表現に関する体感を積み重ねることにより、スタンダードなリズムとフィールを習得する事を目的とする。 各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上に、タイム感と音感の重要性を理解し、グルーヴに対する気付きが生まれる事が目標となる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
2	10月11日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
3	10月18日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
4	10月25日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
5	11月1日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
6	11月8日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
7	11月15日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
8	11月22日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
9	11月29日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
10	12月6日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
11	12月13日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
12	12月20日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
13	1月10日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	楽曲の復習
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	楽曲の復習
準備学習 時間外学習			授業内容を予習・復習し、実際にベースを弾きながらスケールへの理解を深める。(1日1時間程度)	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	楽器応用(6) key SPL(6)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	土屋剛
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2004年よりキーボード講師として活動						
授業の学習 内容	他授業の全体的なフォローおよび学生個人が希望する項目について、授業外の内容も含めて指導する。						
到達目標	プロ演奏者としての適性発見の一助となり、プロに必要な技能を掘り下げて習得する事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
2	10月9日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
3	10月16日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
4	10月23日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
5	10月30日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
6	11月6日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
7	11月13日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
8	11月20日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
9	11月27日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
10	12月4日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
11	12月11日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
12	12月18日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
13	1月15日	講義・演習	後期まとめ・試験。	後期課題曲から試験で使う曲を選んで練習。
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	イベントでの自分の役割を確認しておく。
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	イベントでの自分の役割を確認しておく。
準備学習 時間外学習		普段の授業や授業外での自分なりの課題・疑問点を整理しておく。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	楽器応用(6) Vocal Adv(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員 吉田華奈 潤豊 キム・ゴン ヒョン
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	THE SOULMATICISが主催するJASRA認定メンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。多方面で活躍中。					
授業の学習 内容	ボイストレーニングおよび歌唱指導					
到達目標	ボイストレーニング、および歌唱における基礎、パフォーマンス力の向上					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
2	10月11日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
3	10月18日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
4	10月25日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
5	11月1日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
6	11月8日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
7	11月15日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
8	11月22日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
9	11月29日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
10	12月6日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
11	12月13日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
12	12月20日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
13	1月10日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	基礎練習、課題図書を読み、レポート
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通じてパフォーマンス力を学ぶ	イベント課題曲の分析
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通じてパフォーマンス力を学ぶ	イベント課題曲の分析
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Broadway Seminar(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	斉藤早春
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICのメンバーとしてDreams come true、湘南乃風、福原美穂などのレコーディングやコーラスに参加。AuやアクエリアスのCMレコーディングやミュージックフェアで谷村新司、和田アキ子と共演						
授業の学習 内容	アーティストにとって重要な要素である表現力・パフォーマンス力を向上させるため、英語のミュージカルの楽曲を使って心の解放やプロの技術を学ぶ。授業内外で楽曲を作り上げていく中でコミュニケーションを学ぶ。						
到達目標	発表会でミュージカルの楽曲を全体及びグループで発表する際、自発的にコミュニケーションを取りながら、楽曲の意味や表現すべき意味を理解し心と繋げてパフォーマンスすることができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	授業内容と目的の理解ができる	楽曲の復習とリサーチ
2	4月24日	講義・演習	歌詞を見ながら歌うことができる	楽曲の復習とリサーチ
3	5月8日	講義・演習	感情の解放を体感することができる	楽曲の復習とリサーチ
4	5月15日	講義・演習	楽曲の動きを覚えパフォーマンスすることができる	楽曲の復習とリサーチ
5	5月22日	講義・演習	楽曲の意味を理解することができる	楽曲の復習とリサーチ
6	5月29日	講義・演習	楽曲を完成させる	楽曲の復習とリサーチ
7	6月5日	講義・演習	歌詞を見ながら歌うことができる	楽曲の復習とリサーチ
8	6月12日	講義・演習	楽曲の動きを覚えパフォーマンスすることができる	楽曲の復習とリサーチ
9	6月19日	講義・演習	楽曲の意味を理解し動きとリンクさせることができる	楽曲の復習とリサーチ
10	6月26日	講義・演習	効果的な衣装を考え提案することができる	発表会に向けての個人、グループ練習
11	7月3日	講義・演習	発表会に向けて実践練習	発表会に向けての個人、グループ練習
12	7月10日	講義・演習	発表会に向けて曲順通りにパフォーマンスすることができる	発表会に向けての個人、グループ練習
13	8月21日	講義・演習	発表会	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Broadway Seminar(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	斉藤早春
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICのメンバーとしてDreams come true、湘南乃風、福原美穂などのレコーディングやコーラスに参加。AuやアクエリアスのCMレコーディングやミュージックフェアで谷村新司、和田アキ子と共演						
授業の学習 内容	アーティストにとって重要な要素である表現力・パフォーマンス力を向上させるため、英語のミュージカルの楽曲を使って心の解放やプロの技術を学ぶ。授業内外で楽曲を作り上げていく中でコミュニケーションを学ぶ。						
到達目標	発表会でミュージカルの楽曲を全体及びグループで発表する際、自発的にコミュニケーションを取りながら、楽曲の意味や表現すべき意味を理解し心と繋げてパフォーマンスすることができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	前期発表会での体感を活かし目標を設定できる	楽曲の復習とリサーチ
2	10月9日	講義・演習	歌詞を見ながら歌うことができる	楽曲の復習とリサーチ
3	10月16日	講義・演習	楽曲の意味を理解する	楽曲の復習とリサーチ
4	10月23日	講義・演習	担当の楽曲についてクラスメイトに説明することができる	楽曲の復習とリサーチ
5	10月30日	講義・演習	楽曲の動きを覚えパフォーマンスすることができる	楽曲の復習とリサーチ
6	11月6日	講義・演習	楽曲を理解し動きと心をリンクさせることができる	楽曲の復習とリサーチ
7	11月13日	講義・演習	歌詞を見ながら歌うことができる	楽曲の復習とリサーチ
8	11月20日	講義・演習	楽曲の動きを覚えパフォーマンスすることができる	楽曲の復習とリサーチ
9	11月27日	講義・演習	楽曲についてクラスメイトに説明することができる	楽曲の復習とリサーチ
10	12月4日	講義・演習	楽曲を理解し動きと心をリンクさせることができる	発表会に向けての個人、グループ練習
11	12月11日	講義・演習	発表会に向けて衣装を準備し流れを把握することができる	発表会に向けての個人、グループ練習
12	12月18日	講義・演習	発表会に向けて曲順通りにパフォーマンスすることができる	発表会に向けての個人、グループ練習
13	1月15日	講義・演習	発表会	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				